



# 報 會 師 劑 藥 新 報

No.290. 2017(平成29年) 11・12月号



沖 繩 県 薬 劑 師 会

# 薬 剤 師 倫 理 規 定

平成9年10月 日本薬剤師会改訂

## 前 文

薬剤師は、国民の信託により、日本国憲法及び法令に基づき、医療の担い手の一員として、人権の中でもっとも基本的な個人の生命・健康の保持促進に寄与する責務を担っている。

この責務の根底には生命への畏敬に発する倫理が存在するが、さらに、調剤をはじめ、医薬品の創製から供給、適正な使用に至るまで、確固たる薬の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、医療の向上及び公共の福祉の増進に貢献し、薬剤師職能を全うするため、ここに薬剤師倫理規定を制定する。

## 第1条（任務）

薬剤師は、個人の尊厳の保持と生命の尊重を旨とし、調剤をはじめ、医薬品の供給、その他の薬事衛生をつかさどることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活の確保に努める。

## 第2条（良心と自律）

薬剤師は、常に自らを律し、良心と愛情をもって職能の発揮に努める。

## 第3条（法令等の遵守）

薬剤師は、薬剤師法、薬事法、医療法、健康保険法、その他関連法規に精通し、これら法令等を遵守する。

## 第4条（生涯研鑽）

薬剤師は、生涯にわたり高い知識と技能の水準を維持するよう積極的に研鑽するとともに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。

## 第5条（最善尽力義務）

薬剤師は、医療の担い手として、常に同僚及び他の医療関係者等と協力し、医療及び保健、福祉の向上に努め、患者の利益のため職能の最善を尽くす。

## 第6条（医薬品の安全性等の確保）

薬剤師は、常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努める。また、医薬品が適正に使用されるよう、調剤及び医薬品の供給に当たり患者等に十分な説明を行う。

## 第7条（地域医療への貢献）

薬剤師は、地域医療向上のための施策について、常に率先してその推進に努める。

## 第8条（職能間の協調）

薬剤師は、広範にわたる薬剤師職能間の相互協調に努めるとともに、他の関係職能をもつ人々と協力して社会に貢献する。

## 第9条（秘密の保持）

薬剤師は、職務上知り得た患者等の秘密を、正当な理由なく漏らさない。

## 第10条（品位・信用等の維持）

薬剤師は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為及び医薬品の誤用を招き濫用を助長する行為をしない。

目次

<b>薬剤師倫理規定</b>	
<b>表彰</b>	秋の叙勲 瑞宝双光章 (吉田久子先生)…………… ( 2 ) 学校保健および学校安全文部科学大臣表彰 (神山康喜先生)…………… ( 2 ) 平成29年度薬事功労者厚生労働大臣表彰 (亀谷浩昌先生)…………… ( 3 ) 平成29年度沖縄県薬事功労者知事表彰 (宮良善孝先生、姫野耕一先生、親泊康行先生)… ( 4 ) 第49回沖縄県公衆衛生大会知事表彰 (知名繁夫先生)、大会長表彰 (美里千賀子先生)… ( 5 )
<b>沖縄学術大会</b>	第31回沖縄県薬剤師会学術大会報告……………外間 惟夫 ( 6 ) 第31回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム…………… ( 8 ) 第31回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会……………大城 喜仁 (14) 第31回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告……………姫野耕一・宮城幸枝 (17) 第31回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞講演要旨…………… (18)
<b>薬と健康の週間</b>	くすりと健康フェア……………前濱 朋子 (20) くすりと健康フェア 会長あいさつ……………亀谷 浩昌 (23) 薬祖祭 (波之上宮本殿)……………大城 喜仁 (24) 街頭キャンペーン…………… (25) くすりと健康フェア 告知ポスター…………… (26)
<b>医薬分業</b>	平成29年度医薬分業対策会議報告……………松本 圭五 (27) 医薬分業推進のためのアンケート回答結果…………… (30) 平成29年度第1回医薬分業対策委員会主催研修会報告……………松本 圭五 (38) 平成29年度第2回医薬分業対策委員会主催研修会報告……………松本 圭五 (40) 平成29年度第3回医薬分業対策委員会主催研修会報告……………池間 記世 (42)
<b>学術研修</b>	第3回臨床薬理学研修会報告……………潮平 英郎 (44)
<b>実務実習</b>	平成29年度第Ⅱ期薬学生実務実習報告……………佐藤 雅美 (46) 実務実習薬学生 平成29年度第Ⅱ期生からの体験記・感想…………… (47)
<b>九山薬学大会</b>	第78回九州山口薬学大会参加報告……………川上雄一朗 (58)
<b>日薬学術大会</b>	第50回日本薬剤師会学術大会報告……………吉富 弓江 (62)
<b>月例相談会</b>	第147回健康とおくすり相談会報告 (南部地区薬剤師会)…………… (65) 第148回健康とおくすり相談会報告 (南部地区薬剤師会)…………… (65) 第149回健康とおくすり相談会報告 (那覇地区薬剤師会)……………砂川美佳・一柳 香 (66) 第150回健康とおくすり相談会報告 (中部地区薬剤師会)……………神元 繁守 (68)
<b>学薬部会</b>	平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会参加報告……………大城 晴子 (69)
<b>県民の皆様へ</b>	あまくま薬立つ情報…………… (70)
<b>D I</b>	薬事情報おきなわ No.247……………薬事情報センター (71)
<b>薬連だより</b>	国会レポート ～来年度政府予算編成に向けて～……………藤井もとゆき (81)
<b>転載記事</b>	かかりつけ薬剤師 副作用、薬害防ぐのに重要……………渡具知一枝 (82) かかりつけ薬剤師重要 「薬と健康の週間」20日講演……………上原 卓朗 (83) 笑って健康長寿に 中井さん講演「朝夜30秒づつ」…………… (84) くすりと健康フェア告知…………… (84)
<b>年間目次</b>	おきなわ薬剤師会報 平成29年もくじ (通巻286号～290号)…………… (85)
<b>会務報告</b>	平成29年10月～11月末日分…………… (94) 沖縄県薬剤師連盟会務報告 (平成29年10月～11月末日分)…………… (98)
<b>会員作品</b>	誌上ギャラリー (会員作品) について…………… (100)
<b>編集後記</b>	…………… (100)
<b>お知らせ</b>	平成29年度沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内…………… ( 5 ) 県薬が会員に販売している印刷物等…………… (43) 会報原稿募集のご案内…………… (45) 地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！…………… (64)

・表紙

「ドイツとの国境の町 スイス シャフハウゼンの薬局」 photo by 前濱 朋子 (つる調剤薬局)

とよ ひら ほう うん  
題字：豊平峰雲

1992年改装と書かれているが、右側の柱に書かれた「APOTHEK」の赤い塗料の劣化と柱の奥の入口の  
アプローチの調度品が1738年築の年代を感じさせる建物

## 秋の叙勲 瑞宝双光章



吉田 久子先生 おめでとうございます

### 秋の叙勲 県関係45人受章



吉田 久子(76) 〓よしだ・ひ

さし 学校保健  
功勞。学校薬剤  
師。那覇市松川  
1の8の50

平成29年11月3日(金) 沖縄タイムス・琉球新報

## 学校保健および学校安全文部科学大臣表彰



神山 康喜先生 おめでとうございます

平成29年度学校保健および学  
校安全文部科学大臣表彰(27日)  
〓敬称略  
【学校保健・学校医】北條明  
(元県立真志川高校)  
【学校保健・学校歯科医】友  
寄喜樹(那覇市立小緑小学校)  
【学校保健・学校薬剤師】神  
山康喜(元名護市立東江中学校)  
【学校安全ホランテニア活動】  
平安座ハッター隊 〓うるま市  
▽山川老人クラブ 〓南風原町

平成29年9月28日(木) 沖縄タイムス・琉球新報

# 平成29年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰



## 亀谷 浩昌先生 おめでとうございます

表彰伝達式

期日：平成29年11月28日(火) 会場：沖縄県保健医療部 部長室



保健医療部、衛生薬務課関係者と記念撮影

**亀谷会長に  
賞状を伝達**

薬事功労厚労大臣表彰  
顕著な功績がある薬事業  
務従事者を表彰する「20  
17年度薬事功労者厚生労  
働大臣表彰」に県薬剤師会  
会長の亀谷浩昌さん(68)が  
写真右が選ばれ、県庁で  
28日、表彰状の伝達式が開  
かれた。県保健医療部の砂  
川靖部長(同左)から表彰  
状を手渡された。

亀谷さんは那覇市出身。  
琉球大学付属病院に長年勤  
務し、定年退職後は沖縄療  
育園に勤めた。15年6月か  
ら県薬剤師会会長に就任  
し、現在の期目。



平成29年11月20日 (水) 琉球新報

**本年度薬事功労  
亀谷さんを表彰**

県庁で伝達

本年度の薬事功労者厚生  
労働大臣表彰に、県薬剤師  
会会長の亀谷浩昌さん(68)  
が選ばれた。28

日、県庁で伝達表彰式があ  
った。  
県の砂川靖保健医療部長  
から賞状を受け取った亀谷  
さんは「薬剤師の仕事につ  
いてより多くの人に理解を  
深めてもらうため、誇りを  
持ってさらに頑張っていき  
たい」と意気込みを語った。  
亀谷さんは23歳から薬剤  
師として琉球大学付属病院  
などに勤務。47歳から県薬  
剤師会に務め現在まで21年  
間、研修環境の改善や医薬  
品事故対策、同会広報など  
に取り組んでいる。

砂川靖保健医療部長(左)から  
賞状を受け取る県薬剤師会の亀  
谷浩昌さん(28日、県庁)

平成29年11月19日 (火) 沖縄タイムス

# 平成29年度 沖縄県薬事功労者知事表彰



宮良 善孝先生・姫野 耕一先生・親泊 康行先生

おめでとうございます

(登録販売者協会)

期日：平成29年10月23日(月)

会場：沖縄県保健医療部 部長室



前列左より、姫野耕一氏、亀谷浩昌会長（宮良善孝氏代理）、砂川靖保健医療部長、親泊康行氏（登録販売者協会）

**親泊さんら3人  
薬事功労で表彰**

本年度知事表彰

本年度の薬事功労者知事表彰に、県医薬品登録販売者協会副会長の親泊康行さん(57)と、県病院薬剤師会副会長の姫野耕一さん(52)、石垣市立宮良小学校などの学校薬剤師の宮良善孝さん(68)ら3人が選ばれた。

23日、県庁で表彰式があり、保健医療部の砂川靖部長から賞状を受け取った。

親泊さんは薬種商協会副会長や医薬品登録販売者協会副会長などを歴任。会員の指導と資質向上に尽力するとともに、協会の基盤強化に努めるなどの功績が評価された。姫野さんは県病院薬剤師会副会長・理事として研修会の開催などによる地域医療の向上への貢献や、災害派遣医療チーム(DMAT) 隊員としての活動が認められた。

宮良さんは、八重山地区薬剤師会長などとして、院外処方箋発行率アップのため県立病院との交渉に当たるなど地域医療のリーダーとしての功績が評価された。砂川部長は「表彰を機に今後も薬事行政への協力と後進の指導をよろしくお願いたします」と激励した。

平成29年10月26日(木) 沖縄タイムス

# 第49回 沖縄県公衆衛生大会知事・大会長表彰



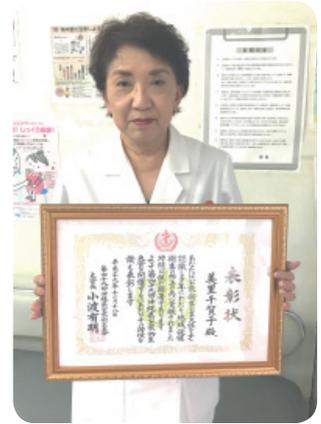
おめでとうございます

知名 繁夫先生 (知事表彰)・美里 千賀子先生 (大会長表彰)

期日：平成29年11月18日(土) 会場：沖縄県看護協会



左より、知名 繁夫氏、比嘉 真三 沖縄県公衆衛生協会副会長



美里 千賀子氏

## 平成29年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

日時：平成30年1月21日(日) 午後6時～

会場：ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 守礼の間

- |                      |        |        |         |
|----------------------|--------|--------|---------|
| 【瑞 宝 双 光 章】          | 吉田 久子氏 |        |         |
| 【薬事功労者厚生労働大臣表彰】      | 亀谷 浩昌氏 |        |         |
| 【学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰】 | 神山 康喜氏 |        |         |
| 【日本薬剤師会有功賞】          | 比嘉 真三氏 |        |         |
| 【九州山口薬剤師会会長賞】        | 仲井間 清氏 | 渡具知一枝氏 |         |
| 【沖縄県薬事功労者知事表彰】       | 宮良 善孝氏 | 姫野 耕一氏 | 親泊 康行氏  |
| 【沖縄県公衆衛生大会知事表彰】      | 知名 繁夫氏 |        |         |
| 【沖縄県薬剤師会会長表彰】        | 照屋 洋子氏 | 小那覇幸子氏 | 國吉 直子氏  |
|                      | 与儀 和子氏 | 内田奈保美氏 | 佐久川さつき氏 |
| 【沖縄県学校保健功労者表彰】       | 嘉数 和子氏 | 平良 綾子氏 |         |
| 【沖縄県公衆衛生大会長表彰】       | 美里千賀子氏 |        |         |

※祝賀会チケットをお求めの方は、沖縄県薬剤師会事務局、または地区薬剤師会までご一報ください。

## 沖縄学術大会

### 第31回沖縄県薬剤師会学術大会報告

日時：平成29年11月12日（日） 10:00～18:30

会場：沖縄県看護協会館（会員発表・ランチョンセミナー・特別講演・機器展示）  
沖縄県薬剤師会館 ホール（懇親会）



亀谷浩昌大会会長挨拶

「健康長寿を取り戻せ 薬剤師の底力で！」をテーマに、爽やかな秋晴れのもと第31回沖縄県薬剤師会学術大会が11月12日（日）に沖縄県看護協会館で開催された。今回は参加者が306名と昨年に続き300名を超え、会員の学術活動に対する熱意が感じられた大会であった。

名嘉紀勝大会実行委員の司会進行のもと、先ず実行委員長として開会の辞を述べ定刻での開幕となった。続いて大会会長の亀谷浩昌会長から「保険薬局薬剤師は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた地域包括ケアシステムの整備と、医療の場が病院から地

大会実行委員長  
外間 惟夫



域・在宅へそして疾病治療から未病・予防へと変化する動きに対応すべく、“患者のための薬局ビジョン” かかりつけ薬局・薬剤師” “健康サポート薬局制度” 等への対応が急務である事、また病院薬剤師は病棟での医療チームの中で薬を扱う場面全てに参画しているが、これら社会の要請に応え薬物治療をシームレスにする為には、今後更に薬剤師会と病院薬剤師会の連携を深めていかなければならない。」との思いが述べられた。

会員発表の部では、琉球大学医学部附属病院の石井岳夫氏、ぴいぷる薬局の中尾滋久氏、ハーブ薬局の照屋勇人氏、浦添総合病院の浜元善仁氏が座長を務め、病院薬剤師関連から12演題、保険薬局関連から3演題、その他部会・委員会関連5演題の合計20演題の発表が行われた。大会奨励賞としては病院診療所部門ではおもろまちメディカルセンターの梅窪倫子先生による「当院におけるポリファーマシーの現状と薬剤部の取り組み」が、保険薬局・その他関連部門では学校薬剤師部会 上原卓郎先生の「専門性を活かした薬物乱用防止教室への取り組み」が選ばれた。

ランチョンセミナーはアストラゼネカ株式会社との共催で、琉球大学医学部附属病院総合臨床研修・教育センター 特命准教授の原永修作先生を座長に、中頭病院副院長呼吸器内科の伊志嶺朝彦先生を講師として「喘息治療の話題と吸入指導」を講演いただいた。

特別講演Ⅰでは、平成28年4月に県薬剤師会と県病院薬剤師会の連携を成し遂げた兵庫県薬剤師会の三宅圭一副会長から「病院薬剤師と薬局薬剤師の協働で拓く薬剤師の未来」とのタイトルで、県薬剤師会・県病院薬剤師会が更なる連携をとり組織を強化することにより、その先に期待されるものは何かを考察するといった内容を、ユーモアを交えながら講演いただいた。

特別講演Ⅱでは沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科医長の高山義浩先生が「沖縄県の地域包括ケアシステム構築と薬剤師への期待」と題して、高齢者のライフスタイル（健康観や死生観を含む）に合わせた最適な医療の選択に向けて地域に密着した医療職である薬剤師の役割が大きいこと、また病院医療に依存し過ぎず住み慣れた地域で安心して人生の最期を迎える環境整備に対しても薬剤師参画により地域包括ケアシステムの実効性が高まると、薬剤師への熱い期待を述べられた。

その他、機器展示では7社の出展があり、最新の自動調剤ロボット機器や調剤支援技術

**第31回**

**沖縄県薬剤師会学術大会**

〈講演要旨〉



**健康長寿を取り戻せ 薬剤師の底力で!**

会期：平成 29 年 11 月 12 日(日)  
 会場：沖縄県看護協会館(学会・機器展示)  
 沖縄県薬剤師会館(懇親会)

講演要旨集表紙

大会テーマ：健康長寿を取り戻せ 薬剤師の底力で!

イラスト：カジマヤー

大会実行委員会において、大会テーマを「健康長寿を取り戻せ 薬剤師の底力で!」に決定し、講演要旨集の表紙には、この大会テーマに相応しいデザインを考慮し、「カジマヤー」を用いることになった。カジマヤーとシーサーをコンビネーションしたイラストである。  
 カジマヤーとは、沖縄地方で行われる数え年97歳の長寿の祝いである。漢字では風車、風車祭と表記する。旧暦9月7日又は9月9日に盛大な祝賀が催される。沖縄ではこの年齢になると子供にかえるとと言われることから、風車(カジマヤー)を持って集落内をオープンカー等でパレードする。小さな離島では、学校の鼓笛隊が加わる等して島ぐるみで祝われることもある。

ソフト等、展示・紹介があった。最後に普久原隆大会副実行委員長による閉会の辞で大会は盛況のうちに幕を閉じた。

今大会からはCOI・倫理的配慮の公表や審査アドバイザーなど新たな導入を行ったが、タイムキーパーや審査委員誘導など一部運営面の不手際も見られた。今後、運用スタッフや審査委員への事前説明や、さらに審査規定の明確化や委員の選考方法なども改善していきたい。

最後に、本大会を成功裏に終えることができたのは、座長や演者の先生方の協力と共催や広告、機器展示に出展いただいた協賛企業のご支援、さらに沖縄県薬剤師会事務局ならびに大会運営スタッフの協力の賜物であり、心より感謝申し上げたい。

## 第31回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム

受付 9:00 ~  
開会 10:00 ~



司会 第31回学術大会委員  
名 嘉 紀 勝

- 開会の辞 第31回学術大会実行委員長 外 間 惟 夫
- 会長挨拶 第31回学術大会会長 亀 谷 浩 昌

### I 会員発表（午前の部）

◎演題番号（1～6） 10:10～11:10 座長 石井 岳夫  
（琉球大学医学部附属病院）



1. 病棟薬剤業務におけるバンコマイシン注のTDM初期投与設計導入後の調査  
友愛会 豊見城中央病院 薬剤科 ○新 垣 淑 大  
藤 田 翔 喜久山 有 沙  
小 杉 卓 大 橋 本 孝 夫



2. ソラフェニブの有害事象と関連因子の検討  
琉球大学医学部附属病院 薬剤部 ○大 城 祥 子



3. 当院における吸入支援 ～カルテ記載による調査を踏まえて～  
浦添総合病院 薬剤部 ○長 嶺 桃 子  
川 上 博 瀬 佐次田 頌  
浜 元 善 仁 翁 長 真一郎



4. DPP-4阻害薬内服後に発症した水疱性類天疱瘡について  
那覇市立病院 薬剤部 ○糸 数 彩 瀬良垣 葉 月  
玉那覇 麻理奈 金 城 雄 一  
皮膚科 安 村 涼



5. 持効性注射製剤導入と治療継続における薬剤師の果たすべき役割  
～治療継続におけるサポーターとして～

新垣病院 ○城 間 千賀子  
比 嘉 佳穂子 森 下 彰 久



6. 褥瘡対策委員会担当薬剤師としての活動と今後の課題について

沖縄県立中部病院 薬局 ○長 田 麗 裕  
勝 連 真 人 川 平 浩 子  
皮膚・排泄ケア認定看護師 伊 禮 徹

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

11:10 ~ 11:20



◎演題番号 (7 ~ 10) 11:20 ~ 12:00

座長 中尾 滋久  
(ぴいふる薬局 経塚店)



7. 「子育てママとゆんたく会」に参加して見えてきたこと  
～ママ達の疑問や不安～

女性薬剤師部会 ○岡 野 敦 子



8. 専門性を活かした薬物乱用防止教室への取り組み

学校薬剤師部会 ○上 原 卓 朗



9. 院外処方せんへの検査値開示について

医薬分業対策委員会 ○西 川 裕



10. 沖縄県薬剤師会が行った薬局薬剤師による

県内3箇所の離島・へき地におけるアウトリーチ型健康とおくすり相談事業

地域保健委員会 ○笠 原 大 吾  
八重山地区薬剤師会 山 城 専  
宮古地区薬剤師会 川 満 正 啓  
中部地区薬剤師会 伊 佐 常 隆

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

12:00 ~ 12:30



II ランチョンセミナー 12:30～13:30 共催：アストラゼネカ(株)

【講演】『喘息治療の話題と吸入指導』

敬愛会 中頭病院 副院長 呼吸器内科 伊志嶺 朝彦 先生



<講師プロフィール> いしみね ともひこ

中頭病院 副院長。

平成3年琉球大学医学部卒業、同年大学院入学、平成7年大学院卒業。  
平成7年大浜第一病院・琉球大学医学部附属病院、平成8年国立療養所  
沖縄病院、平成9年与那原中央病院、平成10年琉球大学医学部附属病院、  
平成14年与那原中央病院呼吸器内科、平成18年中頭病院。

○所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本感染症学会、日本  
睡眠学会、日本化学療法学会、日本肺癌学会

○資格：博士号学位、内科認定医、総合内科専門医、呼吸器専門医・  
指導医、感染症専門医・指導医



座長：琉球大学医学部附属病院

総合臨床研修・教育センター 特命准教授 原永 修作

<座長プロフィール> はらなが しゅうさく

琉球大学医学部附属病院総合臨床研修・教育センター特命准教授・診療情報管理センター副センター長。

平成8年琉球大学医学部医学科卒業。平成8年琉球大学医学部第一内科入局、平成9年豊見城中央病院勤務、平成10年与論町国民健康保険  
直営診療所・北上中央病院、平成11年米国フロリダ大学留学（肺炎クラミジア研究）、平成13年琉生病院、平成14年沖縄県立中部病院  
呼吸器科嘱託医、平成15年琉球大学第一内科医員、平成17年沖縄愛楽園、平成19年琉球大学医学部第一内科(感染症・呼吸器・消化器内科学)  
助教、平成27年同講師・同診療准教授、平成29年現在に至る。

○学位 平成17年博士（医学）（琉球大学）肺炎クラミジア-肺胞マクロファージ感染モデル

○所属学会及び役職：呼吸器内視鏡学会（専門医）、結核病学会、化学療法学会、医学教育学会、日本呼吸ケアリハビリテーション学会

ブレイクタイム（休憩・機器展示等の閲覧）

13:30～14:00



III 会員発表（午後の部）

◎演題番号（11～14） 14:00～14:40

座長 照屋 勇人

（ハープ薬局）



11. 在宅医療として算定せずに患家へ訪問し

薬剤師が服薬管理支援を行っている理由とその課題の検討

薬水会 ○藤原 明人 玉城 武範

普久原 隆



12. 地域におけるヘルスコミュニティとしての薬局の関わりの一例

ミドリ薬局 美里店 ○玉城 武範





13. かかりつけ薬剤師介入後 訪問へ移行した1例

(株)クリエイトファーマシー ○高木英子 堀米寛恵  
まごころ薬局 山内店



14. 沖縄健康長寿と薬剤師の可能性

～健康サポート薬局として地域で薬教育に関わる～

薬局えぱーわーな～ ○大城恭子  
北部地区学校薬剤師 村上市子  
中部地区学校薬剤師 上原卓朗  
南部地区学校薬剤師 松尾はつよ

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

14:40 ～ 14:50



IV 特別講演 I

14:50 ～ 15:20

『薬局薬剤師と病院薬剤師の協働で拓く薬剤師の未来』

一般社団法人 兵庫県薬剤師会 副会長 三宅圭一先生



<プロフィール> みやけけいいち

昭和62年大阪薬科大学薬学部卒業、昭和62年(株)コクミン勤務(～平成元年)、平成元年(有)ハートフルケア ミヤケ薬局開局(～現在)。

平成2年川西市薬剤師会理事(～平成12年)、平成12年川西市薬剤師会副会長(～平成24年)、平成18年兵庫県薬剤師会常務理事(～平成26年)平成24年川西市薬剤師会会長(～平成28年)、平成26年兵庫県薬剤師会副会長(～現在)。

座長：  
第31回学術大会会長  
亀谷 浩昌



ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

15:20 ~ 15:30



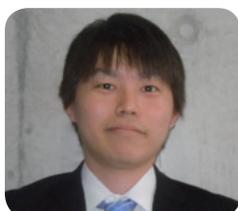
◎演題番号 (15 ~ 20) 15:30 ~ 16:30

座長 浜元 善仁  
(浦添総合病院)



15. 自動車運転に影響を及ぼす医薬品に対する薬局での取り組み

沖縄県立八重山病院 薬局 ○新 崎 さや乃 比 嘉 綾 子  
吉 本 尚 志 島 田 正 士  
伊 波 綾 乃 座 波 克 圭  
友 利 幹 夫 上 地 美 奈 子



16. 病院薬剤師からのsummary ~お薬手帳から一步先へ~

友愛会 豊見城中央病院 薬剤科 ○平 識 善 彦 池 村 有 佳 子  
長 嶺 亜 香 利 金 城 史 織  
大 城 匡 史 橋 本 孝 夫



17. 医薬品安全管理の現状と薬剤師の関わり

社会医療法人敬愛会 中頭病院 薬剤科 ○島 袋 朝 太 郎  
安座間 照 子 長 濱 照 美  
中頭病院 医療機能向上対策部 仲村渠 美 加 比 嘉 美 香 子



18. 救命処置委員会を経験して

沖縄県立中部病院 薬局 ○野 原 開  
長 田 麗 裕 川 平 浩 子



19. 当院におけるポリファーマシーの現状と薬剤部の取り組み

おもろまちメディカルセンター 薬剤部 ○梅 窪 諭 子  
糸 嶺 達 荒 田 多 恵 子  
上 原 由 紀 馬 場 和 子  
上 野 愛 島 袋 友 香 子  
小橋川 健 枝 我 喜 屋 美 香



20. 地域医療構想を視野に入れた沖縄県病院薬剤師会糖尿病分会の取り組み

沖縄県病院薬剤師会 糖尿病分会 ○徳 嶺 恵 子  
砂 川 智 子 垣 花 真 紀 子  
外 間 登 宮 城 英 之  
與 座 順 子 佐 次 田 頌  
宮 里 弥 篤 阿 嘉 秀 寅  
沖縄県病院薬剤師会 中 村 克 徳

ブレイクタイム（休憩・機器展示等の閲覧）



16:30 ～ 17:00

V 特別講演 II

17:00 ～ 18:30

『沖縄県の地域包括ケアシステム構築と薬剤師への期待』

沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科医長 高山 義浩 先生



<プロフィール> たかやま よしひろ

沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科医長

福岡県生まれ。東京大学医学部保健学科、山口大学医学部医学科を卒業。国立病院九州医療センター、九州大学病院、佐久総合病院、厚生労働省勤務を経て、現在は、沖縄県立中部病院において感染症診療に従事。また、終末期患者に対する在宅緩和ケアを行っている。群馬大学医学部非常勤講師、神戸大学医学部非常勤講師、日本医師会総合政策研究機構非常勤研究員、沖縄県地域医療構想検討会議委員、沖縄県医師会在宅医療・介護連携統括アドバイザー。著書に『アジアスケッチ 目撃される文明・宗教・民族』（白馬社、2001年）、『ホワイトボックス 病院医療の現場から』（産経新聞出版、2008年）、『地域医療と暮らしのゆくえ 超高齢社会をともに生きる』（医学書院、2016年）など多数。

座長：第31回学術大会実行委員

沖縄県立中部病院 薬局長

川平 浩子



○ 閉会の辞

第31回学術大会・副実行委員長

普久原 隆



## 第31回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会

日時：平成29年11月12日(日) 18:45～20:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

第31回沖縄県薬剤師会学術大会の会員発表、特別講演を無事に終え、会場を沖縄県薬剤師会館に移し、午後6時45分から第31回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会が催された。

司会は青年薬剤師部会の宮城勇己氏が務めた。江夏京子副会長の開会の辞、亀谷浩昌会長の挨拶、砂川靖沖縄県保健医療部長が来賓の挨拶をされた。

続いて、外間惟夫大会実行委員長より発表者全員に演題発表認定証が授与された。今大会は20演題の発表があり、その中でも優秀な発表者に大会奨励賞の授与式が行われた。今年の大会奨励賞は、病院薬剤師関連部門におもろまちメディカルセンターの梅窪諭子先生による「当院におけるポリファーマシーの現状と薬剤部の取り組み」が、保険薬局・その他関連部門では学校薬剤師部会の上原卓朗先

生による「専門性を活かした薬物乱用防止教室への取り組み」がそれぞれ選ばれ、亀谷会長から賞状が授与された。

次に、沖縄県薬剤師会長表彰が執り行われ、本会に長年貢献された6氏に亀谷会長から賞状と記念品の授与が行われた。照屋洋子氏、國吉直子氏、小那覇幸子氏、内田奈保美氏、与儀和子氏、佐久川さつき氏の6氏を代表して、与儀和子氏より受賞の喜びと感謝の言葉が述べられた。

中村克徳大会副会長の乾杯の音頭で歓談に入った。歓談が落ち着いた頃、懇親会までご出席いただいた特別講演講師の三宅圭一先生と高山義浩先生からご挨拶をいただいた。

大いに盛り上がった懇親会は、前濱朋子副会長の挨拶で閉会となった。

(報告：事務局 大城 喜仁)



発表者20人に外間惟夫大会実行委員長から認定証が授与された



奨励賞受賞者  
梅窪諭子氏と上原卓朗氏



会長表彰受賞者代表挨拶をする与儀和子氏(右)  
左より、照屋洋子氏、小那覇幸子氏、國吉直子氏



特別講演Ⅰ講師の三宅圭一氏



特別講演Ⅱ講師の高山義浩氏



開会の挨拶  
江夏 京子  
副会長



あいさつ  
亀谷 浩昌  
大会会長



来賓挨拶  
砂川 靖  
沖縄県保健医療部長



乾杯の音頭  
中村 克徳  
大会副会長



閉会の辞  
前濱 朋子  
副会長



司 会  
宮城 勇己  
青年薬剤師部会



特別講演講師、来賓、大会役員で記念撮影

〈会員発表審査会〉



病院・診療所薬剤師関連部門審査員  
○照喜名 重裕 ○姫野 さやか ○姫野 耕一  
○知念 高志 ○荷川取 直樹



保険薬局・その他関連部門審査員  
○前濱 朋子 ○宮城 幸枝 ○佐藤 雅美  
○江夏 京子 ○荒井 千春

〈機器展示コーナー 7社〉



(株)ITSシステム



(株)EMシステムズ



(株)タカゾノ



(株)トーショー 沖縄営業所



パナソニック ヘルスケア (株)



(株)ユヤマ 沖縄営業所



(株)リレーションズ



不動産・備蓄ネットワーク紹介コーナー

## 第31回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告

### ＜病院・診療所薬剤師関連部門審査報告＞

病院・診療所薬剤師部門の発表は12演題ありました。今回の研究テーマは、薬剤師がいかに安全かつ適正な薬物療法に貢献できるかを模索し、その成果を発表されています。プロセスと成果が相俟って素晴らしい発表が多かったと思います。残念ながら今回、演題提出の無かった施設も次回大会に向けて日頃の研鑽の成果を発表してほしいと思います。

大会当日の発表された演題の中から奨励賞を授与する発表演題を選定するのですが、評価の基準は、研究成果を患者や地域に還元できるか、研究の進め方が倫理的にかなっているか、発表構成は適切か、発表内容に関して抄録と発表内容との関連性、プレゼンテーション技術、時間配分等について審査し、これを点数化すると共に審査員の意見も加え総合的に評価して選定しました。今回は、全国の学術大会での発表を考慮し、「倫理的配慮」



病院・診療所薬剤師関連部門審査員  
姫野 耕一

と「時間配分」について、特に重視しました。

5名の審査員で協議した結果、演題番号19. おもろまちメディカルセンターの梅窪諭子先生による「当院におけるポリファーマシーの現状と薬剤部の取り組み」を奨励賞に決定しました。ポリファーマシーの現状として、各施設の取り組みが遅れている中で、積極的に多職種と連携していることが審査において高い評価を得ました。

学術大会への参加者数は年々増え、発表の内容も充実しています。今大会のテーマである「健康長寿を取り戻せ 薬剤師の底力で！」に相応しい大会であったと思います。

### ＜保険薬局・その他関連部門審査報告＞

保険薬局・その他関連部門では、保険薬局から4題、部会から2題、委員会から2演題の発表がありました。今回はどの演題も現在求められる薬剤師活動をテーマに取り組みされたものであり、地域のあらゆる場面で薬剤師の果たす役割が大きくなっていることを表しているかと思います。

各演題について、5名の審査員が発表テーマ、発表内容・構成、発表方法の観点から、研究発表をよりよいものにできているかを点数化して奨励賞1題を選定しました。審査員が審査する際には、保険薬局・薬剤師ならではのテーマの選定、その研究成果は患者さんや地域に還元可能なものか、倫理的な問題、個人情報等は配慮されているか、利益相反がないか、発表は目的、方法、なかなか結果、考察、まとめなどが研究の展開に沿ってまとめ、研究のポイントを簡潔に説明し、時間内に発表を終えることができるかなどが評価の



保険薬局・その他関連部門審査員  
宮城 幸枝

ポイントとなっています。

どの発表からも日々の薬剤師の奮闘と地域貢献が伺われ、点数評価が難しいものであり、発表内容のレベルの高さを感じられました。最終的には総合的な評価で、演題番号8. 学校薬剤師部会の『専門性を活かした薬物乱用防止教室への取り組み』が選ばれました。学校薬剤師は学校における活動を計画的に実践していますが、その中でも今回のテーマである薬剤師の専門性を生かした薬物乱用防止教室への取り組みは、近年身近になってきた薬物の危険性を地域特性および海外留学も多い学校の特性も視野に入れて実施した内容の発表であったことが高く評価されました。

<病院診療所関連部門奨励賞受賞講演要旨>

19. 当院におけるポリファーマシーの現状と薬剤部の取り組み

おもろまちメディカルセンター薬剤部 ○梅 窪 諭 子  
糸 嶺 達 荒 田 多恵子  
上 原 由 紀 馬 場 和 子  
上 野 愛 島 袋 友香子  
小橋川 健 枝 我喜屋 美 香

【はじめに】

近年、「ポリファーマシー」については、論文や書籍、一般のメディア等でも取り上げられるようになり、その問題点については広く認知されるようになった。入院中の薬剤管理は、処方を整理し減らすことができる良い機会である。当院薬剤部では、持参薬鑑別から処方提案、服薬指導の流れを通して服薬状況の把握に努め改善に取り組んでいる。今回、当院における服薬状況を調査するとともに処方の適正化に向けた取り組みを行ったので報告する。

【方法】

- ① 一般病棟（5,6階）及び療養病棟（4階）における処方薬剤数の調査  
患者一人あたりの処方薬剤数を調査・集計（平成29年5月12～15日）した。
- ② 療養病棟で実施したポリファーマシー対策の調査  
当該病棟の入院患者全員の処方について減薬の可能性を検討（平成27年10月～平成28年2月）した。その際、医師、薬剤師でポリファーマシー対策会議を実施した。
- ③ 減薬された症例の提示  
これまでに減薬が行われた症例の中から、代表的な症例を紹介する。

【結果】

- ① 5剤以上が処方されている割合は4階病棟で65%（60名中39名）、5階病棟で73%（37名中27名）、6階病棟で74%（43名中32名）であり、いずれの病棟においても6割以上の患者でポリファーマシーの状態であった。
- ② 期間中に途中転棟・退院した患者を除いて、減薬の対象となった人数は計47名。このうち実際に何らかの減薬がなされた患者は28名（59.6%）であった。減薬された主な薬効群は「高脂血症治療剤」「整腸剤」「ビタミン剤」「去痰剤」「経皮吸収型・気管支拡張剤」であった。
- ③ 症例：90歳女性 食欲不振、服薬困難にて入院  
《既往歴》：気管支喘息・2型糖尿病・脂質異常症・高血圧・老年性うつ病、不安神経症・難聴。  
食欲不振の原因として薬剤性を疑い、ポリファーマシー対策へ着手。入院当初の16剤から3剤に薬剤を減らし経過観察とした。入院中、薬剤の増減はあるものの、最終的に4剤でコントロール可能となり退院となった。以後数回の入退院をくり返し、現在の当院処方7剤で推移している。

【考察】

当院において、ポリファーマシーの目安となる5剤以上を処方されている患者は平均で約70%と大きな割合であった。これは他院受診による処方が入院時にすべて集約された結果と考えられる。薬剤部でのポリファーマシー対策会議において、専門医の助言を取り入れた結果、減量・減薬に繋がった症例は飛躍的に増大した。今回の事例に見られるように、今後ポリファーマシー対策に取り組むにあたっては、各種の減薬ツールを参考にする事は勿論のこと職種間の情報共有や連携が非常に重要であると考えられる。また、今回のポリファーマシー対策では、処方医が他院の場合に処方変更が難しいケースや退院後のフォローが難しい事も経験し、単一施設での取り組みの限界を感じた。この問題の解決に向けては、今後、病院薬剤師・薬局薬剤師という枠組みを超え、地域全体での取り組みが重要と思われる。

## <保険薬局・その他部会関連部門奨励賞受賞講演要旨>

### 8. 専門性を活かした薬物乱用防止教室への取り組み

一般社団法人沖縄県薬剤師会 学校薬剤師部会 ○上 原 卓 朗

#### 【目的】

近年、薬物乱用の問題は大麻や危険ドラッグなどのように、乱用される薬物が多様化しており、児童生徒への薬物乱用防止教育においては、専門的な知識が必要となってくることも少なくない。学校薬剤師は、専門性を有する指導者として、これまでに薬物乱用防止に貢献していると評価されているが、全国的にみると薬物乱用防止教室における学校薬剤師への講師依頼はいまだ少ないのが現状である。

学校薬剤師部会では、学校薬剤師が行う薬物乱用防止教室の実施率向上を目指して、支援体制の整備と専門性を活かした授業内容の検討を行ってきた。今回、その取り組み状況を報告する。

#### 【専門性を活かした薬物乱用防止教室の実施】

今回、専門性を活かした薬物乱用防止教室の実施例として、県立球陽高校の全校生徒を対象に行った授業内容を紹介する。

##### (1) 事前打ち合わせ

打ち合わせでは、学校の特性や地域特性を考慮し、学校でどのような薬物乱用防止教育を行っているか、また問題点はあるのかを確認したうえで、薬剤師としての専門性を活かした内容を提案するようにした。

##### (2) 授業内容

###### ア 医薬品の適正使用

医薬品も正しく使用しないと、身体への影響を与え、薬物依存にもつながる可能性がある。医薬品教育と重複する内容でもあるが、適正使用に関する問題もあったため、薬物乱用防止教室の一環として内容に組み込んだ。

###### イ 多様化する乱用薬物

大麻や危険ドラッグは誤った情報を入手しやすい。特に大麻はアメリカでの合法化の流れも受け、容認派によるインターネットやSNSでの書き込みが増加している。なかには、偏った情報が存在するので、生徒には正しい知識を専門家として伝えるようにした。

##### (3) 事後アンケート

学校の協力が得られれば、事後アンケートや感想を書いてもらい、授業のフィードバックを行う。得られた結果から、今後の授業内容の検討を行い、改善をしていくことでより専門性を高めた授業展開が検討できる。

#### 【まとめ】

学校薬剤師が行う薬物乱用防止教室の実施率向上に向けて、部会として様々な取り組みを行ってきた。今後は、専門性を活かした薬物乱用防止教室を実施するために医薬品の適正使用などを授業に入れることが必要となってくる。それには画一的に授業を行うのではなく、学校の現状に合わせて薬剤師の視点で組み立てていくことで、学校薬剤師ならではの薬物乱用防止教室の実施が行えるであろう。ひいては、実施率向上にもつながり、「薬物乱用防止教室といえば学校薬剤師」という認識に広がっていくものと期待したい。

薬と健康の週間

くすりと健康フェア

日時：平成29年10月20日(金) 16:30～18:30 健康とおくすり相談会

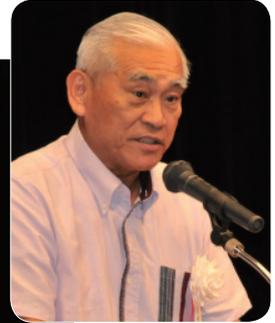
19:00～20:30 県民公開講演会

会場：パレット市民劇場（那覇市）

主催：沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会



亀谷浩昌会長あいさつ



副会長 前濱 朋子

本年度の全国統一事業のテーマを「決めよう！探そう！活用しよう！かかりつけ薬剤師を～もっと身近に、ずっとそばに～」とし、「薬と健康の週間」が10月17日(火)～23日(月)に開催されました。その行事の一環として、10月20日にパレット市民劇場でくすりと健康フェアが開催された。南部地区薬剤師会主催による健康とおくすり相談会、沖縄県・那覇

市・沖縄県薬剤師会の主催で県民公開講演会という日程であった。約200名の来場者があった。

はじめに、主催者として沖縄県保健医療部長の砂川靖氏、那覇市健康部参事の仲宗根正氏、そして沖縄県薬剤師会は亀谷浩昌会長が挨拶された。



司会を務めた 神里奈々子氏



基調講演「知らなきゃ損する薬局の活用法」



西川 裕 常務理事

<県民公開講演会プログラム>

司会 沖縄県保健医療部衛生薬務課 神 里 奈々子

○開会

○主催者あいさつ

沖縄県保健医療部部長 砂 川 靖

那覇市健康部参事 仲宗根 正

沖縄県薬剤師会会長 亀 谷 浩 昌

○基調講演「知らなきゃ損する薬局の活用法」 沖縄県薬剤師会常務理事 西 川 裕

◎特別講演「笑いは健康長寿の常備薬～人生は楽しく・美しく～」

講師：NPO法人健康笑い塾主宰 中 井 宏 次



講師の中井 宏次氏

<講師プロフィール>

中井 宏次 (なかい こうじ)

2007年「医笑同源：笑い（ユーモア）でこころ豊かな喜びのある生活を！」テーマに「NPO法人健康笑い塾」を設立し、全国の皆様に生活における笑い（ユーモア）の重要性を啓蒙し、「笑いとしあわせ」をお届けする笑配人として活動している。また、33年間の会社経験を活かし、「笑いと経営」、「職場のメンタルヘルスとユーモア」、「ユーモア人財育成法」等の研究にも取り組み、経営・人財育成コンサルタントとして活躍している。大学では非常勤講師として、「笑い与健康」、「医療コミュニケーション」の講座を担当し、教職としても「笑いと教育」をベースに、これからの人財育成・予防笑学に情熱を注いでいる。また、薬家さく臓の芸名で落語も嗜んでいる。

基調講演では“知らなきゃ損する「薬局の活用法」”と題して、本会の西川裕常務理事が講師を務め、かかりつけ薬局・薬剤師の役割を県民目線で、Q&A式で、わかりやすく説明された。会場では、「残薬どうしていますか？困っていませんか？」に大きくうなずく姿がみられた。講演は「道に迷ったら交番。薬や健康に迷ったらかかりつけ薬局にお越し下さい」と締めくくられた。

続いて行われた特別講演会では、「笑いは健康長寿の常備薬 ～人生は楽しく・美しく～」と題して、薬剤師・日本笑い学会理事の中井宏次先生にご講演いただき、会場は笑いの渦に包まれ、「“笑っていますか！ハイタッチ運動”を沖縄県で流行らせてもらいたい。ハイタッチすると誰もが笑顔になる。」と会

場内隣同士でのハイタッチを促し、「ハイタッチでお互いの顔が近くなると自然に笑顔になるでしょう」とハイタッチ効果を来場の方々に体験させた。どう笑うかが大事で、心で、脳で笑って下さいと話され、薬剤師へのメッセージとして、「お大事にと、言葉にするのは教えられる。プラスおもてなしの心が伴う事で患者さんへ素のおもいが伝わるのだ」と話された。講演の最後には、かかりつけ薬局・薬剤師について即席で考案した「か：患者さんのために か：駆けつけて り：理想の つ：つきあいを け：継続します」を来場者にしっかりと印象づけての閉幕となった。

講演後は、ロビーにて中井先生自らが帰られるお客様全員とハイタッチをして見送られた。

くすりと健康フェア 県民公開講演会 スナップ写真



会場は終始 笑い声が絶えなかった



講演後は自らハイタッチで参加者に  
ハイタッチして見送られた



控室で記念撮影  
左より、仲宗根 正氏、砂川 靖氏、中井宏次氏  
亀谷浩昌会長、神里奈々子氏

平成29年度「薬と健康の週間」行事表

月日	時間	行事名	場所	実施団体
10月15日(日)	11:00～12:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエー石垣シティ	八重山地区薬剤師会、沖縄県
10月17日(火)	～20日(金)まで	「薬と健康の週間」パネル展	那覇市役所 1階ロビー	沖縄県、那覇市、県薬剤師会
	～23日(月)まで	「薬と健康の週間」パネル展	琉球銀行宮古支店	沖縄県
10月18日(水)	10:00～10:30	薬祖祭	波上宮本殿	沖縄県薬業連合会、沖縄県
	10:30～11:00	永年勤続者表彰	波上宮本殿	沖縄県医薬品卸業協会
	13:00～16:00	全国統一薬事講習会	沖縄県薬剤師会館	沖縄県医薬品登録販売者協会
10月19日(木)	16:00～17:00	「麻薬・覚せい剤乱用防止」 街頭キャンペーン	イオン北谷店前	医薬品登録販売者協会 沖縄県、中部地区薬剤師会
10月20日(金)	16:00～18:30	くすりと健康フェア 健康とおくすり相談会	パレット市民劇場 ロビー	南部地区薬剤師会
	19:00～20:30	くすりと健康フェア 県民公開講演会	パレット市民劇場	沖縄県、那覇市、県薬剤師会
10月21日(土)	14:00～15:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	ドン・キホーテ宮古島店前	宮古地区薬剤師会、沖縄県
	15:00～17:00	お薬相談会		北部地区薬剤師会
	16:00～17:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	イオン名護店前	北部地区薬剤師会、沖縄県 薬物乱用防止協会北部支部
10月22日(日)				
10月23日(月)	11:00～11:30	沖縄県薬事功労者知事表彰式 被表彰者：宮良善孝氏、姫野耕一氏 親泊康行氏	沖縄県庁保健医療部長室	沖縄県

## くすりと健康フェア 会長あいさつ



会長 亀谷 浩昌

会場の皆様こんばんは。只今ご紹介頂きました薬剤師会会長の亀谷です。本日は、お忙しい中、県民公開講演会において頂きありがとうございます。

「薬と健康の週間」は、厚生労働省、都道府県、市町村、日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会が主催して全国一斉に行われます。沖縄県薬剤師会としては、特に「薬剤師が果たす役割の大切さ」について一人でも多くの方に知って頂きたいと思っています。

さて、先人の知恵として、「人生には3人の友人が必要」と言われています。3人の友人の職業について、アメリカでは医師、弁護士、そして牧師又は証券マンとなっています。日本では、医師、弁護士、そしてお坊さんです。3人の内の最初から2人目まではアメリカでも日本でも医師、弁護士です。命に関わる医師が一番目、命の次に大切なお金に関わるのが2番目の弁護士なので、この順位は順当と思われれます。私と致しましては、この3人の中に薬剤師を加えて頂き、1番目に医者と薬剤師、2番目に弁護士、そして3番目は牧師でもお坊さんでも証券マンでもよろしい。古本屋の親父でも良いのです。

手前味噌のように聞こえるかもしれませんが、ちゃんと理由があります。それは、お薬はさっさと飲んで終わりというものではな

く、飲んだ後が大事だからです。米国医師会雑誌に掲載された論文によると、お薬をきちんと指示通り飲んだにも関わらず、薬の副作用や飲み合わせの害による死亡者が年間10万人にも上ると推計されています。

薬をもらってから次の診察日まで、患者さんが自分だけで薬の効果や有害事象についての管理ができるでしょうか。判断の遅れによって取り返しのつかない事態になることもあります。だから、医師と薬剤師をセットにして友人に持つことが大切なのです。ここでいう薬剤師は、当然、「かかりつけ薬剤師」でなければなりません。

更には、皆さんが健康に良いからと、高いお金を出して飲んでいる健康食品やサプリメントと称される物の中にも、お薬との飲み合わせが悪いものや、健康食品と称しながら健康どころか不健康にさせられるものも多数あります。病気を直し、健康になろうとして飲む物によって、万が一にも不都合がないように、この面でもかかりつけ薬剤師を十分に活用して頂きたいと思います。

結びになりますが、「笑いに勝る良薬なし」と言われます。ここにお集まりの皆様には、大いに楽しんで笑っていただき、病気に打ち勝つ力である免疫力が高まることを願って私のご挨拶といたします。

## 薬と健康の週間

# 薬 祖 祭

「薬と健康の週間」行事は、毎年、波之上宮本殿で、朝10時からの『薬祖祭』を皮切りに行われる。宮司の祝詞の中に、薬祖神である少彦名命（スクナヒコナノミコト）に薬の取り扱いに間違いがないよう病める人の苦しみの癒えんことを奏上して、沖縄県薬業連合会（沖縄県薬剤師会、沖縄県卸業協会、沖縄県登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会）、沖縄県、那覇市に言上されている。当



会の第六・八・十一代会長であった故仲松弥元氏は、昭和37年に製薬会社が軒を並べる大阪市道修町の少彦名神社より御分霊「神農(中国医薬の守護神)」を勧請して、那覇市波之上宮に依頼して奉祀された。道修町で毎年11月22、23日に神農祭が行われることから、波之上宮に神農が奉祀された翌年より、11月23日（勤労感謝の日）に薬祖祭が執り行われるようになった。神農を祀る神農祭とは別に、東京、京都、名古屋をはじめ、各地で薬剤を祀る祭礼が行われている。祭神は日本の医薬の神として敬われてきた少彦名命と大国主命（オオクニヌシノミコト）。祭日は土地ごとに違っていたが、近年、10月17日に統一され、薬剤師会や薬業界が祭主となって催している。

今年の薬祖祭は、前日までの悪天候から一転、10月18日（水）午前10時から波之上宮本殿にて、晴れわたった朝の澄みきった潮風の流れるさわやかな雰囲気の中で、沖縄県薬業連合会と沖縄県、那覇市で厳修された。

（文・事務局 大城）



参拝者には、病除祈願の張り子の虎を笹に結びつけたお守りが配られる。この風習は、日本で初めてコレラが大流行した年に道修町の医薬商が相議り、疫病除卸薬「虎頭殺鬼雄黄圓（虎の頭骨を配合した丸薬）」を作り、神前で祈祷して庶民に無料で施し、虎と竹を組み合わせたお守りと共に配った。当時、コレラを「虎列刺」と書き、その猛威と怖さを誇示していたので、薬に“虎を殺す鬼”と名づけられた。



# 薬と健康の週間

# 街頭キャンペーン



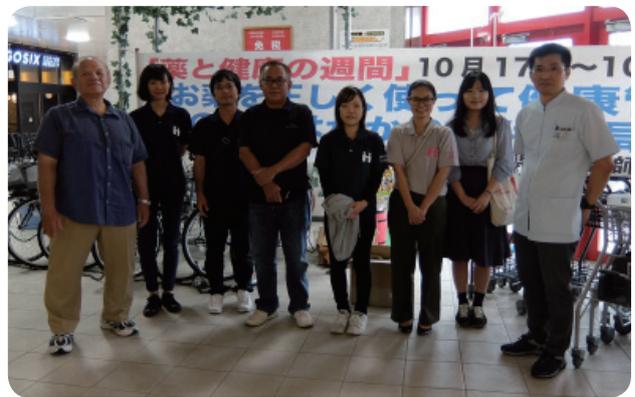
北部地区薬剤師会 (イオン名護店前)



同時に相談会も開催



宮古地区薬剤師会 (ドン・キホーテ宮古島店前)



## 八重山地区薬剤師会

17日から始まる2017年度「薬と健康の週間(23日)」を前に、医薬品に関する正しい知識と薬剤師らの役割を知ってもらおうと、街頭キャンペーン(八重山地区薬剤師会、八重山保健所主催)が15日午前、サンエー石垣シティで行われたII写真。

参加した同会の会員や保健所職員ら7人が、買い物

薬の正しい使用  
街頭で呼び掛け  
薬剤師会がキャンペーン

客らにパンフレットを配布し、薬を正しく安全に使用するため、かかりつけの薬剤師や薬の専門家への相談を呼び掛けた。

県薬剤師会の幸地良信理事は「薬は正しく使うと良い効果をもたらすが、誤った使用方法で思いもよらぬ事が起きてしまう。この機会に、正しい使用方法を確認してほしい」と話した。



平成29年10月16日(月) 八重山毎日新聞

告知ポスター

薬と健康の週間 10/17(火)▶23(月)

入場無料

くすりと健康フェア《心身ともに健康》

# 県民公開講演会

平成29年10月20日(金) 午後7時～8時30分

パレット市民劇場  
那覇市久茂地1-1-1 (パレットくもじ9F)

※ご来場の際は、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。  
※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

手話通訳  
あります。

## 演 題

### 笑いは健康長寿の常備薬 ～人生は楽しく・美しく～

## 講 師

### 中井 宏次 (なかい こうじ)

2007年「医笑同源:笑い(ユーモア)でこころ豊かな喜びのある生活を!」テーマに「NPO法人健康笑い塾」を設立し、全国の皆様に、生活における笑い(ユーモア)の重要性を啓蒙し、「笑いとしあわせ」をお届けする笑配人として活動している。また、33年間の会社経験を活かし、「笑いと経営」、「職場のメンタルヘルスとユーモア」、「ユーモア人財育成法」等の研究にも取り組み、経営・人財育成コンサルタントとして活躍している。大学では、非常勤講師として、「笑い与健康」、「医療コミュニケーション」の講座を担当し、教職としても「笑いと教育」をベースに、これからの人財育成・予防笑学に情熱を注いでいる。また、薬家さく臓の芸名で落語も嗜んでいる。【座右の銘】仕事は楽しく 人生はおもしろく  
【免許・資格】薬剤師・日本笑い学会理事・日本産業ストレス学会評議員  
【著書】「笑いとしあわせ～こころ豊かに生きるための笑方箋～」春陽堂書店  
「顔が笑う ところが笑う 脳が笑う」春陽堂書店 「笑い和社会現象」ぎょうせい  
「笑いと経営～凄いやからおもしろい～」明治大学リパティアカデミー

## 健康とおくすり相談会

日時 平成29年10月20日(金) 午後4時30分～6時30分

場所 パレット市民劇場ロビー  
講演会前に薬剤師が健康とお薬の相談を致します。

相談無料  
お気軽に  
ご相談ください

日頃使用している医薬品(処方薬、大衆薬)や健康食品、サプリメント類について、また、健康で長生きするための生活習慣(栄養、運動、休養、喫煙、飲酒など)について

主催:南部地区薬剤師会

## お薬手帳

### 5つのいいこと

- ① 医療機関にかかる時は必ず持っていきましょう
- ② 言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう
- ③ 一般用医薬品(OTC医薬品・大衆薬)・健康食品も記録して
- ④ いつも携帯・いつも同じ場所に保管して
- ⑤ 一冊にまとめましょう

かかりつけ薬局・薬剤師をもちましょう。健康とお薬については、お近くの薬局・薬剤師にご相談下さい。

主催:沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会

お問い合わせ: 沖縄県保健医療部衛生業務課 ☎098-866-2055 那覇市健康部保健所生活衛生課 ☎098-853-7963 沖縄県薬剤師会事務局 ☎098-963-8930

医薬分業

平成29年度医薬分業対策会議報告

日時：平成29年9月10日(日) 14:30～16:00  
 会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

＜会次第＞	司会：医薬分業対策委員会	吉田 洋史
1. 沖縄県薬剤師会会長あいさつ		亀谷 浩昌
2. 沖縄県病院薬剤師会会長あいさつ		中村 克徳
3. アンケート結果について		
(1) 病院診療所向けアンケート回答結果	医薬分業対策委員会	外間 惟夫
(2) 保険薬局向けアンケート回答結果	医薬分業対策委員会	大城 恭子
4. ディスカッション テーマ「疑義照会について」		
	議事進行 医薬分業対策委員会 委員長	西川 裕
5. まとめ	医薬分業対策委員会	江夏 京子

研修会の後、場所を移して開催された本会議では、県内広域病院薬局長および各地区薬剤師会役員等でプロトコルについての活発な意見交換が行われました。

まず初めに、沖縄県薬剤師会の亀谷浩昌会長、沖縄県病院薬剤師会の中村克徳会長より挨拶があり、なかなか集まらないメンバーで有意義な会議が行われることへの期待、研修会の講師への感謝を述べられ、薬薬連携をさらに深めましょうと述べられました。

次に、広域病院、保険調剤薬局へ事前に行っていたアンケート調査の報告が行われました。病院向けアンケートの報告を医薬分業対策委員会の外間惟夫委員からありました。アンケートの内容で重要な部分を抜粋しました。

Q4の疑義照会内容で多かったのは、①投与日数、②用法用量、③剤形変更等が上位にあり形式的な疑義照会が多いようでした。

Q7の処方医が不在の時の対応については、病院から処方医に連絡が半分を占め、当該科のほか医師の対応が次に多かったです。

Q8の疑義による薬剤適正効果への貢献についての評価は、①有効性の確保、②安全性の



医薬分業対策委員会  
松本 圭五

確保、③患者のQOLの向上があげられていました。

Q11の保険調剤薬局への要望については、「要点をまとめて簡潔に」が多く、次に「問い合わせを減らす工夫」となっていました。

Q12の不必要な問い合わせを減らすための対策については次のとおり。

○近隣薬局と定期的に疑義照会事例に関する情報共有や要望のヒアリング、病院の方針の伝達を行っている。医師へのインフォメーションしたほうがいい内容等は病院薬剤部が院内メールで医師に伝達。

○トレーニングレポートの利用

○疑義照会不要項目を院内で取り決め、その内容については医師に疑義照会せず薬剤師で回答している。疑義照会元の薬局には次回以降その内容については疑義照会不要を伝え、変更点は後日FAXで連絡、当院のカルテに反映させている。

次に、薬局向けアンケート報告を医薬分業対策委員会の大城恭子委員からありました。今回のアンケートは540軒中120軒から回答があり22%でした。アンケートの内容で重要な部分を抜粋しました。

Q2の疑義照会の1か月の割合が最も多いのは4%～8%で、全国平均は2%～3%なので沖縄県は全国平均より疑義照会が多いようです。

Q4の疑義照会で困ることは、①患者さんを待たせる、②医師との連絡が取りにくいのが80%を占めていました。

Q7の疑義照会の内容で多い事項は、①薬の削除（残薬ありで）、②薬の投与日数、③用法用量でほぼ病院向けアンケートと同じような形になっていました。

Q10で円滑に疑義照会を行うために何が必要ですか？では、「互いに質問しやすい関係を作る」が半数をしめ連携の重要性を感じました。

Q11のもし、医療機関と取り決めができれば、疑義照会せずに薬剤師が判断してもよいと思われることは？では、①銘柄の変更（同一成分）、②規格剤型の変更、③一包化・重複等による日数増減の順番となっていました。

Q13の不必要な問い合わせを減らすために薬剤師としてどのような対策、対応を取っていますか？では、多数の回答がありましたが、中でも「同じ疑義照会を繰り返している場合は、次回より確認の電話は必要か医師に確認している」「疑義照会后、その旨をFAXで必ず送るようにしている」が多かったです。

今回の事前アンケートにご協力頂いた広域病院の薬剤部、保険調剤薬局の皆様へ感謝を申し上げます。

次に、『疑義照会について』のテーマでディスカッションが行われました。

医薬分業対策委員会の西川裕委員長の議事進行で、県内広域病院薬局長と地区薬剤師会役員の方々が順番に意見を述べていきました。

広域病院の先生方からは今回の研修会でプ

ロトコルについての肯定的な意見が多かったです。実際、中頭病院、南部徳洲会病院では、近隣の薬局、院内でプロトコルを実施していました。

他の意見として、形式的な疑義照会がやはり多いみたいで、病院側のシステム上の問題、採用薬品以外の変更、また医師の裁量にもよるところもあるのでなかなか難しい問題もあるようでした。また、疑義照会の際の保険薬局側の対応で、医師から言葉遣い、簡潔な話し方がされてないという対応の悪さもあるようでした。

地区薬剤師会からもプロトコルには積極的に参加したいという意見が多かったです。形式的な疑義照会がやはり多いこと、保険適用上の問題、Do処方で疑義した内容がなかなか直らないので同じ疑義の繰り返しが多いことを挙げていました。また、疑義照会した際の返事の待ち時間が長いことも上がっていました。

意見を交わした後、京大のプロトコルについての質問、意見交換がありました。

○調剤薬局との合意書に関する質問では、簡素化できる取り決めの合意書なのであったほうが法律的にクリアになる。また、スタンプを押すことで、疑義を簡素化した薬局との区別ができる。

○プロトコルした保険薬局の疑義照会の中で、ちょっとこれはという簡素化してはいけない事例もあるので、そういう場合は個別に薬局に連絡をしている。

○保険薬局との面談の際に、プロトコルをする場合はトレーシングレポートの活用を促すようにしている。

○保険薬局側で加算が取れる事例の疑義もプロトコルになっているが、どうしているかの質問には、加算が取れる、取れないか、全部含めて薬局と合意をしている。法律上、加算していいかは支払い側の判断でわからない。あくまで形式的な疑義照会を減らしていくことを考えて作成している。

尾崎淳子先生から最後に挨拶があり、このような会議が行われている県は少ないので、病薬、保険薬局の連携をより深めて、チーム医療に貢献してほしいという言葉頂きました。

最後に、江夏京子副会長より閉会の挨拶がありました。「疑義照会簡素化が目的ではなく、業務軽減へのひとつの手段であり、節減できた時間を残薬調整、検査値情報による判断、トレーシングレポート等を活用した患者

への治療に役立て、医療の質の向上、安全性の観点においても薬剤師の職能をより発揮できると考えます。地域におけるチーム医療に薬剤師が積極的にかかわることがこれからの薬剤師にますます求められるので、病院、保険薬局の連携が取れる環境を作っていきましょう」と述べられました。

ご出席いただいた皆様、当委員会主催会議にご参加いただきありがとうございます。以上をもってご報告とさせていただきます。



病院診療所向けアンケート回答結果  
外間 惟夫 医薬分業対策委員



保険薬局向けアンケート回答結果  
大城 恭子 医薬分業対策委員



ディスカッション議事進行  
西川 裕 医薬分業対策委員長



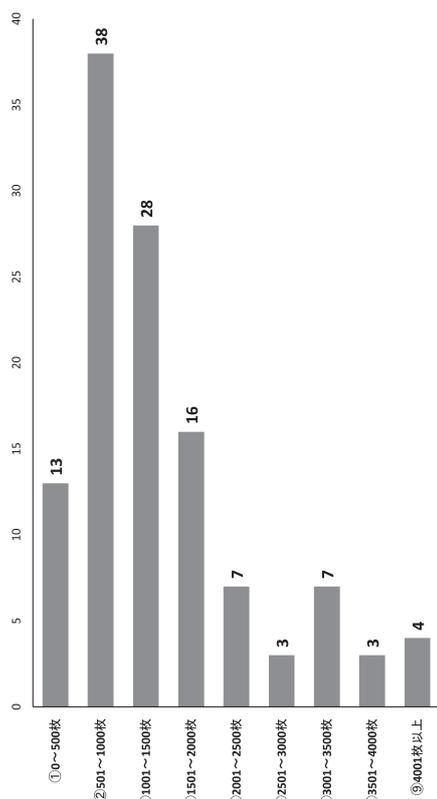
医薬分業推進のためのアンケート  
～不必要な問い合わせを減らすために～

## 保険薬局向けアンケート結果

医薬分業対策委員会  
大城 恭子

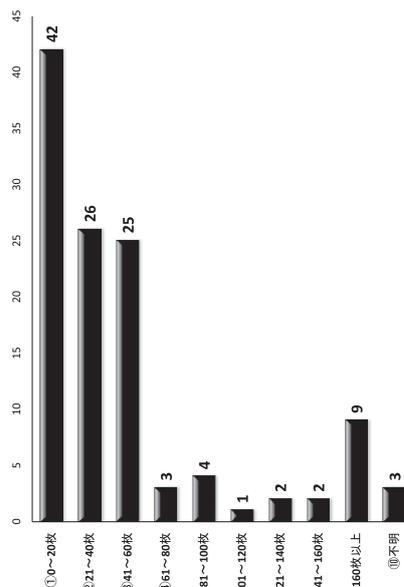
1

## Q.1 貴薬局の処方箋応需枚数 (2017年6月度)を教えてください。



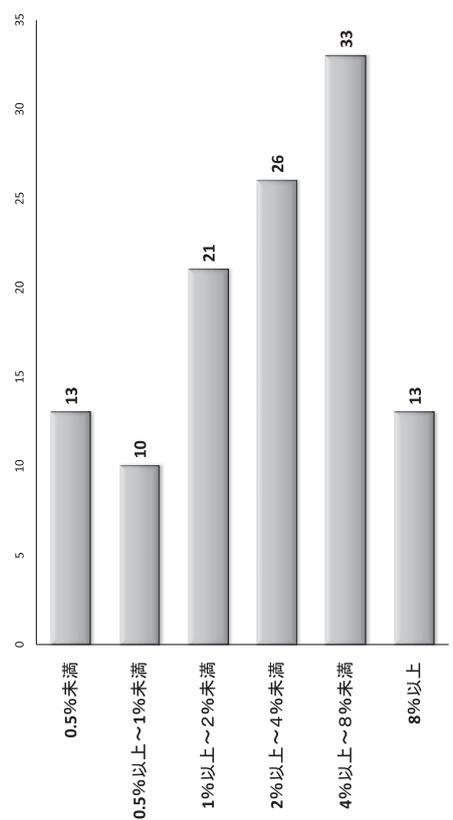
2

## Q.2 2017年6月において 「疑義照会をした処方箋枚数」を 教えてください。



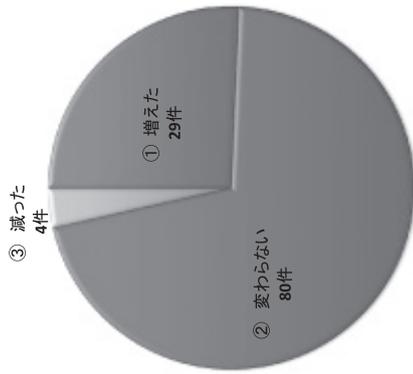
3

## 疑義照会の割合



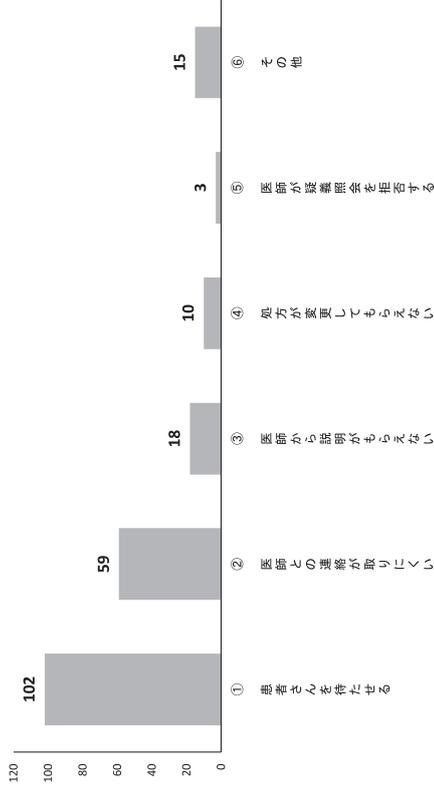
4

### Q.3 2016年診療報酬改定前と比べて 疑義照会の件数はどうですか？



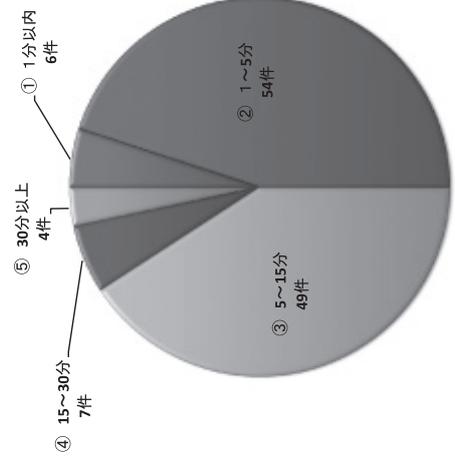
5

### Q.4 疑義照会で困ることは何ですか？ (複数回答可)



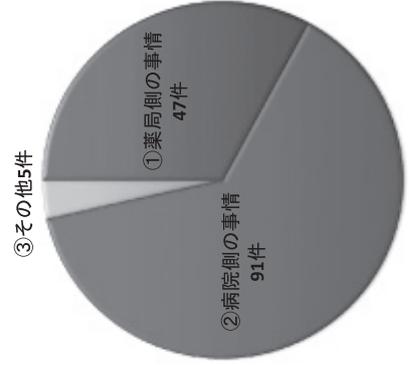
6

### Q.5 1件の疑義照会に要する時間は どれぐらいですか？



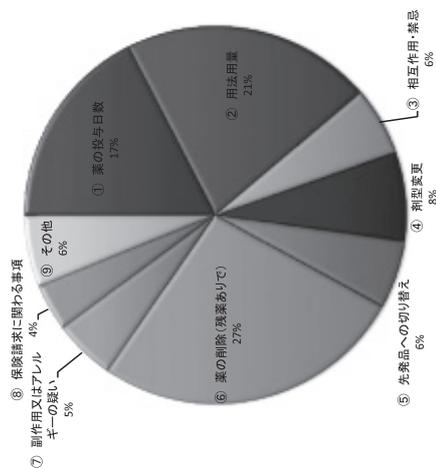
7

### Q.6 疑義照会にかかる時間の理由として どのようなことが考えられますか？ (複数回答可)



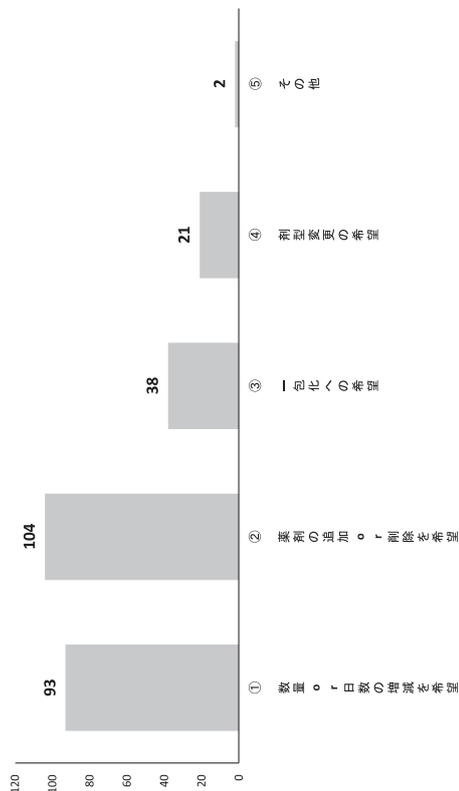
8

Q.7 2017年6月に行った疑義照会の内容で多い事項を3つ選んで下さい。



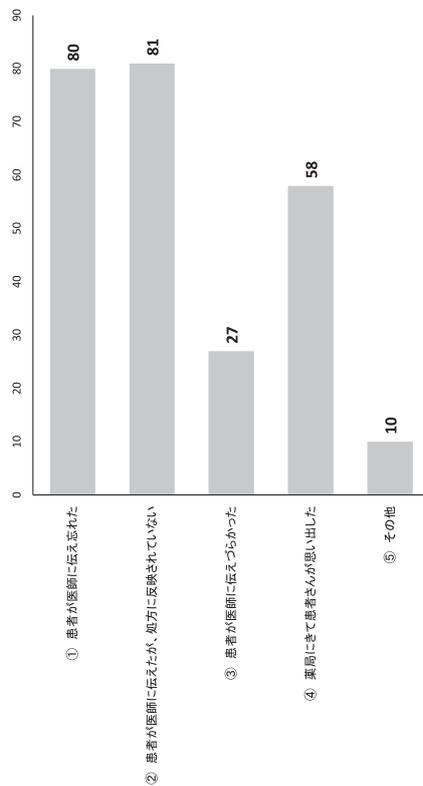
9

Q.8 2017年6月に行った疑義照会で、患者さんからの希望・都合による照会の内容であてはまるものはどれですか？(複数回答可)



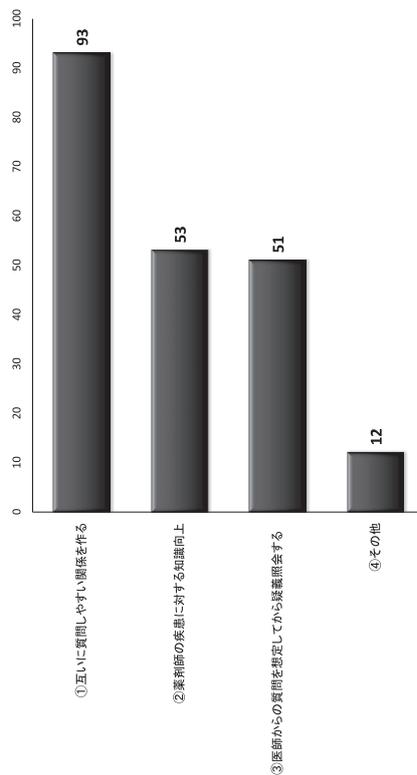
10

Q.9 貴薬局で、患者の都合・希望による疑義照会が生じる理由には、どのようなことが考えられますか？



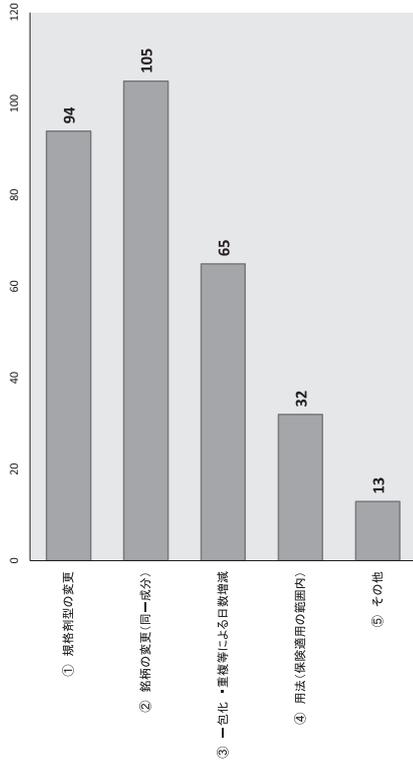
11

Q.10 円滑に疑義照会を行うために何が必要ですか？(複数回答可)



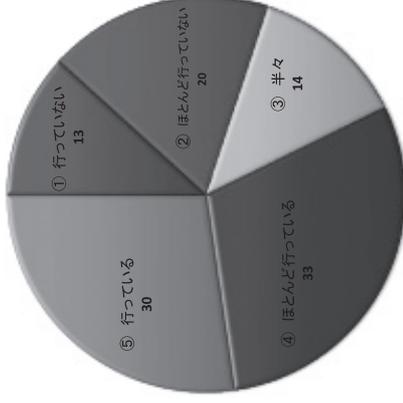
12

**Q.11** もし、医療機関と取り決めができれば、  
疑義照会せずに薬剤師が判断してもよいと  
思われることは？（複数回答可）



13

**Q.12** 疑義照会を行った後、  
医療機関に事後報告を行っていますか？



14

**Q.13** unnecessary 問い合わせを減らすために、  
薬剤師としてどのような  
対策・対応を取っていますか？

- 同じ疑義照会をくり返している場合、次回より確認の電話は必要が医師に確認している。
- 疑義照会后、その旨をFAXで必ず送るようになっている。
- 処方箋を受け取ってからPtへの確認を先にする。
- 1回の疑義を必ず薬歴に記入する。

他多数

15

**Q.14** 貴薬局で困った疑義照会の事例を  
教えてください。

- 処方元が閉院後や当日ではない来局で担当医に連絡がつかない。
- 「医師の指示通り」で用法が記載。
- 疑義照会后、カルテの訂正をして頂けず、次回もdoで同じ処方箋が来る。
- 処方が抜けていて何度も同じ照会をした。
- 処方調整で処方日数や内容を変更してもらった。翌月変更した事項がそのまま処方に反映されてしまい処方内容の確認、変更が生じた。
- OHPでは疑義照会は不可。バイアスピリンを粉碎指示。

他多数

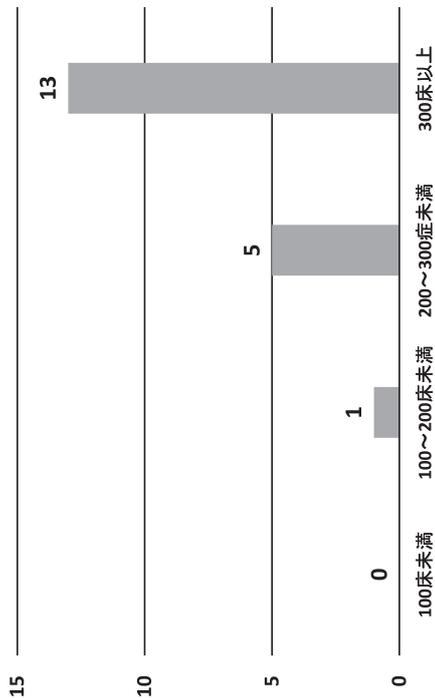
16

## 病院向けアンケート結果

医薬分業対策委員会  
外間 惟夫

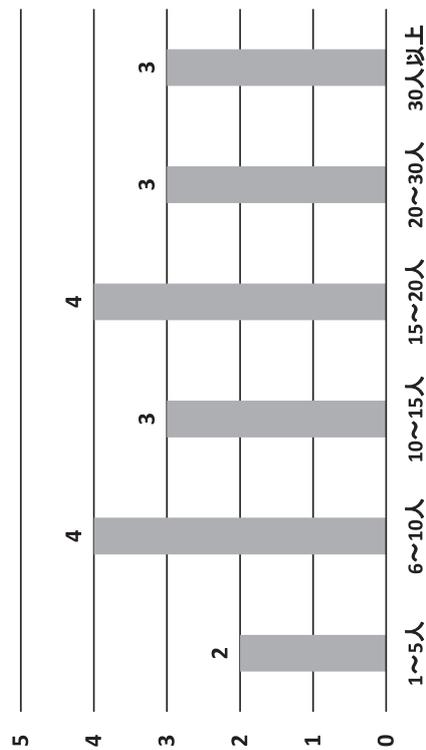
1

### Q1 病院の規模を教えてください。



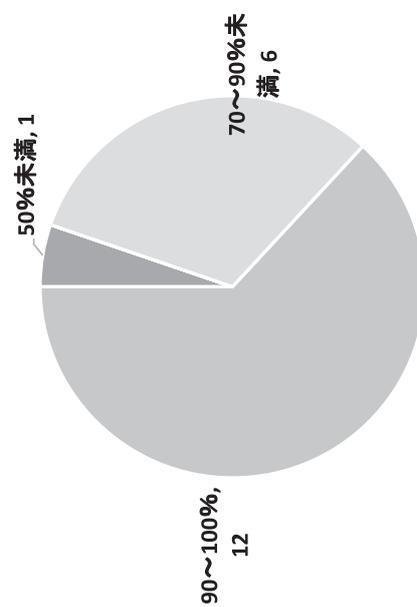
2

### Q2 常勤薬剤師の人数を教えてください。



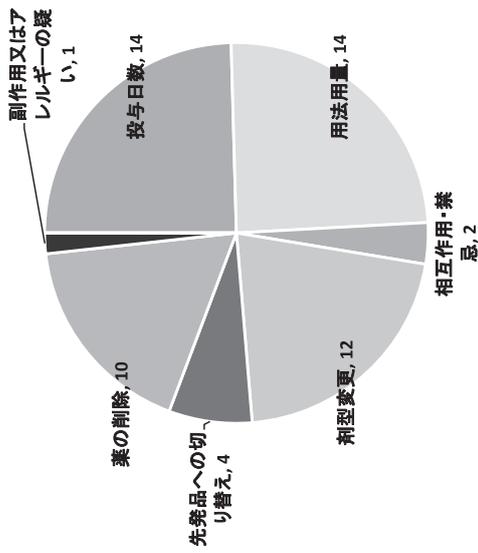
3

### Q3 院外処方箋発行率を教えてください。



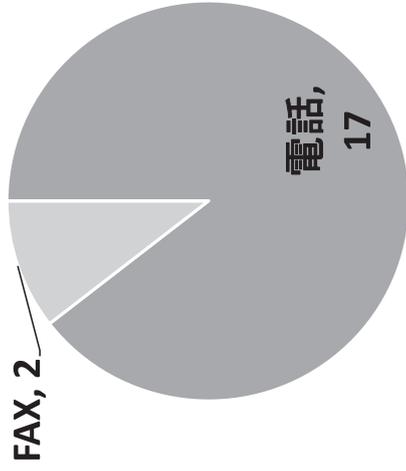
4

Q4 保険薬局からの疑義照会内容で多いと思われるものを3つ選んで下さい。



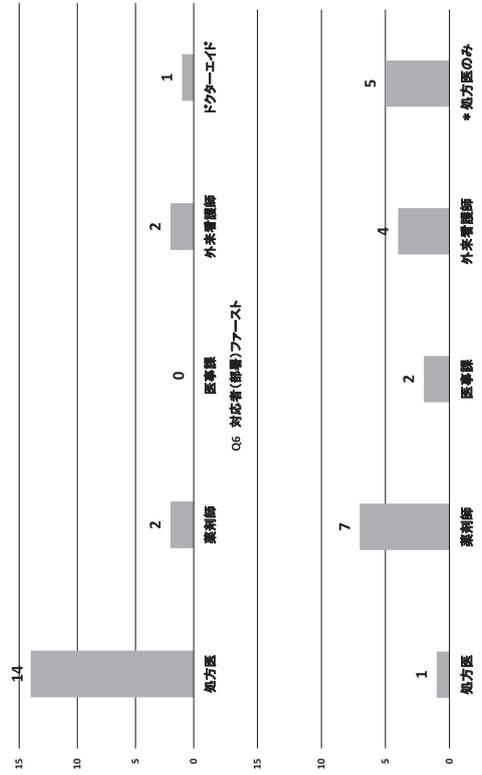
5

Q5 疑義照会を受ける際にはどのように受けていますか？



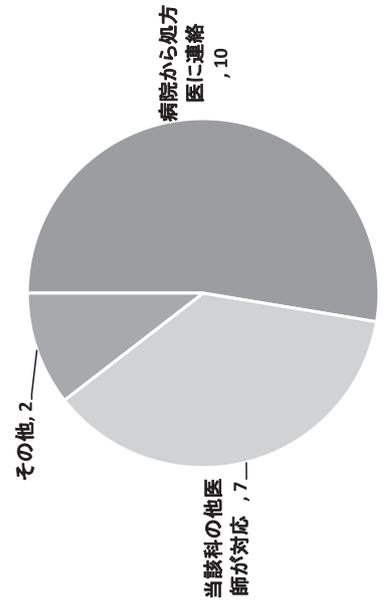
6

Q6 疑義照会に対応する部署はどこですか？



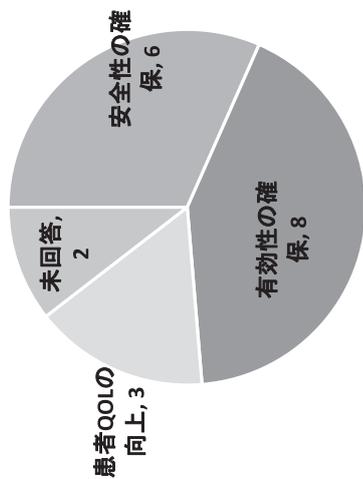
7

Q7 疑義照会を受けた際に、処方医が不在の時はどのような対応をしますか？



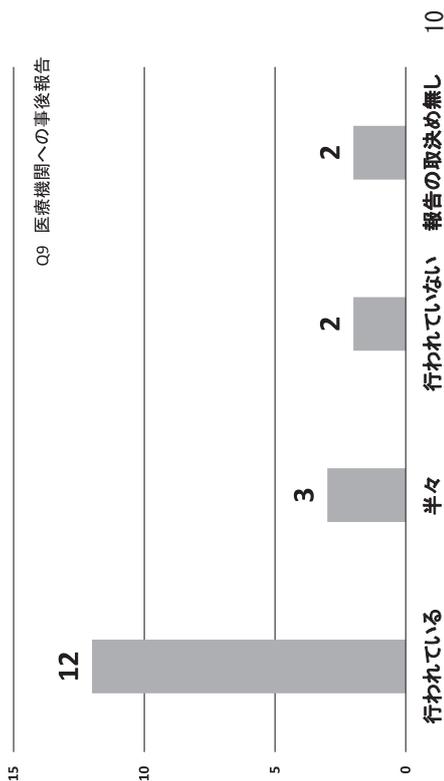
8

Q8 疑義照会による薬剤適正効果への貢献について、特にどのような点で評価していますか？

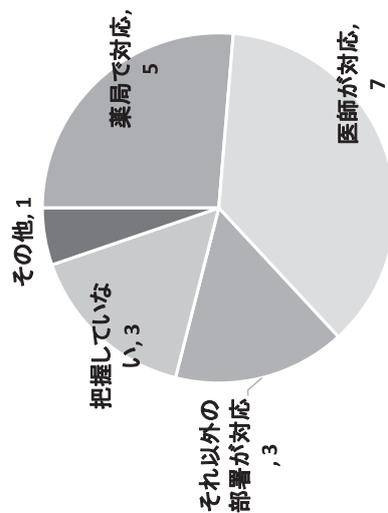


9

Q9 保険薬局から疑義照会があった後に、医療機関に事後報告は行われていますか？

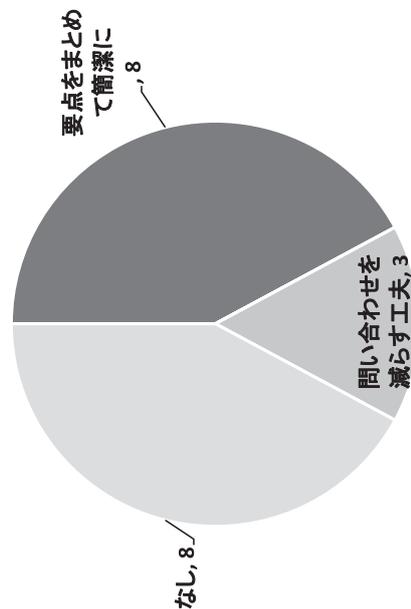


Q10 保険薬局から事後報告があった際の対応について教えてください。



11

Q11 保険薬局への要望



12

## Q12 不必要な問い合わせを減らすための対策

・近隣薬局と定期的に疑義照会事例に関する情報共有や要望のヒアリング、病院の方針の伝達を行っている。医師へインフォメーションしたほうがいい内容等は病院薬剤部が院内メールで医師に伝達することもある。

・トレスレポートの利用

・疑義照会不要項目を院内で取り決め、その内容については医師に疑義照会せず薬剤師で回答している。疑義照会元の薬局には次回以降その内容については疑義照会不要を伝え、変更点は後日FAXで連絡、当院のカルテに反映させている。

・基本的に院内薬剤部はかかわっていないが今後対策を検討する必要は有ると考えている。

・不必要な問い合わせとあるが、患者目線での考えか？残薬問題が取り上げられ、「薬を減らすことで医療費削減に貢献している」ことは把握しているが、患者自身の服薬忘れにどれだけ貢献したかについては不明瞭のように感じる。かかりつけ薬剤師制度や在宅医療に関して、県内の薬局薬剤師の先生方が積極的に介入し、病院側へ情報提供して頂けると幸甚です。

13

## Q13 疑義照会について自由記載

・現在、院外処方せんへの関与は希薄である。今後は医療安全や薬剤の適正使用等の面からもより関与が必要となると考える。

・疑義照会は薬剤師の重要な業務です。疑義照会の事後報告をFAXで病院に送付をお願いします。変更事項は出来るだけ速やかにカルテに入力して次回の処方につなげる事が出来るように努力していますのでジェネリックへの変更・中止や用法の変更・薬学的問い合わせ等の事後報告をよろしくお願いします。

・一般名処方を導入していないため、当院採用とは異なるメーカーの処方変更の事後報告として必要なのか知りたい。

・非常勤Drの帰宅後、連絡がつかない場合の対応が必要。

・残薬調整をしたFAXがあったが、その理由記入がなく問い合わせした。

14

## 平成29年度医薬分業対策会議出席者

○尾崎淳	子	(京都大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任)	○池間記世	世	(医薬分業対策委員会)
○亀谷浩	昌	(沖縄県薬剤師会会長)	○吉田洋史	史	(医薬分業対策委員会)
○江夏京	子	(沖縄県薬剤師会副会長、医薬分業対策委員会)	○中尾滋久	久	(医薬分業対策委員会)
○外間惟	夫	(沖縄県薬剤師会副会長、医薬分業対策委員会)	○平良恭子	子	(医薬分業対策委員会)
○西川直	裕	(沖縄県薬剤師会常務理事、医薬分業対策委員長)	○浅沼健一	一	(北部地区薬剤師会会長)
○川満原	紀	(沖縄県薬剤師会常務理事、那覇地区薬剤師会会長)	○伊佐常隆	隆	(中部地区薬剤師会会長)
○笠原本	吾	(沖縄県薬剤師会常務理事、医薬分業対策委員会)	○仲座方利	利	(中部地区薬剤師会副会長)
○松良地	五	(南部地区薬剤師会医薬分業担当者、医薬分業対策委員会)	○下地濱夫	夫	(宮古地区薬剤師会会長)
○宮地野	博	(八重山地区薬剤師会医薬分業担当者、医薬分業対策委員会)	○長平美子	子	(中頭病院薬剤科長)
○下野村	仁	(宮古地区薬剤師会医薬分業担当者、医薬分業対策委員会)	○川城浩一	一	(沖縄県立中部病院薬局長)
○姫中村	克	(大浜第一病院薬剤科長、医薬分業対策委員会副委員長)	○金荷川取直	直	(那覇市立病院薬剤師長)
○上地美奈子	徳	(琉球大学医学部附属病院薬剤部部長、医薬分業対策委員会)	○橋本孝夫	夫	(赤十字病院薬剤科長)
○田中健盛	子	(沖縄県立八重山病院薬局長)	○磯村美和	和	(豊見城中央病院薬剤科長)
○城間盛光	嗣	(ハートライフ病院薬局長)			(南部徳洲会病院薬剤部部長)

## 医薬分業

### 平成29年度 第1回医薬分業対策委員会主催研修会報告

日時：平成29年9月10日(日) 13:00～14:20

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<次第>

○あいさつ

演題：京大病院における院外処方せん疑義照会簡素化プロトコル

～地域におけるチーム医療の実践に向けて～

講師：京都大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 尾崎 淳子先生

○質疑応答

司会 医薬分業対策委員会 吉田 洋史

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌

去る9月10日に第1回分業対策委員会主催研修会が、県内広域病院薬局長と地区薬剤師会役員をお招きして、京都大学医学部附属病院の尾崎淳子先生による『京大病院における院外処方せん疑義照会簡素化プロトコル～地域におけるチーム医療の実践』についての講演が行われました。

今回の研修会では疑義照会簡素化プロトコルという日頃の業務の中で問題になっているテーマとあって多くの会員の方々がお集まりになり、関心の高さが伺えました。

研修内容については日本における医療費と高齢化率の上昇に伴い、医療現場間の連携、情報の共有化の推進が求められ、2013年9月にチーム医療を推進していくためには病診薬連携の強化が必要で連携の重要なツールとして処方せんの検査値の印字を開始したとのこと（検査値記載で目指すものはより確実な処



医薬分業対策委員会  
松本 圭五

方監査、より安全な薬物治療)。

また、同年10月に外来医療におけるチーム医療を進めるために医師、および保険薬剤師の負担軽減になる病診薬連携の強化を考えプロトコルが近隣11薬局で開始されたとのことです。現在は34薬局（疑義照会簡素化プロトコルの目指すものは形式的な疑義照会を減らすことで、処方箋の検査数値を参考にしてより安心、安全な薬物治療に時間をかける）。

疑義照会の方式は医師（病院）と保険薬局が合意書を交わして直接合意する方式で長所は医師との協働であることが明確であること、短所はプロトコルに合意した保険薬局のみの適用であることです。



京都大学では保険薬局との合意の主な疑義照会の短縮の内容は15項目であり【資料1】現在17項目に増えました。

プロトコルの具体的なやり方は

- ① 保険薬局と面談後、病院長と簡素化プロトコルの合意（書面及びスタンプの提供）
- ② 調剤時に『プロトコル内容』を適用
- ③ 『京大病院長の合意による変更』とのスタンプを押し、変更内容を記載の上、疑義照会済みとして処方せんを京大病院薬剤部にFAX
- ④ 内容に基づき、処方内容修正（またはカルテに記載）病院薬剤師が担当

その結果、医師への直接行う疑義照会が約3割減少しているとのこと。

また、プロトコル実施の現在の問題点は

- ① 残薬に対するプロトコル適応が増加し、処方箋修正が煩雑に（病院薬剤師の負担増）
- ② 処方箋修正時に状況がわかるため、問題点や逸脱があっても事後対応になる
- ③ 残薬に対しても対応するため、その後の提案に繋がらない。
- ④ 適時プロトコル見直しや状況の確認、保険薬局との勉強会を実施し、改善につなげる努力が必要。
- ⑤ トレーシングレポートを推進し、保険薬局薬剤師もチーム医療の一員として、顔の見える関係につなげていく。

京都大学ではトレーシングレポートによる保険薬局、病院薬局、担当医師との連携も取れているようです。

トレーシングレポート活用例として、喘息等の吸入指導をあげていて病院からの保険薬局への情報として、医師が吸入指導が必要な患者に対して吸入指導依頼せんを交付、病院薬剤師が練習用吸入器を使って初回吸入指導を行う。その際、吸入薬説明手順書・評価項目表に記載、保険薬局薬剤師が実薬を用いて吸入指導、吸入薬説明手順書・評価項目表に吸入評価や必要な情報を記載し病院へFAX、



講師 尾崎 淳子先生

病院薬剤師が保険薬局での吸入指導内容およびFAX情報についてカルテに記載し医師に報告（フィードバック）ができています。

【資料2】

喘息、COPD等の軽症患者の緊急入院（急性増悪）患者数が薬剤師の介入によって、治療効果が上がり急性増悪患者数が減少しているそうです。

その吸入指導外来の流れができていて、患者の状態の改善、アドヒアランス向上につながり薬剤師の評価につながっているようです。

医師、病院薬剤師、保険薬局薬剤師の連携が取れチーム医療として機能したことが患者の薬物治療に効果をあげたことが分かりました。

最後に尾崎先生は、疑義照会簡素化は目的ではなく、業務負担軽減へのひとつの手段であるが、チーム医療として情報共有し、責任ある提案を行っていくことが重要であると述べていました。



あいさつ  
亀谷 浩昌 会長



司会  
吉田 洋史 委員

## 医薬分業

### 平成29年度 第2回医薬分業対策委員会主催研修会

日時：平成29年11月19日(日) 13:00～14:30

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

共催：日新製薬株式会社

#### <次第>

○あいさつ

○会社概要説明

○研修 やってみよう！薬局トリアージ：スタートアップの手引き

“患者をみる力”～健康サポート・かかりつけ薬局～

講師：津田沼中央総合病院 内科医長、城西国際大学薬学部 客員教授 佐仲 雅樹 先生

○質疑応答

司会 医薬分業対策委員会 上原 卓朗

沖縄県薬剤師会 副会長 江夏 京子

日新製薬株式会社 営業部 八木 渉

去る11月19日に、第2回分業対策委員会主催研修会が、津田沼中央総合病院内科医長・城西国際大学薬学部客員教授の佐仲雅樹氏を講師に迎えて、「やってみよう！薬局トリアージ：スタートアップの手引き『患者をみる力』～健康サポート・かかりつけ薬局～」という演題で開催されました。薬局でのトリアージのやり方を御口授されました。

最初にびっくりしたのは、病名はいらない！と言われたことでした。重要なのは重症度と緊急度を見極める。病名診断ではなく、重症度と緊急度を判断して受診勧奨をしていくかでした。重症度、緊急度を見極めるためのトリアージシステムとして、まず初めに全身状態、(今の具合を見極め)次にレッドフラッグサイン(危険な疾患を疑わせる病歴はないか？危険が疑われれば、今の具合がそれほど悪くなくてもこれから悪くなるかもと推測できるか)次に患者背景(軽症が重症化しやすい基礎疾患はないか？)を確認することでした。また、バイタルサインの測定やフィジカルアセスメントも不要で必要なのは「対面」と「会話」視診と問診が重要になるとのことでした。



医薬分業対策委員会  
松本 圭五

#### ①視診として

患者との対面と会話で全身状態の見極めをし、ポイントとして見た目を重視することが重要なことでした。見た目はバイタルサインの視点で、意識、呼吸、循環に注意を向けてその3つを具体化していくことでより判断しやすくなることが分かりました。特に大事なのは、意識で、元気がない、活気がないなどの(会話、振る舞い、行動が急に変わる)見た目の変化が、急性の意識障害(せん妄)などを判断でき、受診勧奨に繋がっていくとわかりました。見た目は直感的に判断して、直感を意識、呼吸、循環の視点で具体化していくことが重要とのことでした。

#### ②問診として

問診のチェック項目としては、O(発症様式) P(寛解、増悪因子) Q(症状の性状と程度) R(症状の部位、放散痛の有無と部位) S(随伴症状) T(経過)の6種類ぐらいあるが、その中でもO(発症様式) T(経過)



やってみよう！薬局トリアージ：スタートアップの手引き“患者をみる力”



講師 佐仲 雅樹先生

を確認できれば、ほとんどトリアージができるとのことでした。

- 急性ではO&Tだけでは判断難しい（レッドフラッグサインで判断）
- 突発性では今すぐ受診勧告
- 慢性反復性ではOTCを含めたセルフメディケーション
- 慢性持続では早めの受診勧奨

問診ではO&Tを確認することでトリアージがしやすくなることがわかりました。また、薬局では、普段の業務は忙しい！手際でのよい対応を！を考え、薬局では圧倒的に軽症患者が多いので軽症の患者を見極めるのが大事。でも見極めは難しい。そこで、薬局の守備範囲である3つの急性軽症疾患（かぜ、胃腸炎、ぎっくり腰）が多いとの事でそれを見極め、手際よいトリアージをすることが大事。また、重要な10の急性重症疾患があつてその疾患に関しては、今すぐ受診勧告をする。

【①急性心筋梗塞、②くも膜下出血、③細菌性髄膜炎、④急性咽頭蓋炎、⑤大動脈解離、⑥腹部大

動脈瘤、⑦腹腔内出血、⑧腹膜炎、⑨敗血症、⑩肺塞栓症】

その3つの急性軽症疾患、10の急性重症疾患を勉強していくことで薬局トリアージが判断しやすくなるとのことでした。

この研修会を通して、薬局のトリアージを難しく考えていた部分もあったが、病名診断ではなく、重症度、緊急度、軽症の判断をすることで手際よく患者にとってよりよい判断ができると思いました。

日頃から患者の見た目、行動を観察していつもと違う感じ、直感を働かせ、問診して緊急度をトリアージしていく。それを続けていくことで患者から信頼され地域に根差した、かかりつけ薬局、サポート薬局になれると思うので努力していきたいです。



日新製薬(株)  
八木 渉氏



あいさつ  
江夏 京子 副会長



司会  
上原 卓朗 委員

## 医薬分業

### 平成29年度 第3回医薬分業対策委員会主催研修会報告

日時：平成29年11月23日(木) 13:00～14:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<次第>

○あいさつ

演題 「健康食品の現状と医薬品との相互作用」

講師：日本健康食品・サプリメント情報センター 理事 宇野 文博 先生

○質疑応答

司会 医薬分業対策委員会 委員長 西川 裕

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌

去る11月23日に、日本健康食品・サプリメント情報センター理事の宇野文博先生をお迎えして「健康食品の現状と医薬品との相互作用」と題して特別講演会が開催されましたので先生の御講演要旨について御報告します。

サプリメント大国、米国のダイエタリーサプリメントマーケットの現況は、1994年には80億ドルだった市場規模が2014年には350億ドル(3.5兆円)に、製品数は米国会計検査院(GAO)報告によると4000品目が75000品目になっている。日本では、マーケティングリサーチ会社のインテージの調べによると、2015年の健康食品・サプリメント市場の推定市場規模は、1兆5785億円(一般薬は8090億円)で今後さらに倍増するだろうと推計されている。

米国ギャロップ社の調査によると米国の薬剤師が最も人気があり信頼される理由は、効果的なヘルスケアの情報提供者として健康食品を含めた服薬指導をしていることにあると言われているので、我々も「かかりつけ薬剤師指導料」の算定要件、「健康サポート薬局」の基準要件に組み込まれた「健康食品に関する知識」を深めることが急務となっている。

健康食品の安全性は、一般には、主に食経験で判断されているが、適量であれば健康に供すると思われる物であっても、大量摂取により死亡例まででているのである。



医薬分業対策委員  
池間 記世

「健康食品」のうち、国の表示制度として認められているのが「保健機能食品」であり「特定保健用食品(トクホ)」「栄養機能食品」「機能性表示食品」の3つである。その他様々な名前の付いた食品が氾濫しているが、国が何ら制度化したものではない。「特定保健用食品(トクホ)」は「保健機能食品」の中で審査が最も厳しいと言われているが、消費者庁長官の許可を受けた後は事後チェックを受ける必要はないので表示成分が規定量含有されていない商品群も多々あるという。



あいさつ  
亀谷 浩昌 会長



司会  
西川 裕 委員長



「健康食品の現状と医薬品との相互作用」



講師 宇野 文博先生

「栄養機能食品」は規格基準はあるが、含有量や品質は一部を除いて第三者がチェックする必要はない。「機能性表示食品」は届け出制ですべてのエビデンスは企業の自己責任なので含有量・安全性・機能性など第三者の審査を受ける必要はない。国による評価は行われない。

栄養補助食品教育法 (DSHEA) が制定される前の米国は日本同様、玉石混合状態で健康食品の安全性・機能性・品質性に対する基準が求められていた。1994年、科学的根拠が明らかであれば効能表記ができるDSHEAが成立し、法案の施行後、店頭で直接専門家と相談し購入できるメリットが重視されるようになった。その際重要となる医薬品と健康食品との相互作用とは、主に医薬品の主作用、副作用を増強、又は減弱させる作用で、時に死に至るケースも報告されている。2011年度の消費者庁の調査では日本の成人の約60%が健康食品を使用しているとの報告があり、多種類の医薬品と健康食品との組み合わせは相互

作用のリスクをさらに上昇させる。米国では「ナチュラルメディシン・データベース」で重症度と発生頻度そしてエビデンスレベルにより高・中・低に危険度が分けられる確に迅速に注意喚起している。講演の中で日本版「ナチュラルメディシン・データベース」の紹介があり、医薬品の添付文書に記載されていない健康食品と医薬品の相互作用について「高」「中」「低」に分けて約2600件の記載があり、自信を持って患者に伝えられる正しい情報として、総合的なお薬相談、服薬指導等に大いに役立つと思われる。今まで漠然と持っていた健康食品に対する「負のイメージ」をもっと科学的根拠に基づいて考えなければいけないと思い知らされた講演会でした。

<追記>

日本版「ナチュラルメディシン・データベース」の「健康食品・サプリメント【成分】のすべて2017」は今年いっぱい薬剤師会を通して割引価格で販売されるとのこと。

お知らせ

<県薬が会員に販売している印刷物等>

○ 国保総括票	25 枚	1 冊	100 円	○ お薬手帳カバー	1 枚	22 円
○ 市町村別請求書 (その 1)	50 枚	1 冊	160 円	○ 薬歴カード	各 1 枚	5 円
○ 市町村別請求書 (その 2)	1 枚		10 円			
○ 調剤報酬明細書	50 枚	1 冊	160 円			
○ 管理薬剤師業務日報	1 年分	1 冊	600 円			
○ 処方せん	100 枚	1 冊	160 円			

( 国保 (本人・家族) 青色 )  
( 社保 (本人) 白色 )  
( 社保 (家族) 桃色 )

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色 (薄青色) 14 ページ 価格 税抜き 12 円  
【現行リニューアル版】表紙色 (薄黄色) 34 ページ 価格 税抜き 22 円

## 学術研修

### 第3回臨床薬理学研修会報告

日時：平成29年10月26日(木) 20:00～21:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<会次第>

○あいさつ

研修 「睡眠障害と治療薬」

講師：学術研修委員会・あにも調剤薬局・ヴァインドラッグ末吉薬局 阪本 崇彰

○「JPALSに関する重大なお知らせ」

生涯学習支援システムJPALS クリニカルラダーレベル5、6の

認定制度への移行準備に伴う仕組み変更について

学術研修委員会 中尾 滋久

司会：学術研修委員会 潮平 英郎  
沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌



学術研修委員会  
潮平 英郎

今年度第3回となる臨床薬理学研修会「睡眠障害と治療薬」が開催されました。講師は第1回、2回に引き続き、阪本崇彰先生が務められました。

睡眠障害とは、不眠症を中心として睡眠の量と質、時間が障害されるような幅広い病態を指すとされています。

初めに、不眠症とされた症例が実際にはムズムズ足症候群であった例を示して講義が始まりました。



左より、中尾滋久氏、阪本崇彰氏、潮平英郎氏

次に、薬剤性の睡眠障害について抗ヒスタミン薬等を挙げて説明されました。不眠症の診断基準としてDSM-Vにおける診断基準のA～Hまでが説明され、睡眠薬の適正な使用法と休薬のための診療ガイドラインの治療アルゴリズムが説明されました。同時に、薬物治療導入前に睡眠衛生の改善、つまり、生活習慣や生活環境、食生活の改善によっても睡眠衛生が向上することでした。薬物治療で用いられる睡眠薬はベンゾジアゼピン系、非ベンゾジアゼピン系、バルビツール酸系、非バルビツール酸系、その他があり、最近よく用いられる薬剤は前半の2分類であり、Cl<sup>-</sup>チャネル開口を誘導するGABA<sub>A</sub>受容体、ベンゾジアゼピン受容体を含めた薬理作用の解説がされました。また、GABA<sub>A</sub>受容体のサブユニット別の薬理作用と薬剤ごとの受容体親和性が異なること、依存性形成への関与についても触れられました。

次に、REM睡眠、non-REM睡眠の睡眠状態の説明がなされましたが、これらの状態への抑

制作用は薬剤毎に異なるとのことでした。また、睡眠薬により転倒・転落のリスクが大きく異なり、この原因として効果発現までの時間が短いことが考えられていることが紹介されました。

続いて、薬剤の効果発現時間により入眠障害、中途覚醒、熟眠障害、早朝覚醒の不眠症のタイプによる薬剤への使い分けが示されました。その他の薬剤としてラメルテオンの効果（深部体温降下）・薬理作用（メラトニン受容体作動薬）と睡眠リズム改善効果との関与、スボレキサントのオレキシン神経への作用について説明されました。意外な点でしたが、抗うつ薬であるミルタザピンも5-HT<sub>2</sub>受容体刺激作用により睡眠障害改善作用が得られることが知られているとのことでした。眠気が出やすい抗うつ薬とされている様ですが、睡眠薬を追加することなく単剤で睡眠障害を改善させ得る抗うつ薬としての有効性が

あるとのことでした。抗うつ薬の睡眠薬に関連して各薬剤の睡眠に及ぼす影響が一覧で解説されました。副作用に関する事柄についても触れられ、特にベンゾジアゼピン系薬の依存性とその特徴、離脱症状、そして減量・中止法について解説がされました。ベンゾジアゼピン系薬の用量に関しては、ジアゼパム換算という方法があり、換算値15mgを超えると過量と考えられると説明されました。ベンゾジアゼピン依存の離脱はかなり難しく、実際は精神科医師との取り組みになるとのことでした。

講演を通して、睡眠障害の病態の広さとその治療選択肢の多さを痛感しました。また、治療にあたっては依存等の重大な副作用の管理も必要となり、使用頻度が多く、多くの診療科から処方される可能性がある薬剤であるだけに、薬剤師による統合的な管理が重要であると感じました。次回もぜひ、ご参加下さい。

## 会報原稿募集のご案内

### 広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいませようお願い致します。

#### 【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

#### 【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

#### 【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

#### 【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

#### ☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10  
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

## 実務実習

### 平成29年度 第Ⅱ期薬学生実務実習報告



薬学生実務実習委員会委員長  
佐藤 雅美

平成29年度は1期、2期合わせて34名の実習生を受け入れ致しました。平成22年度から開始し8年目になります。

今回、2期17名の保険薬局での11週間の実習が終了しましたので報告致します。

実習生17名（7大学：九州保健福祉大学・長崎国際大学・姫路獨協大学・福岡大学・武蔵野大学・広島国際大学・徳島文理大学）を実習薬局16薬局（平成29年9月4日～11月17日）指導薬剤師16名で受けました。指導薬局の指導薬剤師をはじめ、同施設・協力施設のみならず、本当にありがとうございました。

実習期間中、毎年この時期に開催される「沖縄県薬剤師会学術大会」に参加し諸先輩方（病院薬剤師・保険薬局薬剤師、地域で活躍する薬剤師）の日頃の業務の成果や活躍を確認する事が出来たと思います。また、各地区での

「健康とおくすり相談会」にも積極的に参加してくれました。2年後、「地域の健康を守る薬剤師」として輝くことを希望します。

実習生の移動は、基本的には公共の交通機関です。薬学生実務実習受入委員会では、できる限り学生の自宅近くに実習環境をおきたくマッチングしておりますが、まだまだ指導薬剤師が少ない地域があり、多くの薬剤師に期待するところです。これまで諸事情により学生の受入が難しい状況にあった指導薬剤師の方も、今後は未来の薬剤師を養成する為に是非！力を貸してほしいと思います。

以下に、実習生の感想文と実習薬局、実習協力機関を掲載いたします。紙面をもって御礼に変えさせていただきます。ありがとうございました。

#### 実習薬局（16薬局）

（以下、順不同・敬称略）

- そうごう薬局 新赤十字前店
- すこやか薬局 新川店
- すこやか薬局 知花店
- メイト平良川薬局
- すこやか薬局 沖赤店
- みらい薬局

- うちどまり薬局
- アシスト薬局
- 豊見城薬局
- ミドリ薬局 美里店
- こくら虹薬局

- 会営薬局うえはら（2名）
- すこやか薬局 野嵩店
- 吉田薬局はんたがわ店
- うさぎ薬局
- とくりん薬

#### 協力施設・委員会・団体

- ぼたん薬局
- すこやか薬局具志川店
- (株)スズケン沖縄
- 各地区薬剤師会

- がじまる薬局
- まつお虹薬局
- (株)アトル 沖縄営業部
- 学校薬剤師の先生方

- 会営薬局医療センター前
- ヴァインドラッグあがり浜店
- (株)琉薬
- 学校薬剤師部会

## 実務実習薬学生 平成29年度 第Ⅱ期生からの体験記・感想

武蔵野大学5年 松尾 恵里

(メイト平良川薬局 実習 指導薬剤師 福地 健治)

私はまだ薬局での実務実習しか行っていませんが、実際に現場を経験したことで、薬剤師として必要なことはどのようなことなのかという考えが、今までとは少し変わってきました。

今までは、患者さんに正しい薬学的知識、その他健康に関するような $+\alpha$ の知識を伝えられるようにして患者さんの生活に寄り添っていくことが大切だと思っていました。それももちろん必要なことです。

しかし、その前段階として重要なのは、やはり、コミュニケーション能力であり、コミュニケーション能力こそ薬剤師に最も必要とされている力だと実感しました。どんなに勉強して知識を蓄えたとしても、それを会話の中で相手にきちんと伝えることが出来なければ全く意味がありません。患者さんとうまくコミュニケーションをとって、相手が求めているものはなんなのかということをつかめないと、信頼を得ることはできません。

服薬指導の際、患者さんが帰った後に、「この薬剤にはこんな注意点があったな。伝えておきたかったな。」「授業で習って分かっていたのに伝えられなかったな。」「これを確認するのを忘れていた！」ということがしばしばありました。

次に何を言おうかと考える事だけでいっぱいになり、緊張もあるため、会話をスムーズに進めることすら難しいと感じる時もありました。

そのため、これからは、多くの人と関わる機会を大切にしていきたいと思っています。勉強はひとりでもできますし、後からでも知識を増やしていくことは可能です。しかし、コミュニケーション能力というのは人と関わっていかないと身に着けることはできないし、すぐにできるようになるものでもありません。自ら交流や発表の場に進んで参加し、話をするのが上手になりたいと思っています。そして、患者さんに頼られ、「話してよかった。」と思ってもらえる薬剤師を目指します。

これから病院実務実習がありますが、薬局実務実習で感じたことを活かし、患者さんの“心に寄り添う”にはどうしたらいいのかということに重点を置いて取り組んでいきたいと考えています。

また、病院実習では、薬局実習ではあまり触れることのなかった臨床的部分も多く学んで行けると思うので、それらをしっかり吸収して自分の力に変えられるように頑張りたいと思います。



学校薬剤師について学ぶ

九州保健福祉大学5年 具志堅 あかね  
(アシスト薬局 実習 指導薬剤師 糸数 理江)

今回実習をさせていただいた薬局は、目の前に様々な診療科がある病院があり、二カ月半の実習を通して多くの医薬品に触れることができた。日々、多くの処方箋が来る中、患者さんをお待たせすることの無いよう、いかに迅速かつ正確に調剤することの重要性を学んだ。

特に、服薬指導においては多くのことを学ぶことができた。以前までは、服薬指導とはお薬の説明を行うことが中心であると考えていたが、実習を通して患者さんが求めていることは、お薬のことはもちろん、日々の悩み、体調のことや病院では相談できないことを薬局で聞いてほしいという方が多いことに気付くことができた。そのため、薬局とは地域の方々の健康相談の場としても存在していることを学んだ。

また、実習を通して薬剤師になるためには、薬学的知識はもちろんのこと、コミュニケーション能力と臨機応変な対応ができる能力が必要だと感じた。

コミュニケーション能力は患者さんに対してだけではなく、情報を共有するためには他の医療従事者との間でも必要であり、業務を円滑に行っていくためには薬剤師同士の間でも大切になってくると思った。また、周りの

状況を把握し臨機応変に対応していくことで業務をスムーズに行うことができその結果、患者さんにも迷惑をかけずにすむこともあると考えた。そして、自分にある程度の自信をもつことで余裕ができ、患者さんや他の医療従事者との間に信頼関係を結びやすくなると思った。

地域医療について学び、薬剤師は薬局での調剤業務以外にも、在宅医療、学校での薬物乱用・喫煙教育、消毒薬も含めたOTC薬の販売など、その職能を発揮し、他の医療職とは違った面から国民の健康な生活を確保することができると考えたとともに、そこで必要となる知識や技能も薬剤師には必要だと自覚した。

そして、在宅医療では他職種との良好な関係を築くことや情報の共有、薬学的知識の提供や活用などが重要だと感じ、薬局薬剤師もチームで互いに協力していくという姿勢が必要だと実感した。薬局実習では病院とは違う一面の薬剤師も知ることができた。

最後に、今後の抱負として国家試験に合格し、卒業後は地元、沖縄に戻り、地域に社会貢献したいと思う。沖縄により良い医療を提供し、信頼される薬剤師になれるよう常に勉学に励み自己研鑽していきたい。



健康とおくすり相談会にもスタッフとして参加

徳島文理大学5年 宮城 あい子

(会営薬局うえはら 実習)  
(指導薬剤師 仲真 良重)

まず、薬局実習を始める前に最初に見ようと考えていたのが、病院と薬局の薬剤師業務の違いでした。また、元々在宅訪問に関して興味があったので、薬局の薬剤師がどのように関わっているのか、地域とどのような連携をしているのか学んでいこうと思いました。

外部実習では他薬局での薬局製剤をはじめ、OTCや医薬部外品を通してセルフメディケーションの現場に触れる事が出来ました。在宅訪問では患者一人一人に合わせた薬の管理の方法を議論、工夫する事で、介護者の負担を減らしそれによって患者自身のQOLの維持の為に様々な手助けができる事を学びました。他にも夜間救急の現場の見学やお薬相談会、学校薬剤師の業務に関わる事で、地域住民と薬剤師との関りの現場を体験することが出来ました。学術大会では、特に医師から見た沖縄県内の医療の現状と、沖縄の2040年高齢化社会の医療の構造の課題、それらに対して今後どのように薬剤師が地域医療に関わっていけるか、大学では学べない視点で薬剤師を考える事が出来大変勉強になりました。

薬局での実習の中で一番に感じたのが、事務や他の職種の方々と薬剤師の連携でした。病院と患者の自宅とを繋ぐ橋渡しとしての薬局の立ち位置を現場で体験することが出来たのは大きな収穫だったと感じました。さらに、薬剤師の先生方の投薬の様子を見て、患者の情報をどのようにして引き出すのか、薬の説明だけでなく、今後の先の生活をイメージした服薬指導というのが大切になってくるのだと感じました。

まとめとして、病院とは違う患者の生活感を直に感じられる現場を、そして一医療人としての薬剤師としての立場、さらに薬剤師だけでなく製薬会社や事務員、様々な職種に関わる事で調剤が成り立っている事を学びました。今回学んだ経験や知識を活用して、今後の勉学に励んでいきたいと思っています。

徳島文理大学5年 林 大悟

(そうごう薬局 新赤十字前店 実習)  
(指導薬剤師 西川 裕)

今回、私はそうごう薬局新赤十字前店で実務実習をさせていただきました。実習内容としては、錠剤の取り揃え、散剤・軟膏剤の調製、薬の一包化などの調剤業務、患者様への投薬業務などが挙げられます。他にも、学校薬剤業務を実際に体験したり、他の薬局の薬剤師の方とディスカッションをしたりロールプレイを行ったりする研修への参加もさせていただきました。このような様々な経験をしたおかげで、薬剤師ができる多様な業務の一端を知ることができたのではないかと考えています。また、沖縄県内にある5つのそうごう薬局の店舗も、回らせていただきました。それぞれ、門前の病院が違うため、新赤十字前店ではあまり処方されない薬も見ることができて新鮮な体験ができました。漢方実習やOTCの外部実習でも、今まで知らなかったことや深く考えてこなかったことなど様々なことを体験し、知ることができました。

薬局実習では「できるだけたくさんミスをし、自分がどのようなミスをするのか分析する」という目標を立てて臨みました。ミスを極力しないように作業しているつもりでも、集中力の不足や確認不足などによるミスはたくさんありました。このようなミスは、今後にも響いてくるようなことだと思うので、今回の実習で得た自己分析をもとに、自分を高めていけるようにしたいと考えています。薬局実習では、自分が実習開始以前にやりたいと感じていたことは一通りさせていただいたと思っています。きついと思うときもありましたが、最後まで楽しく実習を行うことができていました。将来は病院に勤めようと考えていたのですが、薬局実習を終えて薬局もいいなと思うようになりました。これから、卒業試験や国家試験などのさまざまな壁が自分を待ち受けていますが実習で学んだもの、得たものを忘れず、楽しんで挑戦していきたいです。

長崎国際大学5年 深水 ともこ

(会営薬局うえはら 実習)  
(指導薬剤師 仲真 良重)

私は、会営薬局うえはらで11週実習させて頂きました。会営薬局うえはらは、琉球大学医学部附属病院の門前薬局でいろんな処方せんがくるのでとても勉強になりました。特に、錠剤の粉碎や散剤、半錠など技術的なことをたくさん勉強出来ました。実習の中で特に難しかったことは服薬指導でした。患者さんの中には、耳が遠い人や指導はいらぬと言う人、よく話してくれる人など本当にたくさんいるのでそれぞれの人に合わせた指導をすることがとても難しかったです。

また、ここでは調剤だけでなく事務の仕事や点数の計算、薬情の作成など薬局全体のことを教えて頂いたことで、薬局の流れを把握することが出来ました。薬局の実習では、外部実習がたくさんあり医薬品卸会社にも見学でき、患者さんに医薬品が届くまでに品質を保つために冷所保存では保冷バックに入れる等色んな工夫がされていました。ドラッグストアにも見学した際には、風邪薬を選ぶ際にも患者さんの症状に合わせた一般用医薬品をおすすめしないといけないのでOTCについても幅広い知識が必要だと思いました。在宅訪問でも漢方のことや飲めない錠剤の代替薬のことなど即座に提案しないといけないので薬に関しても知識を深め、コミュニケーション能力も高くないとできないことだなと感じました。どの業務でも薬剤師という仕事は患者のことを一番に考え、どう寄り添っていけるかが大切だなと思いました。

今回、会営薬局うえはらで実習することで学校では習えないことをたくさん学ぶことができ本当に感謝しています。指導薬剤師の仲真先生をはじめ他の薬剤師、医療事務の皆様、本当にありがとうございました。実習でのことを活かして頑張りたいと思います。

姫路獨協大学5年 宇地原 結

(すこやか薬局 沖赤店 実習)  
(指導薬剤師 玉村 澄恵)

薬局実習を終えて、いろんな経験をさせて頂きとても充実した11週間だったと思います。

実習が始まる前は、病院実習の時とは違い実習生が一人ということもあり不安でいっぱいでした。しかし、初日から薬局の皆さんが温かく迎え入れてくださり毎日楽しく学ぶことが出来ました。毎日たくさんのことを学びたいと思っているうちにあっという間に11週間が過ぎていました。

初めの内は、ピッキングを主にやり徐々に軟膏や散剤、一包化などもさせてもらえました。慣れてくるとスピーディーにこなせるようになっていきましたが、早くやればよいというものではなく薬剤師として併用薬や投与量、投与時間など多くのことをチェックしなければならず、改めてこの職業の大変さや責任を感じました。

実習後半になると服薬指導の見学、実際に何名かの患者さんの服薬指導もさせてもらいました。初めは薬の説明をするだけで全然話もできませんでしたが、薬剤師の先生方の服薬指導を近くで見せてもらい、だんだんと処方薬や薬歴を見てどういう風に服薬指導をしていけばいいかが分かっていきました。実際に現場に出てみて改めて患者さんそれぞれに合わせた服薬指導をすることが大切だと感じました。

薬局実習では、外部実習が何回もあり、漢方薬局や、卸、在宅などさまざまな経験が出来ました。いろんな場所で活躍されている薬剤師さんや他の医療従事者の方々から話を聞くことが出来とても勉強になりました。

実習を受け入れてくださった先生方に感謝し、この経験を生かして患者さんに信頼される薬剤師になりたいと思います。

福岡大学5年 宮平 恵里

(すこやか薬局 新川店 実習)  
(指導薬剤師 比嘉 朋子)

私はすこやか薬局新川店で実習を行いました。2ヶ月半という短い期間でしたが、貴重な経験をたくさんさせて頂きました。最初の3、4週間は調剤を中心にを行い、5週目以降から投薬を行いました。薬局では処方箋の情報のみで、カルテから情報を得られる病院と比べると、患者背景はほとんど分かりません。投薬時に会話で得られる情報が重要になるため、必要な患者情報を引き出せるよう努力しなければならぬと思いました。投薬して間もない頃は、緊張と戸惑いで会話が途切れてしまうことが多かったので、薬剤師の先生方の投薬時の会話を聞きながら勉強しました。気付いたことは情報収集に重きを置くのではなく、患者さんの気持ちに共感しながら話を進めていくことで、患者さん自身から話をしやすくなる環境を作ることが大事ということです。環境作りとしては、声のトーンや表情を明るくするよう心掛け、投薬を実践してみたところ、会話は以前よりもスムーズで患者さんの必要情報も、最初の頃と比べるとある程度引き出せるようになったと思います。

実習後半は外部での実習も多く、学校薬剤師との照度検査、ドラッグストアでの実習、健康サポートイベント、在宅医療、漢方製剤や薬局製剤の調製などを経験しました。在宅医療は患者さんの自宅にあがるということで、信頼関係がとても大事になるため、安心感を与え、より近い距離で寄り添う必要があると実感しました。お薬をただ届けるのではなく、患者さんの体調や生活環境の変化にも気を配り感じ取ることで、初めて在宅医療に薬剤師が関わる意味を成すと思います。健康サポートイベントは地域の人々の健康意識向上や予防医療を可能にする、セルフメディケーションを浸透させるために非常に有効なイベントだと思いました。

今回の実習で学んだことを、国家試験や就職後に活かし、自分のスキルアップに繋げていきたいと思っています。

徳島文理大学5年 亀田 理湖

(こくら虹薬局 実習)  
(指導薬剤師 宮城 幸枝)

私はこくら虹薬局さんで11週間、実習生として受け入れて頂きました。

こくら虹薬局さんは、多くの患者さんが来局する薬局であったため、その分、多岐にわたる処方に触れることができました。実際に調剤することで、一つ一つの薬の特徴や薬の組み合わせなどを理解することができました。また、投薬では初めは患者さんからの視線や緊張とで聞きたいことを聞けずに終わってしまいました。上手くやっていたら不安になることもありましたが薬剤師さんのサポートのおかげもあり緊張がほぐれ、初めと比べるとスムーズに服薬指導を行うことができました。一期で行なった病院実習ではカルテなどから入院経過や病態、検査値などの情報を収集することが可能でしたが、薬局では患者さんの治療背景が明確ではないため、患者さんから多くの情報を聞き出すコミュニケーション力を求められる場所であることを実感しました。

本実習では、在宅、学校薬剤師、医薬品流通、漢方調剤、OTC販売、お薬相談会、災害医療の講演会など外部実習も多数あり、薬剤師の役割を知る良い機会になりました。特に災害医療の講演会はとても興味深く、モバイルファーマシーの機能についてや医薬品の適正使用、保管、管理について実体験を元にした話を聞くことができました。この講習会を通し、災害医療における薬剤師の役割が重要であることを再認識し、医療に貢献できる職であることを実感しました。

薬局実習を通して病院とは異なる薬局ならではの業務を体験することができ、とても勉強になりました。実習で学んだ経験や知識を活かし、大学に戻ってから勉強に精進したいと思います。忙しい中、丁寧に指導して下さいました。こくら虹薬局の薬剤師さん、実習に関わった皆様ありがとうございました。

徳島文理大学5年 澤岷 安暁

(うちどまり薬局 実習 指導薬剤師 沖山 尚美)

薬局実習は病院実習時とは異なり、1人での実習でしたのでうまくやっていたのかと不安になっていましたが、薬局の方々にはとても優しく接していただき、楽しく実習を行うことが出来ました。また、在宅医療・学校薬剤師・夜間救急の実習をはじめ、実習先以外の薬局でも様々な実習をさせていただき、OTC薬・漢方製剤・薬局製剤・薬剤師の職務・セルフメディケーションなど多くのことを学ばせていただきました。多くの薬局へ実習に行くことで、それぞれの薬局の特色や、最新の調剤機械の使い方を学ぶことが出来たのは非常に良い経験となりました。今後の薬剤師の調剤はデジタル化が進むことが考えられており、機械を適切に使用できることも重要になってくると思うので、調剤機械の使用を含め、今回の2ヶ月半の薬局実習では貴重な体験が出来たと実感しています。

そしてこの2ヶ月半の実習で最も学ぶことが出来たのは服薬指導の内容についてでした。薬局では、病院とは違い、電子カルテな

どなく、コミュニケーションで情報を聞き出す必要があり、患者から多くの情報を引き出さなければならないこと、その情報から患者の背景を知ること、現在の症状だけではなく患者のその先にある他の症状を未然に防ぐことが出来ることを学びました。実習を始めるまで、服薬指導は薬剤の説明に重点を置いたものだと考えていた自分にとって、今の症状を改善するだけではなく、患者の将来の健康をサポートするという事は、今後薬剤師として社会に出た際に、とても重要になってくると感じました。このように、服薬指導にはとても重要な役割が存在していることを知り、同時に情報を引き出すコミュニケーション能力が必要であると改めて学びました。

その他にも2ヶ月半の実習の間、多くの事を教えてくださった、薬剤師の先生方をはじめ様々な方のおかげで、とても多くのことを学ぶことが出来たと思います。今後この実習の経験を活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

広島国際大学5年 太田 吉彦

(すこやか薬局 野嵩店 実習 指導薬剤師 仲間 聖)

自分になりたい薬剤師像というものがあるふやな状態で9月から薬局実習が始まりました。私の実習先には薬剤師が2人おり、熱血漢溢れる薬剤師と、穏やかで優しそうな印象の薬剤師で全くタイプの異なるお二人でした。私は薬のこと以外にも患者さんとの接し方、話し掛け方、相談の乗り方も分かっておらず、患者さんの前に出れるような状態ではありませんでした。最初の頃は、一包化のやり方を教わりながら薬を調べ、時間がある時は薬剤師の後ろで患者さんへの投薬の行い方を見て学んでいました。患者さんによって薬剤師も投薬のやり方を変えるので、同じ薬が出ていても接し方が違う事で、患者さんへの投薬は真似しながら出来そうだと思っていた薬が全く別の薬に感じる事もありました。実習が終盤になるにつれて、棚のどこに薬があるのか

分かってくるようになり、一包化も1人で出来るようになってきました。患者さんと接する機会も増え、緊張で患者さんの聞き取りを早く切り上げてしまう事も無くなってきました。患者さんとの接し方や薬の説明の仕方は薬剤師の2人のどちらかの真似をしようとしていましたが、完全に真似する事はできなく、自分ができる範囲内でその都度その都度思い出しながら行う事ができるようにはなりました。患者さんのことを考えながら、話しを聞き薬の説明をするようにすることは実際にやろうと思ってもとても難しい事だと感じました。患者さんと良い関係を築く為には患者さんの不安を解消する事が1番だと感じ、そのためにはその不幸を解消するための知識が必要だと感じました。患者さんの不安が解消できるような薬剤師を目指して頑張りたいと思います。

## 徳島文理大学5年 池宮 由希子

(とくりん薬局 実習 指導薬剤師 兼城 崇)

実務実習を通して、本当に様々な経験ができました。まず、教科書で学んでいた薬を実際に目にして触れることができ、今後の国家試験勉強においても「あの薬はこんな色だった、形状はこうだった」などのように薬についてのイメージができ、より勉強しやすくなると感じました。

また、実際の処方箋を通して疾病に対しての現場における薬の組み合わせなど使い方を学ぶことができました。さらに調剤業務における技能（一包化や散剤、水剤の賦形、粉碎時の計算など）についても何度も行うことでより理解を深め、処方箋を見て一連の流れが浮かぶようになったときは成長できたように感じ、素直に嬉しかったです。

現場の薬剤師さんは教科書に載っているような知識はもちろんのこと、処方箋の内容から医師が考えていること、会話の中から患者さんが感じていることまでも読み取りながら調剤や服薬指導などの業務をスムーズにこなしている姿を見て、これが「薬剤師」の仕事なのだとして5年生になって知ることができまし

た。そして「薬剤師」という職業に対してさらに憧れをもち、もっと様々なことを深く学んでいく必要があると感じました。

さらに、薬局で働く薬剤師さんは患者さんや医師、卸さん、メーカーさん、薬剤師さん同士などコミュニケーションをとる機会が想像していた以上に多く、知識がいくらあってもコミュニケーション能力が無ければ、薬剤師の仕事は難しいというような実習前に思っていた薬剤師さんの姿と現場で働く薬剤師さんの実際の姿との間にギャップを感じることもありました。

実際に、飲食店などのアルバイトでの接客とは異なる医療現場ならではの言葉使いが多々あり、アルバイトの経験があっても緊張してあたふたした場面も多くあり、コミュニケーション能力をつけることがどれだけ大切であるのかを痛感しました。

教科書的な知識や人と関わっている際に必要なコミュニケーション能力を兼ね備え、患者さんから身近に感じてもらい、信頼してもらえるような薬剤師になりたいと思いました。

## 長崎国際大学5年 新垣 ちはる

(すこやか薬局 知花店 実習 指導薬剤師 比嘉 浩一)

11週間の薬局実務実習で沢山のことを学びました。私の実習先のすこやか薬局知花店は、様々な処方箋を見ることができ、扱っている薬も多かったため色々な薬を調剤することができました。また、保険薬局はこれから患者さんが病気になってから来る場所ではなく、病気になる前に病気を防ぐ場所になるべきだと考えていて、薬局内で血糖値やPT-INRを測ることができこれからの薬局のあるべき姿を考えさせられました。服薬指導の際も、薬歴から事前に患者さんの状態を把握して聞き取ることを整理し、服薬指導の後にはもっと患者さんから聞いた方がよかった点などを指摘して頂きとても勉強になりました。薬剤によって聞き取る項目やポイントは違うので

毎回難しいと感じましたが実際に服薬指導を行うことでより身に付きました。私は服薬指導の際とても緊張してしまうので薬剤師の方にフォローしてもらい、助かりました。

外部実習も漢方・在宅医療・薬局製剤・学校薬剤師・OTC実習・地域活動など色々な体験をすることができました。外部実習を通して薬剤師の活躍の場がたくさんあることを知ることが出来ました。同時に、地域の方や他の医療関係者の方とのコミュニケーションを取ることの重要性を感じました。薬局実習での経験や得た知識を国家試験、就職した際に生かして、地域や患者さんから頼られる薬剤師になりたいです。ご指導頂きました先生方、薬局の皆さん優しく教えて頂き有難うございました。

武蔵野大学5年 平 富輝

(ミドリ薬局 美里店 実習 指導薬剤師 玉城 武範)

私が実習を行った『ミドリ薬局美里店』は処方箋医薬品以外にOTC医薬品や健康食品なども取り扱っており、薬を調剤してもらう人、買いに来る人など様々な人が薬局を訪れて来ました。その指導薬剤師である玉城先生は薬局外での活動にも積極的に力を入れている方でした。私は薬局実習をする前までは薬剤師という職業は患者さんに出すお薬を安全にかつ正確に服用してもらうために丁寧に説明をするのが役目であると勝手に想像していましたが、本実習を通して考えが大きく変わりました。

私が大学で習った服薬指導の方法は患者さんにお薬の説明をして、アレルギーや副作用等の症状がでたことはないかなどを聞く流れでした。しかし、実際はそれだけではなく、その疾患によりどのようなことに困っているか、その患者さんの家族など周りの人達は大丈夫かなどの背景を感じ取り、先を見ての服薬指導が大切だということです。これは在宅医療にも共通していて在宅先の患者さんの世

話をしている周りの人や介護をしている環境を感じ取ることが重要で、相手の気持ちになって共感することがより良い服薬指導、在宅医療に繋がると学びました。

外部実習で一番印象に残ったのは『自立支援地域ケア会議』です。その会議では私たち薬剤師を含め言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、社会福祉法士などその他様々な専門職の人達が一同に会し、それぞれの専門性を活かした視点から高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備とを同時に進めていくといった内容の会議でした。私は普段、薬剤師としての物事の見方として接する機会が多いため、このような会議に参加させていただけたことは非常に貴重な体験でありました。

本実習を通して私は薬剤師としての価値観だけでなく、様々な職種の人達と接して様々な物事の見方ができ、意見が出せる、そして相手の気持ちになって考える、そのような薬剤師になれればと思えるようになりました。

九州保健福祉大学5年 保良 結

(豊見城薬局 実習 指導薬剤師 長谷川 幸司)

9月4日から11週間、豊見城薬局で実習を行い、とてもよい体験ができました。実習初めはとても緊張していましたが、指導薬剤師の先生をはじめ、薬局の皆様があたたかく受け入れてくれ、とても良い環境の中ご指導していただいたため、楽しく薬局実習を終える事ができました。

実習をとおして感じたのは薬局薬剤師が調剤や投薬だけでなく、患者さんとの会話から生活状況や改善点を読みとって、その人に合った指導を行う事で地域に密接にかかわる事ができると実感しました。患者さんに合った指導を行うためにも、薬についての知識は勿論のこと、世間で話題となる事や最新の医療ニュース、医療事故など色々な事について知っておく必要があると感じました。実際に

投薬を行ってみて、患者さんの中には問題となった薬や最近起きた医療事故について詳しく知っており、不安に思っている方もいらっしゃいました。不安を取り除いてあげるためにも、薬が患者さんの命に関わると認識し、薬の知識を学ぶ姿勢や最新の情報を取り入れようとする努力が必要だと思いました。

保険薬局では、大学では体験することのできない貴重な体験ばかりでした。薬剤師になったら実習で学んだ事を活かして、頑張りたいと思います。最後に、慣れない実習で至らない点の多い自分でしたが、皆様に優しく教えていただき充実した実習を送ることが出来ました。豊見城薬局でご指導してくださった皆様本当にありがとうございました。

長崎国際大学5年 本村 恵

(吉田薬局 はんたがわ店 実習 指導薬剤師 吉田 洋史)

11週の薬局実務実習を通して、多くの事を学ぶことが出来たと思います。初めは緊張することも多かったのですが、徐々に慣れていくことが出来ました。

私が実習した吉田薬局は、門前薬局ではなく面で受ける薬局であることもあり、幅広い処方を見ることが出来たと思います。また、患者さんが小さなことでも質問している場面が何回もあり、患者さんが薬剤師を信頼しているのを実感することも多くありました。

服薬指導は1週目から行う機会を設けてくださり、1人の患者さんを複数回服薬指導させていただくこともありました。病院での服薬指導とは違い、継続して患者さんの処方を見ることができ、変化に合わせて指導や助言が出来るやりがいを感じました。服薬指導の中で、副作用確認の重要さも実感しました。聞き取りによる副作用確認も行いつつ、歩行時のふらつき・目の黄疸・内出血など目視で確認できる症状の確認も行うよう意識しました。

在宅業務では、初回介入から見ることが出来ました。医師や看護師などの職種と連携を取り、患者さんの家族からの要望に沿うようにする流れを見ることができました。初回介入から見たことで、在宅を行う上で薬剤師が注目している点を知ることが出来たと思います。また、患者さんに実際に触れてバイタルを確認する場面もあり、薬剤師もバイタルを診る必要があると実感しました。

実習の中でOTC薬や衛生用品などを販売す

る機会も数回ありました。OTC薬には分からない成分も多く、患者さんからも違いを聞かれることが多いと感じました。将来的には、OTC薬にも詳しくなりたいと思いました。

災害時の薬剤師の役割やモバイルファーマシーなどについての講演会、東日本大震災時の薬剤師の活躍についてまとめられた本を通して、災害時の薬剤師の重要性を学ぶことが出来ました。医師は使い慣れていない薬は分からないことが多いため、災害時のように処方できる薬が限られている場合は、薬剤師に薬について聞くこと。看護師なども薬については薬剤師に相談することで、医師の負担を軽減することに繋がること。災害時に薬剤師は必要だということは他の学生にも伝えていきたいし、災害時には自分も災害医療の一助になりたいと思いました。

学校薬剤師の業務で照度検査と学校保健委員会に同行する機会がありました。薬剤師が学校の衛生環境の維持・改善に大きく関係していると実感することが出来ました。

卸の見学では、薬が薬局に届けられるまでの過程を見学することで、卸の活躍がなくては薬を患者さんに渡すことが出来ないと実感しました。

他にも、漢方製剤・薬局製剤・夜間／救急対応薬局の見学など多くの外部実習があり、充実した実習になりました。

最後に指導薬剤師の吉田先生と事務の上原さんにお礼を申し上げます。11週間という長い間でしたがお世話になりました。

姫路獨協大学5年 上地 愛理

(うさぎ薬局 実習 指導薬剤師 川上 善久)

薬局実習を開始する前は、「病院実習で病院薬剤師の業務を一通りこなしたので、薬局での実習も少しは余裕をもって取り組めるだろう」と考えていました。

しかし、実際に実習が始まってみると、薬局薬剤師の業務と病院薬剤師の業務内容の違いに戸惑いを感じる人が多いのが現状でした。

計数・計量調剤を例にとってみても、院内では採用薬が決まっているため、処方箋(指示箋)に記載されている薬剤をそのまま取り揃えるだけで良かったのですが、保険調剤薬局では、処方箋に先発医薬品の記載があっても患者さんが後発医薬品を希望すればその場で薬剤師の判断で変更することがあるため、まず先発医薬品の商品名と一般名を一致させておかなければなりません。

その他にも、薬剤の配置の仕方や分包機の使い方等はそれぞれの薬局によって異なるため、まずはその薬局での特徴を把握することから始まりました。

慣れるまでは調剤をするだけで精一杯の状態でしたが、実習が終わる頃には、薬剤棚の位置、処方回数が多い代表的な先発医薬品と後発医薬品を一致させることが出来ていたため、スムーズに調剤出来るまでに成長できました。

また、薬局実習の中で感じた病院薬剤師との大きな違いは「保険調剤薬局の薬剤師は、地域住民との関わりが密接である」というこ

とでした。病院での実習は病院内で完結していることが多かったのですが、地域の保険調剤薬局では調剤業務の他にも、来局者の健康相談、OTCの販売、学校薬剤師として小中学校・高等学校に出向いての環境衛生調査、地域でのお薬相談会への参加等、病気の有無関係なしに地域住民と関わる機会がとても多かったです。

薬局に地域住民の方々が出向いてきてくれる場合でも、処方箋を持ってきてくれるだけでどまらず、OTCの購入であったり、健康食品や清涼飲料水やお菓子などの嗜好品の購入目的で来局することもあり、病院内で働く薬剤師には出来ない、地域に根差した薬局の薬剤師だからこそできる関わり方であると感じました。

薬学的観点から患者さんと向き合い、積極的に処方提案を行うことも薬剤師としての大切な役割だと思いますが、こういった地域と密接に関わり活動を行う中で、地域住民の健康寿命の延長をサポートできるような薬剤師にも憧れを抱きました。

今回の薬局実習での経験を活かし、今後更に実際的な知識を身に着けることができるよう、研磨を積み重ねていきたいと思っています。また、実習先で出会った先生方のように、患者さんの生活に寄り添いながら医療や健康に関するアドバイスを提供できるような薬剤師を目指したいです。

九州保健福祉大学5年 宮里 真琴

(みらい薬局 実習 指導薬剤師 四谷 祐子)

薬局では病院のように電子カルテを見て患者さんの情報を確認できないので、服薬指導の中での情報収集がとても重要なのだと感じました。

また、患者さんから話を聞き、集めた情報は薬歴として積み重なり、患者さん一人一人に合った指導を行うことで、信頼関係を築くことにも繋がっていくのだということを感じることが出来ました。

服薬指導の中でお薬に関する質問だけでなく、運動や食事等の質問も患者さんから多くあったため、薬や疾患に関するだけでなく、薬剤師として運動や食事等のアドバイスや相談もできるように勉強しないといけないなと思いました。

薬剤師が指導を行っている様子を観察したり、自分が服薬指導を行う中で一番感じたことは、薬剤師はコミュニケーション能力がないと務まらない仕事だなと感じました。服薬指導の短い時間の中で必要な情報を的確に聞き出すことや、患者さんにわかりやすく伝える等の基盤にはコミュニケーション能力があり、それが欠けていると情報を与えるだけの一方的な指導になってしまうため、コミュニ

ケーション能力の必要性を感じました。

また、患者さんに対してだけでなく、医師や看護師、事務など他職種との関わりが深いため、その重要性を強く感じました。実務実習を行い薬の知識だけを学ぶのではなく、倫理観やコミュニケーション能力など実際に現場でしか感じることをできないものを学ぶことが出来ました。

実習先の薬局以外にもOTC医薬品や在宅、夜間・救急の薬局への実習や学校薬剤師、卸の見学などから、薬局や薬剤師としていろいろな形があり、どのような場で活躍する薬剤師なのかによって、その役割や貢献の仕方が違うことも具体的に学ぶことが出来ました。

この実習を通して、薬局や薬剤師としていろいろな姿があることを直に学ぶことができ、自分がどのような薬剤師になりたいのか考える上で、多くのことを学び経験することが出来ました。約3か月間、充実した実習を送ることができ、国家試験という壁も乗り越えられるよう背中を押ししてもらいました。

指導薬剤師はじめ、実習で関わった方々に多くのことを教えて頂きました。ありがとうございました。



平成29年度 第二期実務実習薬学生・指導薬剤師記念撮影

## 九山薬学大会

### 第78回九州山口薬学大会参加報告

薬剤師を生きる「今、この瞬間」～太陽の国からはばたき、そして未来へ～

日時：平成29年9月17日(日)～18日(月/祝)

会場：シーガイアコンベンションセンター(宮崎県)

台風18号を覚えてますでしょうか？ちょうど開催日の1週間程前に発生したこの台風が石垣・宮古から九州・四国・本州・北海道と本土4島すべてに次々と上陸したことは記憶に新しいかと思えます。本大会の開催自体が危ぶまれる事態となりつつも、なんとか開催決定に至りましたが、当日この台風が宮崎を直撃、予定していた演者らが数人欠席するなど、まさに大きな影響を受けました。

さて、横殴りの大雨の中、たどり着いた本会場へ入ると、外の状況なんてどこ吹く風、一気に賑いある雰囲気にも包まれました。早速、本会議での来賓挨拶では日本薬剤師会会長より「最近の不祥事件に触れ薬剤師職能を根こそぎ刈られる危機感、仲間内でも厳しい目で見ている場合にはテーブルからおりてもらうという倫理観と、自分は薬剤師であるという自覚を持ってほしい」と呼びかけがあり、気が引き締まる思いでした。衆議院議員松本先生からは「多くあるリクエストに目をつぶることなく、果敢に挑戦していく。いつでも、どこでも、どんな薬でも調剤できるよう、遠隔医療や僻地へ医療者の派遣などの新しい仕組みに何ができるのかを考えていく。適正使用はもちろん、お渡しした後を考えていく必要があります、一元管理を目指してICT技術環境を整える必要性和同時に教育にも取り組む」と来る時代の流れに置いていかれないよう奮起する思いを感じました。参議院議員藤井先生からも昨年の参議院選の御礼とともに調剤医療費の状況について、7割以上はお薬代の現状と、対して技術料の報酬は少なく、報酬を上げるためには社会からの評価が必要であ



日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部  
株式会社アトル  
川上 雄一郎

り、そのためには患者が(職能を)理解し認めてもらうことが大事だと我々に訴えました。他、宮崎医師会長や知事より厚いご挨拶頂き、大会宣言・決議が無事執り行われました。

盛会にて無事終了した本大会プログラムにて、私が聴講した一部をご報告致します。

#### 特別講演1「自超力」

元競泳日本代表・オリンピック  
松田 丈志

「自超力」という聞きなれない言葉をテーマに、成長していく軌跡を聴くことができた。テレビで見る姿と同様、筋骨隆々な姿で凛々しく、意外にも場を盛り上げるのが上手であり、何より同年齢だということに驚いた。ドーピング問題と検査方法、非難を浴びたロシア選手に対する複雑な心境はオリンピック選手ならではのリアルなエピソードがあった。「世界に目を向けるとアンチドーピング機構がないところもある。政府が行っていることもあるがあまり充実していない。日本からアジアに向けてサポートと教育を発信してほしい」とも訴えた。対象成分は日々追加され、うっかりドーピングも現実にある。「(薬剤師)業界として発展して頂きたい、ドーピングに関しても力(知識)を貸して頂きたい」と我々へエールを送った。(この報告書の執筆中に、NHKニュース7にて『ドーピング サプリに“落

とし穴” 冬季五輪前に講習会』と題して特集があった。スポーツファーマシストが、成分がすべて明らかにされないサプリメントは服用しないことや、検査で陽性となった場合に備えて摂取したサプリの情報を記録しておく重要性を伝えていた)

自身の経験の中で段階的に心境の変化があり、それが成長と結果を生んだのだと語った。テーマである「自超力」という言葉が理解できた。メモを下記に紹介する。

“自分事としてどう捉えるか” —やらせられるばかりでは苛立ち、エネルギーも工夫する力も出てこない。とりあえず言われたことだけをやっていないか。やりたいことや考えていることを吐き出し、意見すること。どうして?と自問し、納得しながら同じ目標に向かうことが、よりブラッシュアップできる。

“結果がでたら突き詰めていく” —実行していくことが、次の目標となり成長にもつながる。

“周りとの人間関係を大事にする” 色々な人の経験とノウハウを吸収すること。成長スピードが全然違う。それは大事な時間の節約になる。水泳選手らの強さの秘密は垣根ない情報共有である。

## 特別講演2「地域包括ケア時代における

### 専門職連携とその地域展開」

宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座  
教授 吉村 学

町には高齢者が増え、空き家が増え、亡くなるお医者さんがいる。地域は絶えず変化している。そう語る先生は長年地域医療に取り組み、かつ教育者でもあり、積極的に多職種が一堂に顔合わせする機会を自らが仕掛けていくバイタリティー溢れる方であった。

地域医療のヒントになる話がユーモアを交えて盛りだくさんであった。住民や患者さんの背景にある問題に気づき、考え、それが地域の課題だったりする。その課題を地域の多職種と一緒に考え解決していく。その流れが

地域包括ケアに取り組むヒントになるのではないだろうか。怯むことはない、意外と楽しいものだよ、コラボする楽しさがそこにあるはずだ。と感じさせる内容であった。

私は地域医療や包括ケアについて少し堅いイメージを持っていたのかもしれない。先生が実践してきた内容がとても魅力的で、常に自分以外の人が必要関わっており、もちろん住民もそこにはいる。地域医療（の課題）とはなんだろうか？一部、紹介された事例と背景を以下に抜粋する。

○風邪の子供を連れてきたお母さんが抗生剤を要求してきた。

⇒安易に処方してきた小児科が背景にある。耐性菌の問題があること、適正使用を地域で考えていくべきでは。

○行政より、中年になってタバコを吸い始める方が多いと相談があった。

⇒背景に地域に禁煙外来がない、啓発活動もない、ニコチンパッチの販売が少ないことが挙げられる。

○膝が悪い独居老人宅にて、高価な健康食品（サメの軟骨成分）が山積みされていた。

⇒（患者の気持ちを汲み取るが）エビデンスとして有効性はどうかのだろう

○発達障害の子の家庭内暴力

⇒発達支援センターへ相談しようにも専門医が少なく半年以上待ち。支援学校では順調であったが、就職先でのいじめが原因であった。さらに服薬コンプライアンスの悪化。⇒対応の引継ぎが不足していた。地域へ帰す取り組みがされているけど、地域とのコラボレーションはうまくいっていなかった。

○80歳うつ病の患者

⇒膝が悪くなってからうつ病がひどくなったことが判明。実はバイトをしていて、膝が悪くなったことで生活が苦しくなっていた。⇒自営業の国民年金の受給額が低いために80歳でアルバイトする現実。生活保護の申請に至る。

○若年層の喫煙を地域の課題として取り組む

⇒薬剤師が中心となり中学校で防煙教室。誘惑に対する断り方を伝授（田舎の子ほど弱い）。

他、アリセプトを処方している患者が行方不明になった事例、精神科病棟から抜け出して、自宅で釘を撒いてマサイ族のようにジャンプしていた患者の事例など頷ける感じだった。意外に身近に溢れていそうなことばかりだ。ふと頭をよぎったのが沖縄の子どもの貧困問題だ。子ども医療費の現物給付化の普及が功を奏してほしいと願うが、受診までどり着けていない方がいるということに気づくことが重要なのだ。

窓口に来ない人ほど地域の課題が埋まっている（ポピュレーションアプローチ）、窓口で背景を探ってみては。このような人がもつといるのでは？と考え、単独で解決しようとせず医療者間で話し合おう。それが地域包括ケアである。また、気づいた人が仕掛けていくこと。チーム医療は誰かが作るのではなく自分自身がまず動くこと。

地域住民を大事に考える、先生のいたわる心が伝わった一幕であった。

※地域医療の定義：医療人・行政・住民が三位一体となり、担当する地域で限られた医療資源を最大限に有効活用し、継続的に包括的に医療展開するプロセスである。

### シンポジウム3

#### 多職種連携による在宅医療サービスの推進

##### ～地域包括ケアシステムにおける

##### 薬剤師の役割について考える～

#### 「多職種連携による在宅医療サービスの推進」

日本薬剤師会 常務理事 吉田 力久

「やれるのにやらないはダメだ。信頼ダウンになる。台風の様に色々巻き込まれることが重要で医師や看護師、ケアマネにとどまらず連携をしてほしい。」

“現場での困りごとはないか？” そういった発想や意見から例えば、麻薬の薬局間譲渡・譲受が規制緩和され、医材・衛生材料の供給の流れが整われた。

訪問診療はみんなで取り組む姿勢が大事。都道府県薬剤師会、地域薬剤師会も協力し合い個別でなく地域で取り組もう。氏が紹介した提案を以下に記載する。実際に下関薬剤師会での取組である。効率性を感じる内容だった。

○「県薬と地域薬剤師会の協力体制と割振りできる体制を」

—個々の努力よりもエリアで1つとみて患者へその理解を促す。これが健康サポート薬局にもつながる

—窓口となる薬局を選定し、各包括センターに設置・案内し、在宅薬局リストを参照しながら在宅依頼や相談事項を振り分け、周知もしていく。窓口でない薬局は自身がどこの包括センターに属するのか把握した上で、毎月定例会に参加し、顔合わせで連携強化を図る。

#### 「多職種連携による在宅医療サービスの推進

##### ～訪問看護師の立場から

##### 多職種連携の在り方を考える～」

訪問看護ステーションぱりおん  
訪問看護認定看護師 堤 育子

ホームホスピス宮崎というNPO 団体に訪問看護事業、ボランティア活動を始め、空き家を利用した家屋で療養の場の提供や、暮らしの保健室での相談事業を展開している。小林麻央さんの在宅死にあったように個人の尊重が謳われている。ここでも本人の意見を確認するためエンディングノート（宮崎市版）を活用している。また、家族も色々で、少しずつ（しつこく）巻き込むことにしている。ここでの体制を感じてもらい安心してもらえることもある。通うことが困難であったり、なかには、家族の関わりが無かったりする場合がある。その場合は行政、支援者に相談する。また、在宅ケアや介護（保険）に対する誤解はまだある。さらに、“増えてきたジェネリック医薬品について”、“重心（児）の訪問”、“夜間対応”、“勉強会の開催”といった要望が薬剤師に向かって述べられた。

## 「こねっと活動報告」

宮崎市赤江地区地域包括支援センター  
管理者 古川 拓矢

“こねっと”とはco+netの造語。Coはcommunication、connection、collaboration、communityを意味している。「医療と介護の連携」に向けた取り組みを紹介。医療側から、ケアマネがわからない、自宅での生活がわからない、介護保険がわからない、薬剤管理ができていないかわからないとの声が挙るが、思っている中々アクションできない状況がある。対して介護側からは医師との関わりが苦手、医療保険がわからない、相談室が無い医療機関の連携に悩むといった声もある。そこで、お互いの理解が連携につながるのでは？ときっかけづくりが必要と考え、こねっとの立ち上げるに至る。活動例は「こねっと通信」なる広報活動を展開したり、アンケートによって連携で困っているけど特に活動していないことを捉えて研修会等を開いたりしている。中でも共通の困りごとの「薬剤管理」勉強会では出席者が多い。協力施設や医療機関が参加する、こんなことができるよといった一目でわかる一覧「こねっと盛り上げ隊」を作成している。また、ステージを設けた地域住民向けイベントを企画し、同時に肌年齢・骨密度・動脈硬化度の測定コーナーや医療介護の相談コーナー、パン・クッキーなど販売コーナーも行っている。感心したことはこれらの活動はほとんどお金をかけず、関わりは全てボランティアであること。

頼られるこれからの薬局をPRする上で、専門職として地域にできることは？と考えてみないかとの提案あり。介護予防教室・健康運動教室へ参加や民生委員と連携（参加すると意外と楽しい、最初はドキドキするけど慣れていくだろう）はいかがだろうか。

まとめに、多職種連携の鍵はお互いにかかに知り合えるかである。お互いを知るには①会議や研修に積極的に参加、②相手の役割、立場を理解する、相談する、③支援が難しい

ケースに大勢で関わり共に悩む、④共に地域で活動する。

## ポスター発表

- 『ブロムワレル尿素によるブロム中毒の一症例』：米国では発売禁止であり、日本では販売規制がない。OTCについても知見を深める必要がある。
- 『注射抗がん剤の投与管理時の曝露対策状況の調査と対策について』：ルートプライミング、バックプライミング、その重要性を知ることができた。シンポジウムにて、この件の操作で困っている訪問看護師の話があった。
- 『処方箋なしでも気軽に立ち寄れる薬局を目指して』：アンケートを利用して、ニーズを探っており、カフェや図書館の併設や疾患に応じた食事指導など挙げられた。他に同様のポスターもあり、そこでは相談窓口として健康相談や市販薬・サプリメント・健康食品が挙っていた。

その他難聴者向け卓上型対話支援システム“COMU00N”やコンプライアンス改善に“eお薬さん”を活用したポスターも見受けられた。色々な現場で活躍する薬剤師がどのように考え、意識し、取り組んでいるのかが垣間見ることができた。

当日は空港で無事に搭乗できるのか、現地に到着できるのか動悸が止まらない本大会への参加でしたが有意義な2日間を堪能することができました。県薬の方々と飲んだ一夜とゞの釜揚げうどんを頬張ったことは良き思い出となりました。参加させて下さった卸勤務薬剤師部会に御礼申し上げます。また、帰りのバスに携帯を忘れてしまった私に対して親身に対応してくださった宮崎交通バスセンターのお姉さま方に涙が出るほどの感謝を申し上げます。（バスが戻ってくるという奇跡を体験しました）

## 日薬学術大会

### 第50回日本薬剤師会学術大会報告

会期：平成29年10月8・9日

会場：東京国際フォーラム・JPタワーホール&カンファレンス



日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部  
株式会社 琉薬 吉富 弓江

平成29年10月8日・9日に東京国際フォーラムで開催された第50回日本薬剤師会学術大会に参加しましたので、ご報告致します。

#### 【分科会6】

これからの医薬品卸の流通について

—安全・安心・確実な流通を目指して—

#### 基調講演

グローバルな偽造医薬品問題と対策

金沢大学特任教授 木村 和子氏

偽造医薬品はなぜダメなのか。犯罪であることも理由であるが、犯行被害が蔓延することが一番の問題である。

日本では正規ルートにおける偽造医薬品はないとされていたのが、今年1月にハーボニーの偽造品が流通し、患者の手にまで渡ったことは大きな衝撃だった。

日本における偽造品対策は明治7年の「贗薬販薬取締方」から始まり、世界でも早いうちに取り締まられていた。平成11年にはバイアグラが承認され、世界的に偽造品が出回ったが、日本ではインターネットによる個人輸入以外での偽造品は流通しなかった。

WHOは、2019年5月に偽造品等を定義づけた。

◎不良品：規格外医薬品とも称される。承認された医薬品だが、品質基準や、品質規格を満たさない医薬品

◎無承認・無許可品：流通・販売する市場の規制当局の評価や承認を受けていない医薬品

◎偽造品：名称、表示、包装、文書及び組成並びに起源に関して故意・不正に偽った医薬品不良品は犯罪ではないが、偽造品は犯罪となる。偽造品を見分けるためには、次のような点に気を付ける。

○製造年月日と有効期限（購入により前の年月、同じ年月などの矛盾）

○色、PTPの素材（メーカーが作ったわりに雑など）

○有効成分（分析しなければわからない）

○製造業者名、住所（記載されていない、存在しないなど）

○商品名、有効成分名（スペルミスなど）

○含量、容器（存在しない規格など）

○価格（安すぎるなど）

○外観（大きさや色の違い、色のバラツキなど）

○発送国（アジア圏に注意）

日本は偽造医薬品禍を免れておらず、取引にあたってはルールを厳守することが重要である。

#### 一般演題1

医療用医薬品の偽造品流通防止に向けた取組について

厚生労働省医薬・生活衛生局  
薬事企画官 紀平 哲也氏

厚労省は、ハーボニーの偽造品流通を受けて①流通ルートの確認、②偽造品の確保、③健康被害の有無の確認、④再発防止の通知、⑤行政処分を行った。

3月からは「医療用医薬品の偽造品流通防止のための施策のあり方に関する検討会」を開催し、6月に中間取りまとめを公表した。さらに10月5日に改正省令を通知し、医薬品の偽造品流通防止のために遵守すべき事項を明確に示した。

### 一般演題2

#### 偽造品流通防止のために対応すべき対策とJGSP

一般社団法人日本医薬品卸業連合会  
薬制委員会委員長 一條 宏氏

現在、日本全国に1万軒以上の医薬品卸がある。日本医薬品卸業連合会には73社が加入しており、加入会社で医療用医薬品の97%が流通している。本連合会が策定したJGSP（医薬品供給における品質管理と安全管理に関する実践規範）では、品質が保証できない医療用医薬品を流通させない、不適切な流通をなくすよう取り組んでいる。

10月5日に通知された改正省令では、医薬品の譲受譲渡時の書面記載事項が明記されているが、本連合会加入の卸ではJDネットを利用してロット及び使用期限の管理が既に行われている。今後も一連のサプライチェーンにおける共通ルールの策定に向けた検討を実施し、不適切な取引を根絶する。しかし、返品や不働在庫に係る課題が残されており、返品ルールの策定が必要であると考えます。

### 一般演題3

#### 医療用医薬品の偽造品流通防止に関する 薬剤師の役割

公益社団法人日本薬剤師会  
副会長 森 昌平氏

国内の正規ルート初の偽造品流通の発生で、日本における医薬品流通の安全神話が崩壊した。薬剤師は、医薬品の流通管理、品質管理を担う使命、責務があるにもかかわらず、外箱や添付文書のない医薬品の流通を薬剤師、薬局が歯止めにならなかったことが残念である。改めて、医薬品を扱うという覚悟

と倫理観をもって業務に取り組んでいかなければならない。

日薬では3月に日本保険薬局協会、日本チェーンドラッグストア協会とともに「薬局間における医療用医薬品の譲受・譲渡に関するガイドライン」を発表し、薬局間の流通においても遵守事項を定めた。

今後、下記事項の対応が必要であると考えます。

- ① 他の薬局などに対する医薬品の販売を業務の中心としているケース
- ② 薬局開設者や管理薬剤師の責任・責務のあり方について

### 【特別企画展示】

#### 今は昔 くすりとくすしの100物語展

～江戸から昭和にかけて～

講演会ではありませんが、大変興味深く拝見した展示だったので紹介します。

東京都北多摩薬剤師会の平井有氏が所有する2万点のコレクションの一部を展示したものです。

写真1～写真6、下記、次頁をご覧ください。

今年は50回目の大会であり、全国から約12,000人が参加、47の分科会の他、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会の各会長によるパネルディスカッションも開催された。また、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智先生の特別講演や、本大会史上初めて現役の首相が出席して祝辞を述べるなど、スペシャリティ満載の大会でした。



写真1：売薬行商（現在の配置販売業）



写真2：西洋医薬箱（明治期〜）



写真3：漢方医薬箱（江戸期）



写真4：昔の薬剤師免許証（大正・明治）

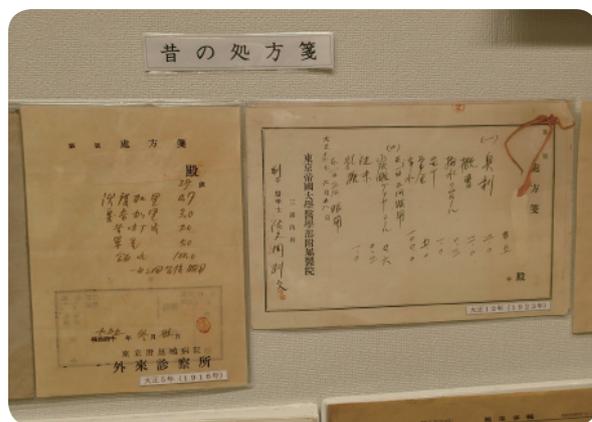


写真5：昔の処方箋（大正）



写真6：くすりのおまけ

お知らせ

**地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！**

年々、地区（支部）、部会の活動が活発化しております。

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

月例相談会

## 第147回健康とおくすり相談会

日時：平成29年10月20日(金) 16:30～18:30

場所：那覇市パレット市民劇場 ロビー

担当：南部地区薬剤師会



◆健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○新垣 秀幸    ○上原 陽子    ○平田 崇    ○新垣 梓    ○照屋 秀子    ○玉寄 睦子

## 第148回健康とおくすり相談会

日時：平成29年11月12日(金) 10:00～15:00

場所：糸満市西崎総合体育館

担当：南部地区薬剤師会



◆健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○新垣 秀幸    ○新垣 裕章    ○松本 圭五    ○上原 陽子    ○照屋 秀子    ○玉寄 睦子

## 月例相談会

# 第149回健康とおくすり相談会報告（その1）

日時：平成29年11月12日（日） 10:00～15:00

会場：沖縄セルラースタジアム

担当：那覇地区薬剤師会



すこやか薬局 宮城店  
砂川 美佳

去った平成29年11月12日（日）那覇市主催の「第4回なは健康フェア」の一環である、「健康とおくすり相談会」へ参加しました。同会場では、「なはウォーク」が同時開催しており、たくさんの市民ウォーカーでとてもにぎやかでした。

私たち薬剤師会の周囲には栄養士会や看護協会などのブースがあり、まさに健康フェアの名前にふさわしいイベントです。こちらのメインはおくすり相談票を記載してもらった後の血圧脈波検査装置による血管の動脈硬化度検査で、午前だけでも約30の方が訪れました。

データをみると、動脈硬化度が実年齢と同じかそれよりも若い方が多かった印象を持ち、結果データに一喜一憂することなく、これからの健康維持のための目標として捉えてもらえたこともやりがいを感じました。

おくすり相談では、降圧薬服用者が多く長年服用しているということで、常に薬剤師と相談する機会があるため現在の血圧の聞き取りで十分でした。

サプリメントはグルコサミン、コンドロイチンと関節を気にする方が多く、他のサプリメントとの飲み合わせの再確認を行いました。そして、自身の服用している薬、サプリメントは自身でも素人なりに調べているということなので、薬への関心が高まっている証拠だと思います。

また、相談票には運動習慣の有無の記載欄があり、ウォーキングイベントに参加するだけあって週2回の運動を実施している方が大半でした。さらに、1回の運動で30～40分のウォーキングを行う、足の悪い方はプールで水中ウォーキングを行うなど自身の体に合った運動法を知っており、こちらが勧めるまでもありません。しかし、食生活というと、男性に限っては飲酒する方が多く、月の回数は少ないのですが1回の飲酒量が大量であると答えた方が多くいました。これは、飲酒が習慣化していないから大丈夫だという認識であり、食事についての指導はまだまだ必要だと感じました。

今回の相談会で骨密度検査は出来ないのかと聞かれることが多くあり、「以前はやっていたのに・・・」と残念がる声もあったので、次回からは動脈硬化検査を待つ間に骨密度検査、InBodyなど待ち時間を上手く利用できる流れを作ること、より深く健康相談に乗ることができ、もっと有意義な時間を過ごせるのではないかと思います。

短い時間の参加でしたが、たくさんの方とふれあい楽しく“ゆんたく”ができ、よい休日となりました。



## 第149回健康とおくすり相談会報告（その2）

去る11月12日、沖縄セルラーパーク那覇にて行われた「健康とおくすり相談会」に参加しました。今回は、ひやみかちなはウォークのゴール地点で開催された、「なは健康フェア」のブースの一つとして出展しました。このフェアには薬剤師会だけでなく、医師会・病院、助産師会・栄養士会などの種々の医療関係者のブースがありました。

私たちのブースでは動脈硬化度を測定し、その結果を評価し相談を受けました。この検査装置は、手首にある橈骨動脈の脈波をとらえ循環器系疾患の指標であるAI値を算出してくれるものです。AI値が大きくなるということは心臓にかかる負荷や動脈が硬くなっていることを示します。加齢とともに変化していくため、出てきたグラフを見て自分の年齢標準値と比較して高いか低いかで評価します。このような検査装置を見るのも体験するのも初めてでしたが、いわゆる「血管年齢」がとても簡単に短時間でできることに驚きました。

当日は動脈硬化測定と相談窓口と会場整理の仕事がありましたが、私は主に相談窓口を担当させていただきました。健康フェアというだけあって、健康に対する意識が高く週1回以上は体を動かしている40から70代の方の参加が多かったと感じました。

私に対応したほとんどの方が、現時点では基礎疾患がなく服薬もありませんでしたが、健康診断でコレステロール高値を指摘されていました。コレステロールが高いと動脈硬化が進むことが知られているため、自身の血管状態が心配になった方が多かったです。何人かは年齢標準値より高めだったので、その場合は食事や運動などの生活指導をしました。より専門的な指導が必要な方に関しては、



すこやか薬局 沖赤店  
一柳 香

同じブースにいらした栄養士や運動療法士に紹介し相談を受けて頂きました。

また喫煙も動脈硬化のリスクとなるため禁煙の勧めも行いましたが、もう少し具体的な禁煙指導ができればよかったと反省しました。

ちなみに私自身もコレステロールが高いと指摘を受けていたためAI値を測定して頂きましたが、実年齢より血管年齢は若いと評価され少し安心しました。

朝の9時から相談会開始でしたが始まる前から数名の方が椅子に座って待っていて、このような相談会への期待の高さを感じました。最終的には102名の方が来て下さって、終了間際ぎりぎりまでの対応となり盛況でした。

普段は処方内容を元に薬歴を参照し、健康や薬・サプリメントについて指導していたので、一般の方の相談にのれるか心配でした。最初は緊張してAI値についてわかりやすく説明できませんでしたが、だんだんと慣れてきたら雑談なども含めて楽しく話すことができましたようになりました。

今回の経験を通して薬だけでなく幅広い知識を求められていることを改めて感じました。そして健康相談という点では薬剤師だけでは難しく他職種の方との交流も必要と感じました。機会があればまたぜひ参加してみたいと思います。

※動脈硬化度測定装置「オムロン血圧脈波検査装置AI」については、オムロンホームページを参考にしました。

### ■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- |          |        |        |         |        |
|----------|--------|--------|---------|--------|
| ○川満 直紀   | ○吉田 洋史 | ○新井 康之 | ○玉村 友利香 | ○山路 美和 |
| ○仲宗根 かおり | ○砂川 美佳 | ○玉村 澄恵 | ○一柳 香   |        |

## 月例相談会

# 第150回健康とおくすり相談会報告

日時：平成29年11月19日(日) 10:00～16:00

場所：うるま市健康福祉センター うるみん

担当：中部地区薬剤師会



あかみち薬局  
神元 繁守

去る11月19日(日)、うるま市主催による「第4回健康フェスタinうるみん」が開催されました。中部地区薬剤師会が「健康とおくすり相談会」のブースを設けることになり、一薬剤師として参加させていただきました。

昨今、かかりつけ薬剤師制度や、健康サポート薬局制度に伴い、調剤薬局及び薬剤師のあるべき姿が見直されています。地域の医療や市民の健康づくりに薬剤師も積極的に関わっていかねばいけない時代をむかえ、薬剤師として、更なる知識の向上の必要性を感じています。このようなイベントへの参加は普段、経験できない別の角度からの勉強ができるよい機会だと思います。

その日はうるま市の健康フェスタというイベントで様々なブースがあり、市民向けの健康向上のための一大イベントでした。薬剤師会による「健康とおくすり相談会」では血圧測定 体成分組成、骨密度、血管硬化度、HbA1c測定の機器を設置し、全てを測定してもらい、その結果をもって相談窓口にて薬剤師による解説とアドバイス及び相談を行う流れでした。

私は、HbA1c及び血糖値測定の担当を任されることになりました。当日は、8時半集合で、機器の設置などの準備を行い、10時の開始に備えました。その時間で担当機器のシミュレーションを行い、細かい注意事項などを経験されている先生方からアドバイスをいただきました。

いざ、開始時間をむかえると、想像した以上に続々と市民の方が訪れ、健康意識の高さを感じました。

最初はスムーズに進めることができなかったのですが、徐々に操作にも慣れていき、チームワークでうまくさばくことができました。やはり薬剤師は、薬局業務もしかり、多くの場面でチームによる仕事が多いので、对患者さんだけではない、コミュニケーションの重要性を感じる事が出来ました。

また、多くの市民の方とお話しをする中で感じたことは、病院にかかられていない方も多く、「血糖値ってなに？」等の質問をうけました。私はとっさに「糖尿病の検査のことですよ」と答えました。すると「糖尿病ってなに？」と返されたので、糖尿病と血糖値とHbA1cについてゆっくり説明をしました。病院にかかられていない方の中には、自分たちが当たり前に使っている言葉を耳にする機会がないので、さらにわかりやすい話し方が必要だと感じました。

今回のお薬相談会は大盛況にて終わることが出来たと思います。ほとんどの方がHbA1cは、正常範囲内の結果でした。市民の方に「検査値は正常ですね～」と伝えると安堵の表情を浮かべていたのが印象的で、協力できて良かったと思いました。

今後もこのようなイベントには積極的に参加し、自分自身のスキルアップも図り、地域医療に貢献できる薬剤師になればと思います。

### ◆健康とおくすり相談員 (順不同・敬称略)

- |        |        |        |        |        |          |
|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| ○森田 勇  | ○普久原 隆 | ○池間 記世 | ○福間 猛史 | ○安里 廣子 | ○諸見里 めぐみ |
| ○玉城 武範 | ○山内 崇良 | ○藤原 明人 | ○伊佐 常隆 | ○橋本 正嗣 | ○江夏 京子   |
| ○西村 浩彦 | ○蒔 初子  | ○神元 繁守 | ○照屋 洋子 | ○新江 裕貴 | ○福地 健治   |
| ○仲座 方利 | ○松本 洋江 |        |        |        |          |



## 学薬部会

### 平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会参加報告

日時：平成29年10月5日(木) 19:30～21:00

会場：薬局えぱーわーな～（糸満市）

10月5日（19:30～21:00）、薬物乱用防止指導員研修会の伝達講習会に参加しました。講習会場となった薬局えぱーわーな～は糸満市にあります。薬局の中は静かで落ち着いた雰囲気です。

講師の平良恭子先生からは、薬物乱用防止を理解させるには、医薬品の正しい使い方を理解してもらうことが重要とのお話がありました。また、子供達の学年や各学校の考え方に合わせて話す内容や使う資材を工夫する必要があり、様々な資材のご提案もありました。

各学校で開催される薬物乱用防止教室では、学校薬剤師のほか麻薬取締官OBや警察職



学校薬剤師  
大城 晴子

員等が専門知識を生かして講師になっていきます。学校薬剤師は、医薬品の専門家として良いアプローチができそうです。講習会終了後、参加された学校薬剤師の先生から、学校の先生だけでなくPTAの方々にも協力いただいた事例や他校の学校薬剤師と連携した事例が紹介されました。先生方の熱意が感じられ、有意義で楽しい勉強会でした。



講師の平良恭子氏



県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ  
薬達ちゃーより

## あまくま<sup>やくた</sup>薬立つ情報

### ➔ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

### ➔ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

### ➔ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電 話 098-963-8934

e-mail [siken@okiyaku.or.jp](mailto:siken@okiyaku.or.jp)

### ➔ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの「かかりつけ薬局」をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ  
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

# 薬事情報おきなわ No.247

2017年11-12月号 : Vol.32 No.5

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

## 薬価基準追補収載品目

### ●新医薬品 平成29年11月22日付

区分	販売名 ( )内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	レバチオODフィルム20mg	20mg1錠	1,213.50	ファイザー	シルデナフィルクエン酸塩:ホスホジエステラーゼ5阻害薬(肺動脈性肺高血圧症)(新用量、剤形追加)
	レバチオ懸濁用ドライシロップ900mg	10mg1mL(懸濁後の内用液として)	671.30		
	イブランスカプセル25mg (Pfizer/PBC 25)	25mg1カプセル	5,576.40	ファイザー	バルボシクリブ:抗悪性腫瘍剤(CDK 4/6阻害剤)(手術不能又は再発乳癌)(新有効成分)
	イブランスカプセル125mg (Pfizer/PBC 125)	125mg1カプセル	22,560.30		
	ルバフィン錠10mg (TF10)	10mg1錠	69.40	帝国製薬	ルバタジンマル酸塩:アレルギー性疾患治療剤(アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎・皮膚そう痒症)に伴うそう痒)(新有効成分)
	マヴィレット配合錠 (NXT)	1錠	24,210.40	アッヴィ合同会社	グレカプレビル水和物/ピブレントスビル配合剤:抗ウイルス化学療法剤(C型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善)(新有効成分、新医療用配合剤)
	アラグリオ顆粒剤分包1.5g	1.5g1包	74,873.70	SBIファーマ	アミノレプリン酸塩酸塩顆粒剤:光線力学診断用剤(経尿道的膀胱腫瘍切除術時における筋層非浸潤性膀胱癌の可視化)(新効能、新用量、剤形追加)
注 射 薬	ケブザラ皮下注150mgシリンジ	150mg1.14mL1筒	45,467	サノフィ	サリルマブ(遺伝子組換え)製剤:ヒト型抗ヒトIL-6受容体モノクロナール抗体(既存治療で効果不十分な関節リウマチ)(新有効成分)
	ケブザラ皮下注200mgシリンジ	200mg1.14mL1筒	60,329		
	ベンリスタ点滴静注用120mg	120mg1瓶	15,404	グラクソ・スミスクライン	ベリムマブ(遺伝子組換え)製剤:完全ヒト型抗BLySモノクロナール抗体製剤(既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス)(新有効成分)
	ベンリスタ点滴静注用400mg	400mg1瓶	50,245		
	ベンリスタ皮下注200mgシリンジ	200mg1mL1筒	24,540		
	ベンリスタ皮下注200mgオートインジェクター	200mg1mL1キット	24,547		
	ダラザレックス点滴静注100mg	100mg5mL1瓶	51,312	ヤンセンファーマ	ダラツムマブ(遺伝子組換え)製剤:ヒト型抗CD38モノクロナール抗体(再発又は難治性の多発性骨髄腫)(新有効成分)
	ダラザレックス点滴静注400mg	400mg20mL1瓶	184,552		
	パベンチオ点滴静注200mg	200mg10mL1瓶	218,955	メルクセローノ	アベルマブ(遺伝子組換え)製剤:抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗ヒトPD-L1モノクロナール抗体(根治切除不能なメラノーマ)(新有効成分)
	エイフスチラ静注用250	250国際単位1瓶(溶解液付)	22,308	CSLベーリン グ	ロンクトコグアルファ(遺伝子組換え):遺伝子組換え単鎖血液凝固第Ⅷ因子製剤(血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(新有効成分)
	エイフスチラ静注用500	500国際単位1瓶(溶解液付)	41,370		
	エイフスチラ静注用1000	1,000国際単位1瓶(溶解液付)	76,719		
	エイフスチラ静注用1500	1,500国際単位1瓶(溶解液付)	110,104		
エイフスチラ静注用2000	2,000国際単位1瓶(溶解液付)	142,273			

区分	販売名 ( )内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注射薬	エイフスチラ静注用2500	2,500国際単位1瓶 (溶解液付)	173,568	CSLベーリン グ	ロノクトコグ アルファ(遺伝子組換え): 遺伝子組換え単鎖血液凝固第Ⅷ因子製剤(血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(新有効成分)
	エイフスチラ静注用3000	3,000国際単位1瓶 (溶解液付)	204,184		
	ジーンプラバ点滴静注625mg	625mg25mL1瓶	330,500	MSD	ベズロクスマブ(遺伝子組換え): 抗Clostridium difficileトキシンBヒトモノクローナル抗体(クロストリジウム・ディフィシル感染症の再発抑制)(新有効成分)
	レクタブル2mg注腸フォーム14回	48mg30.8g1瓶	6,940.60	EAファーマ	ブテソノド注腸フォーム剤: 潰瘍性大腸炎治療剤(潰瘍性大腸炎(重症を除く))(新投与経路)

●報告品目・新キット製品一覧 平成28年11月29日付

区分	販売名 ( )内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	リクシアナOD錠15mg (リクシアナ/OD 15)	15mg1錠	294.20	第一三共	エドキサバントシル酸塩水和物口腔内崩壊錠: 経口FXa阻害剤(○非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、○静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制、○次の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制。膝関節全置換術、股関節全置換術、股関節骨折手術)(再審査期間中の剤形追加)
	リクシアナD錠30mg (リクシアナ/OD 30)	30mg1錠	538.40		
	リクシアナOD錠60mg (リクシアナ/OD 60)	60mg1錠	545.60		
	ジャドニュ顆粒分包90mg	90mg1包	1,433.80	ノバルティス ファーマ	デフェラシロクス顆粒: 鉄キレート剤(輸血による慢性鉄過剰症(注射用鉄キレート剤治療が不適当な場合))(新剤形)
	ジャドニュ顆粒分包360mg	360mg1包	5,707.70		
	エルカルチンFF内用液10%分包5mL	10%5mL1包	362.00	大塚製薬	レボカルニチン内用液: レボカルニチン製剤(カルニチン欠乏症)(再審査期間中の規格追加)
	エルカルチンFF内用液10%分包10mL	10%10mL1包	724.00		
タシグナカプセル50mg (NVR ABL)	50mg1カプセル	1,289.20	ノバルティス ファーマ	ニロチニブ塩酸塩水和物カプセル: 抗悪性腫瘍剤(チロシンキナーゼインヒビター)(慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病)(再審査期間中の規格追加)	
注 射 薬	レパーサ皮下注420mgオートミニド ザー	420mg3.5mL1キット	44,481	アステラス・ア ムジェン・バイ オファーマ	エボロクマブ(遺伝子組換え)注: ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤(家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症。ただし、心血管イベントの発現リスクが高く、HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な場合に限る)(再審査期間中の剤形追加)
	インフリキシマブBS点滴静注用100mg 「CTH」	100mg1瓶	56,382	セルトリオン・ ヘルスケア・ ジャパン	インフリキシマブ(遺伝子組換え)[インフリキシマブ後続1]製剤: 抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患) ○関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む) ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症 ・次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)○中等度から重度の活動期にある患者、外瘻を有する患者 ・中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る))(バイオ後続品)
	インフリキシマブBS点滴静注用100mg 「あゆみ」	100mg1瓶	56,382	ヤクハン製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)[インフリキシマブ後続2]製剤: 抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患) ○関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む) ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症 ・次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)○中等度から重度の活動期にある患者、○外瘻を有する患者 ・中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る))(バイオ後続品)
	インフリキシマブBS点滴静注用100mg 「日医工」	100mg1瓶	56,382	日医工	

区分	販売名 ( )内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注射薬	エルカルチンFF静注1000mgシリンジ	1,000mg5mL1筒	1,035	大塚製薬	レボカルニチン製剤:レボカルニチン注射液(カルニチン欠乏症)(新キット製品)
	リツキシマブBS点滴静注100mg「KHK」	100mg10mL1瓶	24,930	サンド	リツキシマブ(遺伝子組換え)[リツキシマブ後続1]製剤:抗CD20モノクローナル抗体(○CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫、○免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患、○ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎)(バイオ後続品)
	リツキシマブBS点滴静注500mg「KHK」	500mg50mL1瓶	122,143		
	アコアラン静注用1800	1,800国際単位1瓶(溶解液付)	84,861	協和発酵キリン	アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)静注用:血液凝固阻剤(先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向、アンチトロンビン低下を伴う播種性血管内凝固症候群(DIC))(再審査期間中の規格追加)
外用薬	エムラパッチ	1枚	251.60	佐藤製薬	リドカイン・プロピトカイン配合貼付剤:外用局所麻酔剤(1.皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和、2.注射針・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和)(再審査期間中の剤形追加)



## Medical News

### ●英語表記で薬袋発行 東京五輪控え国際化急ぐ (薬事日報 10月18日)

国立国際医療研究センター病院薬剤部は、オーダーリングシステムと連動した英語表記の薬袋と医薬品情報提供用紙の発行を開始した。増加する外国人患者への対応が狙い。医師が処方時に「英語表記」とコメント入力するだけで自動的に薬袋、医薬品情報提供用紙が英語で出力されるシステムを構築。英語の下には小さく日本語も併記しており、病棟スタッフが確認できるよう工夫されている。

### ●薬に千倍の成分で意識障害 調剤ミス、薬局に賠償命令 (共同通信10月31日)

適量の千倍の成分を含む飲み薬を誤って出され、意識障害を起こしたとして、東京都の男性(51)が薬局に約7100万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、東京地裁は30日、約360万円の支払いを命じた。後藤裁判長は、薬局の調剤ミスを認め「原告の精神的苦痛は大きい」と指摘した。男性は2007年3月、のどに違和感を訴え病院を受診。唾液や胃液の分泌を抑制する「硫酸アトロピン」を含む粉薬を処方された。処方箋は、1包当たりの硫酸アトロピンを0.5mgと指定したが、近くの薬局で薬剤師が単位を取り違え、0.5gとして調剤した。勤務先で服用した男性はもうろうとなり、倒れて入院。翌日まで意識が戻らなかった。

### ●薬局は全国で約59000軒 厚労省調査 (薬局新聞 11月9日)

平成28年度末現在の薬局数は58,678軒。厚労省が発表した平成28年度『衛生行政報告数』からわかった。前年度調査と比較で薬局は増加しているものの、伸び率は1%を下回っており、数字上では薬局数が頭打ちとなっていることが伺える。東京、大阪、神奈川など大都市圏では増加傾向を見せている。ただ、沖縄、山口、岐阜、香川等地方都市においては減少している。

### ●AIが服薬指導内容を推奨—薬学的推論でリスク回避 (薬事日報 11月10日)

慶應義塾大学薬学部、埼玉大学大学院理工学研究科、東日本メディコムの研究グループは、人工知能(AI)を使って薬剤師の服薬指導を支援する薬学的推論システムの共同開発を進めている。処方箋、添付文書、お薬手帳、薬歴等のデータをAIに学習させることで、副作用や併用薬など患者に伝えるべき服薬指導の着眼点を提案し、推奨される指導内容を導き出すもの。多忙な調剤現場の“うっかりミス”と薬歴の記載漏れを防ぎ、医薬品のリスクマネジメントに役立てるのが狙い。

### ●体内から信号「デジタル錠剤」～大塚製薬、世界初の承認 (朝日新聞 11月15日)

米食品医薬品局(FDA)は13日、錠剤にごく小さなセンサーを埋め込んだ「デジタル錠剤」を承認した。承認されたのは、大塚製薬が製造・販売する統合失調症などの抗精神病薬エビリファイ(一般名・アリピプラゾール)に米プロテウス・デジタル・ヘルス社が開発した約3mmのセンサーを組み込んだ錠剤と、貼り付け型の検出器。患者が飲んだ薬が胃に入ると、胃液に反応してセンサーが信号を出しスマートフォンやタブレット端末に転送する。患者の同意のもと、医師や介護者、家族らがその情報を共有できる。センサーは一定の時間がたてば排泄されるという。

### ●保湿薬の保険除外に慎重 厚労相、ヒルドイド問題(共同通信11月24日)

加藤厚生労働相は24日、健康保険が適用される保湿用塗り薬「ヒルドイド」の美容目的とみられる処方が急増している問題について、対策として保険適用の対象から外すことには慎重な姿勢を示した。厚労省は疾患に応じて1回の処方量を制限することなどを検討している。ヒルドイドを巡っては、がん患者の団体が抗がん剤や放射線治療で皮膚の乾燥やかゆみが出るため、保険適用継続を求める要望書を厚労省に提出していた。

### ●同種同効薬使用に優先順位 埼玉～新座病院 (薬事日報11月27日)

新座病院(128床)は、科学的根拠に経済性を踏まえてまとめる医薬品の使用指針「フォーミュラリー」を院内で策定し、適正使用に役立っている。同種同効薬のうち、先発品しか存在しない成分とジェネリック医薬品(GE薬)が存在する成分の有効性や安全性、経済性をきめ細かく比較して優先順位を示し、院内でGE薬の使用を推進してきた。海外で確立されたこの仕組みは、医療費の増加抑制が課題となる日本でも国家施策の観点から注目されている。

### ●患者数に応じ透析報酬下げ 厚労省、過剰な治療抑制(共同通信 12月11日)

厚生労働省は8日、腎臓病の患者に対する人工透析について、患者数や医療機器の数などが一定数を超えた場合には、2018年度に診療報酬を引き下げの方針を固めた。一部の医療機関が過剰な治療で利益を上げているとみられることから、適正化を図る狙い。同日の中央社会保険医療協議会に提案し、了承された。人工透析の患者数は約32万人で、医療費は推計で年間約1兆6千億円。平均治療歴が7年以上と長期的な通院が必要なため、医療機関は安定的な利益を得られるとされる。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

## 11～12月の「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

### ●医薬品一般●

[質問] 家族がボナロンを服用していたが、脳出血で麻痺が生じうまく飲み込めなくなったため、服用を中止した。ボナロンにはゼリータイプがあるらしいが、医師からはボナロンの副作用で顎の骨が悪くなる事も聞いている。骨が弱く圧迫骨折もしたので心配。骨にリスクのない骨粗鬆症治療薬はないですか。(男性)

[回答] ボナロンと同じ系統の薬剤で顎骨壊死という、顎の骨の異常が報告されています。特に抜歯後は、抜歯により傷ついた顎の骨が修復できず壊死してしまいます。口腔の衛生状態も原因の一つになりますので、歯磨きや含嗽薬などで口内を清潔に保つこと、定期的な歯科検診が大切です。骨にリスクのない治療薬として、ビタミンD製剤も良く使用されますが、これはカルシウムの吸収を高め、血液中のカルシウム濃度を保つ働きがあります。また、女性ホルモン剤は、骨量の減少を抑え、骨折頻度を抑制します。最近では骨密度を増やす注射薬などもよく使用されています。

[質問] 以前までレルベア100をもらっていたが、今回シムビコートに変わった。とても調子がいい。違いを教えて(男性)

[回答] 喘息治療としては、現在は吸入薬による治療が一般的です。その中でもよく使われるのが、レルベアやシムビコートのような抗炎症作用と気管支拡張作用を併せ持った吸入薬です。これらは喘息を長期間管理し、発作などの悪化を防ぎます。大きな違いは、レルベアは持続性が高く1日1回の吸入で24時間効果が持続します。シムビコートの持続時間は12時間なので1日2回の吸入が必要になります。しかしながら、シムビコートは即効性があり、通常1分で効果を発現し、軽症の発作にも有効です。粒子が非常に小さいため粉っぽさがなく、吸った感覚がないのが特徴です。

### ●安全性情報●

[質問] 芍薬甘草湯という漢方薬で血圧が上がることがありますか？いつも120だったのが、2週間で150に上がっている。(男性)

[回答] 甘草の薬効成分であるグリチルリチンは、血圧を上昇させる物質(アルドステロン)と似た構造をしているので、過剰摂取によって高血圧症、低カリウム血症、むくみ等の「偽アルドステロン症」があらわれることがあります。服用後の血圧上昇は副作用の可能性も考えられます。

[質問] プラバノール(ノルゲストレル・エチニルエストラジオール)とバイアスピリンを服用しているが、時々カバサル(カベルゴリン)が処方される。以前3つを一緒に飲んだら目がチカチカして頭痛もあった。飲み合わせが悪いのかと思って、服用時間を調整しているが、どうなのか。(女性)

[回答] これらの3剤の飲み合わせについては特に問題はなく、個々の薬剤の副作用としても報告はありません。目のチカチカは起立性低血圧や眼精疲労の可能性も考えられます。横になったり座った状態から急に立ち上がった時に立ちくらみやめまいが起こるのが起立性低血圧です。急な体位の変化で一時的に血圧が下がるために起こると言われています。症状がまた現れるようでしたら、眼科等の受診を勧めます。

[質問] 営業で車を運転する事が多いが、少し前より頸椎を痛めて通院中。最初の病院でリリカ(ブレガバリン)25mgを1日2回で2か月飲んだが、全く効かなかった。別の病院ではリリカ75mgの1日2回で薬をもらった。3日ほどで効いてきて体が楽になった。量的にはどうですか？(男性)

[回答] リリカの副作用として眠気やめまいなどが報告されています。実際にリリカ服用中の交通事故は多発しており、厚生労働省からも医療関係者へ注意喚起するよう指示がありました。患者さんによっては服用中一度でも運転中等で怖い思いをすると、服用を止めてしまう場合があるようです。そのため、少量から開始し副作用の発現の有無を見ながら増量していくことが多いようです。最初の医師は毎日の運転での眠気を心配され少ない量での治療を続けていたのだと思われます。

[質問] 子供がリレンザを処方されたが、3回目の吸入後、苦しなって肩で息をしている。喘息症状で病院を受診したいが、喘息の治療薬はリレンザと合わないのか。(女性)

[回答] リレンザには飲みあわせの悪いお薬は報告されておりません。ただ、リレンザの副作用としては、気管支が収縮したり、呼吸困難が報告されています。早めに医療機関を受診してください。

[質問] コデブロン液剤S(OTC薬)に高血圧の人は注意とあるが、どういう理由からか。(男性)

[回答] コデブロン液剤Sに含まれるdl-塩酸メチルエフェドリンは気道を広げて呼吸を楽にし、せきを鎮める働きに加え、血管を収縮させ出血を抑える作用もあります。血管が収縮する事により人によっては血圧が上昇する事があるため、高血圧と診断された方は医師、薬剤師に相談する事とされています。

### ●ドーピング●

[質問] ボラザG坐剤とヘモレックス軟膏(選手)

[回答] ボラザG坐剤は使用可能薬剤です。ただ、ヘモレックス軟膏は、ヒドロコルチゾンというステロイドを含有しており、肛門周囲への使用は問題ないのですが、直腸内挿入では、禁止物質となります。使用については他の治療が無い場合に認められますが、TUE申請が必要となります。使用に当たって医師と相談するようにして下さい。

Medical Magazines titles

今の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今の特集】

- ◇医薬ジャーナル 53巻10号  
\*抗インフルエンザ薬物療法 update ~最新の診断・治療戦略~
- ◇医薬ジャーナル 53巻11号  
\*医薬品の禁忌・適応外使用
- ◇医薬ジャーナル 53巻12号  
\*くすりの値段を考える
- ◇エキスパートナーズ 33巻10月号  
\*仕方なくない!院内誤嚥性肺炎
- ◇エキスパートナーズ 33巻11月号  
\*酵素療法
- ◇エキスパートナーズ 33巻12月号  
\*検査・治療の帰宅後注意!
- ◇きょうの健康 10月号  
\*糖尿病
- ◇きょうの健康 11月号  
\*狭心症・心筋梗塞
- ◇きょうの健康 12月号  
\*動脈硬化
- ◇月刊薬事 59巻13号  
\*これからの肺炎診療——新しいガイドラインで何が変わったのか?
- ◇月刊薬事 59巻14号 (臨増)  
\*基本が身につく・考え方がわかる エキスパートが教える薬物動態
- ◇月刊薬事 59巻15号  
\*これだけは押さえておきたい 泌尿器科の薬Up-to-Date
- ◇月刊薬事 59巻16号  
\*脂質異常症診療が変わる——新GLの特徴から新薬の使い方まで
- ◇産科と婦人科 84巻10号  
\*次世代への予防医療 DOHaDを活かす
- ◇産科と婦人科 84巻11号  
\*子宮腺筋症と稀少部位子宮内膜症の最新の取り扱い
- ◇産科と婦人科 84巻12号  
\*HRTガイドライン2017年度版 改訂の要点と最近の話題
- ◇総合診療 27巻10号  
\*めまいがするんです!
- ◇総合診療 27巻11号  
\*今そこにある、ファミリー・バイオレンス Violence and Health
- ◇総合診療 27巻12号  
\*小児診療“苦手”克服!! 劇的Before & After
- ◇調剤と情報 23巻14号  
\*慢性心不全の患者モニタリング
- ◇調剤と情報 23巻15号  
\*重症化させない 低血糖対策と血糖管理のコツ
- ◇調剤と情報 23巻16号  
\*地域医療は連携から協働へ

- ◇治療 99巻10号  
\*救急×家庭医療~よりよい連携を目指して
- ◇治療 99巻11号  
\*禁煙 up to date ~新型タバコなど喫煙対策の最新情報
- ◇治療 99巻12号  
\*患者安全~医療安全から患者安全へ
- ◇日経ドラッグインフォメーション 239号  
\*経口ステロイドに強くなる
- ◇日経ドラッグインフォメーション 240号  
\*業務改善 待ったなし
- ◇日経ドラッグインフォメーション 241号  
\*吸入薬まるわかり
- ◇日経ドラッグインフォメーション 242号  
\*便秘のお悩み 一挙解決
- ◇日経メディカル 598号  
\*検査の賢い減らし方
- ◇日経メディカル 599号  
\*あなたが救う敗血症
- ◇日経メディカル 600号  
\*かかりつけ医の未来
- ◇日経メディカル 601号  
\*いつもと違う! 今冬のインフルエンザ
- ◇日本医事新報 4880号  
\*知っておきたい「子どもの脱水と輸液管理」
- ◇薬局 68巻11号  
\*プロバイオティクス~小児領域を中心とした基礎と実践のポイント
- ◇薬局 68巻12号  
\*術前休止薬~各診療科におけるスタンダードと例外
- ◇薬局 68巻12号  
\*透析患者の感染症~適切に対応できるチカラを身につける

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶妊娠中の抗菌薬の使用は安全といえるのか?  
薬局68 (11) p.179
- ▶レスキューの使い方、大丈夫?  
薬局68 (12) p.148
- ▶CKD患者の尿酸値をマネジメントせよ!  
薬局68 (13) p.149
- ▶適応外使用の処方せんの読み方 (88) せん妄  
月刊薬事59 (13) p.93
- ▶適応外使用の処方せんの読み方 (89) 食道アカラシア  
月刊薬事59 (15) p.101
- ▶適応外使用の処方せんの読み方 (90) 肺胞蛋白症  
月刊薬事59 (16) p.97
- ▶知って納得!小児科医の処方意図 熱性けいれんでのジアゼパムの使用方法は?  
調剤と情報23 (15) p. 91

## 今月の特集・論文

- ▶ 知って納得！小児科医の処方意図 鉄剤の投与量は  
どうやって決められる？

調剤と情報23 (16) p. 75

- ▶ 尿管結石の患者に食事からカルシウム補給の指示？  
調剤と情報23 (16) p. 97

- ▶ 腎機能が低い高血圧患者に禁忌のセララを追加する目的  
日経ドラッグインフォメーション 239号p. PE021

- ▶ 潰瘍性大腸炎患者に緩下薬をあえて追加する理由  
日経ドラッグインフォメーション 240号p. PE021

- ▶ カルタンをリオナとキックリンに切り替えた理由  
日経ドラッグインフォメーション 241号p. PE021

- ▶ 糖尿病治療薬の腎保護効果  
日本医事新報 (4884) p.58

### ■新薬■

- ▶ 注目の新薬情報 (21) インチュニブ錠  
医薬ジャーナル 53巻10号p.160

- ▶ 注目の新薬情報 (22) ニンラーロカプセル  
医薬ジャーナル 53巻11号p.167

- ▶ 注目の新薬情報 (23) デュオドーパ配合経腸用液  
医薬ジャーナル 53巻12号p.139

- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [9] アメナリーフ錠  
(アメナメビル)  
月刊薬事59 (13) p. 99

- ▶ " [10] シグニフォー LAR筋注用キット (パシ  
レオチドパモ酸塩徐放性製剤)  
月刊薬事59 (15) p.91

- ▶ " [11] オルミエント錠 (バリシチニブ)  
月刊薬事59 (16) p. 91

### ■安全性情報■

- ▶ 添付文書プラスアルファの情報使いこなし術 副作  
用救済給付の情報を活用  
調剤と情報 23巻14号p.63

- ▶ " 薬・食品によるカリウムへの影響に注意！  
調剤と情報 23巻15号p.71

- ▶ " 添付文書の改訂はその内容と改訂根拠を確認  
調剤と情報 23巻16号p.65

- ▶ 特定機能病院における承認要件見直しへの対応  
医薬ジャーナル 53巻10号p.117

- ▶ 中小病院における薬剤関連インシデント減少への取  
り組み  
医薬ジャーナル 53巻11号p.135

- ▶ 副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を  
読み解く (66)

1. 入院患者における抗菌薬の使用と有害事象の関係
2. タモキシフェンによる副作用とアドヒアランスの関係
3. プロトンポンプ阻害薬の使用により死亡リスクが上昇
4. 高用量のメトホルミンの併用でロスバスタチンの血  
漿中濃度が軽度上昇
5. 妊娠中の抗うつ薬の使用と出生時のAD/HDのリスク  
との関係

6. 腎機能に応じたNOACsの減量の実態と有害事象や治  
療効果との関係  
医薬ジャーナル 53巻10号p.152

- ▶ 副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を  
読み解く (67)

1. カナグリフロジンで下肢切断のリスクが上昇

2. IgA腎症にメチルプレドニゾロンを投与した臨床試験  
が重篤な感染症などのため早期中止

3. プロトンポンプ阻害薬の長期使用は認知機能に影響  
を及ぼさない

4. 妊娠中の抗うつ薬の使用で出生児の自閉症スペクト  
ラム障害のリスクが上昇

5. 妊娠中のオピオイドと向精神薬の併用で新生児薬物  
離脱症候群のリスク上昇

6. エキセメスタンの薬物動態に及ぼすOATP1B1遺伝子  
多型の影響

- ▶ 注目論文を読み解く (68)

1. 免疫チェックポイント阻害薬による神経学的合併症

2. ペニシリンアレルギーを申告する患児の多くは真の  
ペニシリンアレルギーではない

3. リファンピシン併用でセレキシパグ活性代謝物の血  
漿中濃度が顕著に低下

4. プロトンポンプ阻害薬による遅延型過敏反応

5. スタチンによる有害反応後の投与中止で心血管イベ  
ント等のリスクが上昇

6. エポロクマブは認知機能に影響を及ぼさない  
医薬ジャーナル 53巻12号p.130

### ■産科・婦人科■

- ▶ 産婦人科からニフェジピン徐放錠が処方…妊娠高血  
圧？

調剤と情報23 (15) p. 117

- ▶ 解決！妊婦の疑問・授乳婦の不安～ワクチン

調剤と情報23 (14) p. 94

- ▶ 解決！妊婦の疑問・授乳婦の不安～抗アレルギー薬・  
授乳婦

調剤と情報23 (15) p. 100

- ▶ 解決！妊婦の疑問・授乳婦の不安～抗アレルギー薬・  
妊婦

調剤と情報23 (16) p. 82

### ■服薬指導■

- ▶ 症例に学ぶ 服薬指導のコツ (CACE1～5)

日経ドラッグインフォメーション 239号p. PE007

### ■その他■

- ▶ 医薬品の禁忌・適応外使用～京都大学医学部付属病  
院における対応

医薬ジャーナル 53巻11号 p.117

- ▶ 医薬品の禁忌・適応外使用～岐阜大学医学部付属病  
院における対応

医薬ジャーナル 53巻11号 p.125

# 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

## 鼻出血への処方が投与中の抗凝固薬と原因疾患に与える影響は？

日本医事新報 4878号

鼻出血等に処方するトラネキサム酸の添付文書には「血栓症が現れるおそれのある患者には慎重に投与すること」とあります。しかし、実際にはその危険性は低いと思えます。血栓を起こしやすい出産の際、トラネキサム酸を使った群 (n=256) と使わなかった群 (n=1846) で肺塞栓・深部静脈血栓症の発症率に有意な差はみられませんでしたが、多施設共同の無作為化比較試験では外傷患者にトラネキサム酸を投与することにより死亡率が有意に減少しましたが、トラネキサム酸を使った群 (n=1万60) と使わなかった群 (n=1万67) とで血栓症の発症率に差はみられませんでしたが、また、カルバゾクロムは細血管に作用し、血管透過性亢進を抑制し、血管抵抗値を増強します。血液凝固・線溶系に影響を与えることなく出血時間を短縮し、止血作用を示します。血栓を形成することはありません。

東北労災病院耳鼻咽喉科  
野村 和弘

## レスピラトリーキノロンの意味は？

日本医事新報 4877号

もともと、キノロン系薬は大腸菌などグラム陰性菌に対する活性を有し、グラム陽性菌には、抗菌活性をほとんど持たなかった系統の抗菌薬でした。それがノルフロキサシン (バクシダール®) 以降、グラム陰性菌の緑膿菌にまで抗菌活性が広がりました。(ニューキノロン系薬) 「レスピラトリーキノロン」は、それまで不十分であった肺炎球菌への抗菌活性と肺への組織移行を強化して、むしろ肺炎をはじめとする呼吸器感染症への使用を念頭に、さらに開発されてきたニューキノロン系薬を指します。シタフロキサシン (グレースビット®), ガレノキサシン (ジェニナック®) などがあります。レボフロキサシン (クラビット®) は、高用量で肺炎での優れた臨床効果が期待でき、レスピラトリーキノロンと考えてよいとされています。しかし、その濫用は耐性菌を生じることとなり、また、多くの抗酸菌にも活性があるため、結核などの診断の遅れを生じること懸念されています。

東北医科薬科大学医学部  
関 雅文

## HRTの継続期間と中止方法

産科と婦人科 12月号

ホルモン補充療法 (HRT) を更年期障害や骨粗鬆症の治療薬として使用する場合、投与期間について明確に規定しているものはない。5年という数字については、浸潤性乳がん発症リスクが先のWHI研究中間報告のCEE/MPA群において5年間で優位に増加したことと、予防を期待した心筋梗塞発症が予想に反して増加したという結果を根拠にしていると思われるが、投与5年を過ぎたらエビデンスを尊重し、増える可能性のある乳癌に注意すべきという意味であり、それを怠らなければHRTの継続を否定するものではない。HRTについては、長期の継続の間には投与方法を経皮にしたり、低用量にすることで有害事象のリスクを減らせる可能性が報告されてきており、参考としたい。またHRTの中止方法には漸減法、中断法があるが、どちらかに著しいアドバンテージがあるわけではなく、これも個々の対応が必要とされる

弘前大学大学院保健学科研究科  
樋口 毅

## 患者が望む医薬品の適応外・禁忌での使用

医薬ジャーナル 12月号

適応外・禁忌の医薬品の扱いについて、これまで各医療機関や各診療科任せで曖昧だったものが、特定機能病院の集中立入検査を経て、承認要件の見直しでも明確化された。特定機能病院においては、医薬品安全管理責任者を配置することとなり、適応外・禁忌の医薬品の処方がなされた場合には、薬剤師が可能な範囲で把握し、必要に応じて処方医に必要性やリスクの検討を行ったかどうかや処方の妥当性を確認し、指導する手順を明確化する事となった。さらに、未承認の医薬品を使用する場合には実施の適否を確認する部門を設置し、リスクに応じて必要な確認を行う、また職員が遵守する事項を定めた規定を作成し、病院長はその状況を各部門に確認させなければならないことになった。適応外・禁忌の医薬品を使用する必要性が生じた場合には、その理由やリスクなどについて、医師はいかに患者へ分かりやすく説明するかが問われている。

認定NPO法人ささえあい医療人権センター-COML  
山口 育子

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は県薬に見本があります。

## 【日薬幹旋図書】残薬対策ハンドブック

### — 実際に残薬を減らした16のアプローチ —

【監修】秋下 雅弘 【発行】じほう 【発行日】2017年9月

【版型/頁】A5判/約128頁 【定価】2,592円(税込)【幹旋価格】2,300円(税込)

残薬の問題が報道などを通じて国民にも広く知られるようになった今、その解決に向けて薬剤師・薬局への期待はますます高まっている。編著者の篠原氏はオリジナルのチェックシートを作成・活用することで、自身の薬局を利用する患者の残薬を大幅に削減することに成功。チェックシートの活用事例を通じて、残薬を減らすために必要な視点をわかりやすく解説。

## ★【日薬幹旋図書】続 処方せん・店頭会話からの薬剤師の臨床判断

【編著】堀 美智子 【発行】じほう 【発行日】2017年9月

【版型/頁】A5判/344頁 【定価】2,592円(税込)【幹旋価格】2,300円(税込)

さまざまな情報を総合的に分析し、適切な行動を選択する力が身につく好評書『処方せん・店頭会話からの 薬剤師の臨床判断』の続編。前作同様、薬局店頭でよく遭遇する事例を取り上げ、処方せんや患者との会話、患者情報から薬剤師の視点で考えるプロセスを解説。服薬指導や疑義照会など日々の業務での悩みを解消する実践書として、また、自施設での研修用テキストとして活用できる。

## 予防接種の現場で困らない まるわかりワクチンQ&A 2版

【編著】中野 貴司 【発行】日本医事新報社 【発行日】2017年12月

【版型/頁】A5判/464頁 【定価】5,184円(税込)

初版刊行からこの3年の変化を踏まえ、全面改訂。新たに誤接種対策の章も加えた。また、2017年に新たに本邦で患者が発生したダニ媒介性脳炎や、デング熱についても記載。規定も多いものの、なかなかガイドライン通りにいかない予防接種。現場のさまざまな疑問に答えるべく、130のQuestionを収載しました。最近の予防接種に関する推移をこの1冊で整理できる。小児のワクチンはもちろん、成人のワクチン、またトラベラーズワクチンについても詳説。

## 業務の流れに合わせた 薬局実務実習ハンドブック

### — 指導薬剤師のための必携書 —

【編集】倉田 なおみ 【発行】じほう 【発行日】2017年9月

【版型/頁】B5判/200頁 【定価】3,456円(税込)

全国で薬局チェーンを展開する9社が集結し、充実した薬局実務実習にするためのノウハウを凝縮した薬局実務実習指導薬剤師のための必携書。新コアカリ対応の4段階ルーブリック(評価)や各SBOsへの指導のポイントを例示し、標準的な薬局実務実習と実習生に対する適正な評価に活用できる。オリジナルの4段階ルーブリックは、学習成果基盤型教育(OBE)に則しており、実習生の到達度を測るのにわかりやすく明確な指標となるようにまとめた。

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は県薬に見本があります。

## 患者さんにみせて伝える吸入・点鼻・自己注射薬

【監修】川合 眞一 【発行】南江堂 【発行日】2017年10月

【版型/頁】A4判/170頁 【定価】5,184円(税込)

吸入・点鼻・自己注射薬におけるデバイス薬剤に関する服薬指導箋や各領域の標準的治療をまとめた実用書。特徴は、各デバイス薬剤の服薬手順を共通化し、一目で類薬の手順もつかめる点にある。また、服薬手順書も掲載し、詳細な服薬手順も確認できる。喘息、COPD、インフルエンザ、花粉症、糖尿病、リウマチの標準的治療法も解説。デバイス薬剤の服薬指導に欠かせない一冊。

## 薬剤師が知っておきたいチーム医療実践のための感染症検査

【監修】大曲 貴夫 【発行】南山堂 【発行日】2017年11月

【版型/頁】B5判/278頁 【定価】3,888円(税込)

感染症の「検査の特性」と「結果の解釈」を理解して、抗菌薬の適正使用を実践するために必携の書！感染症診療では、抗菌薬の適正使用を実践する、すなわち、毒性と耐性化のリスクを最小限にして最大の効果をあげることが求められる。その鍵を握る一つが検査であり、抗菌薬適正使用のためにいかに検査を用いて薬学的アプローチを実践すればよいかについて解説。

## 糖尿病の薬学管理必携

### 糖尿病薬物療法認定薬剤師ガイドブック

【編著】清野 裕、杉山 雄一 他 【発行】じほう 【発行日】2017年11月

【版型/頁】B5判/412頁 【定価】4,860円(税込)

増加を続ける日本の糖尿病患者には、専門医だけでなく多職種の関与が求められており、特に薬物治療の分野での薬剤師の役割が重要となっている。糖尿病患者の適切な療養を薬学的視点から指導・支援するための総合的テキストで、患者の病態や心理を理解したうえで、薬剤師として適切な薬学管理を行う能力を高めるのに役立つ。2018年スタートの日本くすりと糖尿病学会認定「糖尿病薬物療法認定薬剤師」のガイドブックとして、認定試験のSBOsを網羅した内容となっており、認定を目指す方に必携の書籍。

## 現場の困った！をエキスパートが解決 こどもと薬のQ&A

【監修】石川 洋一 【発行】じほう 【発行日】2017年9月

【版型/頁】A5判/216頁 【定価】2,700円(税込)

小児薬物療法研究会メーリングリストに寄せられた疑問・質問を厳選し、回答はエビデンスを再確認して収載。また、質問の背景となる疾病などは解説やコラムを加え、なじみのない問題でもわかりやすくなっている。このほかメーリングリストでは寄せられないような知っておいて欲しい知識については編集委員でQを作成し、回答は実例を集めて紹介、解説。

## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)医薬品 PL センター窓口業務 (7)ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)  
(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」  
平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室・ドーピング防止ホットラインの電話は098-963-8935になります。  
お気軽にご利用ください。

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の見覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937  
沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

\* \* 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) \* \*

#### ●急性および慢性坐骨神経痛に対する Pregabalin の試験：無作為化二重盲検試験 (N. Engl. J. Med. 376 (12) 1111- (2017. 3. 23))

坐骨神経痛患者を対象に、最長8週間、209例を無作為化し、108例を pregabalin 群に(2例は不適格)、101例をプラセボ群に割り付けた。開始用量は150mg/日とし、最大600mg/日まで調整した。主要評価項目は、8週の時点で10ポイントスケールで評価した下肢痛強度スコア(0は痛みなし、10は想像しうる最大の痛みを示す)とし、主要評価項目の第2の時点とした52週の時点でも評価した。副次的評価項目は、1年の試験期間中に、事前に設定した時点で評価した障害の程度、腰痛の強度、QOL指標などとした。8週の時点で、未補正下肢痛強度スコアの平均は、pregabalin群3.7、プラセボ群3.1であった。52週の時点で、未補正下肢痛強度スコアの平均は、pregabalin群3.4、プラセボ群3.0であった。8週、52週の両時点で、いずれの副次的評価項目にも群間で有意差は認められなかった。結果：8週間の pregabalin 投与は、プラセボと比較して、坐骨神経痛に関連する下肢痛の強度を有意には低下させず、その他の評価項目にも有意な改善はみられなかった。有害事象(めまい等)の発現率は pregabalin 群のほうがプラセボ群より有意に高かった。

#### ●自己免疫性炎症疾患を有する妊婦の免疫抑制剤使用に関連した重篤な感染症リスク：観察コホート研究 (BMJ (8098) 480- (2017. 3. 25))

米国の公的(Medicaid, 2001-2010年)または民間(Optum Clinformatics, 2004-2015年)健康保険プログラムを用いた観察コホート研究を行った。関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強直性脊椎炎、乾癬性関節炎または炎症性腸疾患に対して免疫抑制剤を投与された妊娠女性4961例を対象とした。妊娠中の初回処方について、曝露をsteroid、非生物学的薬剤またはTNF阻害薬に分類した。TNF阻害薬については全身性エリテマトーデスを除外した。主要転帰は、細菌感染または日和見感染による入院と定義した妊娠中の重篤感染の発生とした。結果、免疫抑制剤を投与された妊娠女性4961例のうち71例に重篤感染が発現した。重篤感染/100患者年当たりの粗発生率は、steroid使用患者2598例、非生物学的薬剤使用者1587例およびTNF阻害薬使用者776例において、それぞれ3.4、2.3および1.5であった。結論：steroids、非生物学的薬剤およびTNF阻害薬を使用中の全身性炎症性疾患の妊娠女性における重篤感染のリスクは有意差はみられなかった。しかしながら、高用量steroidは、妊娠中の重篤感染のリスク増加に関連していた。

#### ●Benzodiazepine の使用開始と用量漸増：入院患者の転倒のリスク因子；レトロスペクティブ ケースコントロール研究 (Ann. Pharmacother. 51(4)281- (2017. 4) )

BZDを処方された45歳以上の入院患者を対象にレトロスペクティブ ケースコントロール研究を実施した。非転倒患者は転倒患者に対し3:1の比率で集められた。入院前のBZDレジメンと転倒指標日から48時間前のレジメンを比較した。転倒患者の指標日としてその転倒した日を、非転倒患者の指標日としては転倒患者の転倒までの時間の中央値を用いた。その結果、本研究には132例の患者が組み入れられ、そのうち転倒患者は33例、非転倒患者は99例であった。人口統計学的特性、ベースラインでの疾病および病歴に差異はみられなかった。転倒患者の入院期間の中央値は非転倒患者に比べ有意に長かった。さらに転倒患者は非転倒患者に比べ、BZDレジメンの治療開始あるいは増量がより多く実施されていた。結論：BZDの処方における治療開始や増量は転倒リスクを上昇させる。病院においては入院患者の転倒リスクを減じるため、注意深くBZDsを使用すべきである。

## 薬連だより

国会レポート  
来年度政府予算編成に向けて

自由民主党組織運動本部本部長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井 もとゆき

日本列島を襲った台風の影響で、週末は大荒れの日が続いていますが、11月最初の3連休は久しぶりに穏やかな天候に恵まれ、紅葉の見頃を迎えた行楽地は、鮮やかな彩りを楽しむ人々で賑わっていました。プロ野球日本シリーズは、パリーグ王者のソフトバンクがセリーグ3位から勝ち上がったDeNAを下し、8回目の日本一に輝きました。また、海の向こう米大リーグワールドシリーズは、アリーグ王者のアストロズが制覇し、ダルビッシュ投手、前田投手在籍のドジャースは1歩及びませんでした。今シーズンオフには、日本ハムの大谷選手の大リーグ移籍も囁かれていますし、早実高校の清宮選手をはじめ、多くの有望選手がプロ野球の道に歩みを進めます。各球団とも戦力を整え、来シーズンもエキサイティングな試合を見せてくれるものと期待しています。

荒天の10月22日に投開票が行われた衆議院総選挙は、自民・公明の連立与党が3分の2を超える議席を確保し、引き続き安定した政権運営を担うこととなりました。ご支援頂いた皆様には心より御礼申し上げます。

さて、年末の来年度政府予算編成に向けて、政府内での議論が活発になっています。来年4月に報酬改定を控える医療・介護の分野では、財務省が10月25日の財政制度審議会の分科会に報酬改定に関する改革案を提示しました。

改革案では診療報酬について、毎年増加する医療費を高齢化の要因による伸びの範囲に収めるためには、2%半ば以上のマイナス改

定が必要となるとし、更に、診療報酬本体の水準は賃金や物価の水準と比べ高水準となっており、国民負担の抑制や制度の持続可能性の観点から是正の必要があるとして、診療報酬本体のマイナス改定も求めています。調剤報酬に関しては、「かかりつけ薬剤師・薬局」のビジョンに向けて、地域においてかかりつけ機能を担っている薬局は適正に評価しつつ、機能していない薬局の報酬水準は適正化し、大手調剤グループに所属する薬局や、処方せん集中率の高い薬局には、経営環境・収益性の観点から、より低コストのサービスを求めていくべきとしています。

薬価制度については、昨年末に示された「薬価制度の抜本改革の基本方針」に則り、新薬の効能効果の追加等により保険適用時の見込みより販売額が増加した場合の薬価引下げの仕組みの導入、現行の新薬創出等加算制度は廃止又は適用対象の絞り込み、及び費用対効果評価の義務付けなどを求めています。

また、10月26日の経済財政諮問会議に加藤厚生労働大臣が提示した資料では、「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」に基づき改革を具体化することや調剤報酬の抜本的な見直しを行うことなどが示されています。

医療費の増大に対して財政面からは厳しい考え方が示されていますが、医療の質の低下を招いたり、薬剤師・薬局の適正な評価が損なわれたりすることのないよう、今回の衆議院選挙で見事再選された、自民党薬剤師議員の松本純先生、渡嘉敷奈緒美先生のお二人とも力を合わせて取り組んで参りたいと思います。



転載記事

論壇

皆さんは薬のことや健康について、気軽に相談できる薬剤師をお持ちですか？

近年、医薬分業が進んで、病院やクリニックを受診すると、その近くの薬局で薬をもらうことが当たり前のようになってきました。高齢化が進み、多くの病気を同時に抱え、複数の医療



上原 卓朗

機関にかかられる方も多くいらつしやいます。その都度、別々の薬局で薬をもらっている方も多いのではないのでしょうか。薬には「相互作用」といって、組み合わせによって効果が強くなったり、弱くなったり、さらには思わぬ有害事象が起る可能性も少なくありません。また、

「重複投与」といって、効果が似た薬が別々に処方されてしまひ、余分に薬を服用してしまうこともあります。他にも自宅に多くの薬が残っているにもかかわらず、整理できずいたり、薬を服用する上ではさまざまな問題が生じることがあります。

そこで、薬を安全・安心に使用していただくためにも「薬の一元管理」が必要となつてきます。その役割を果たすのが、かかりつけ薬剤師です。薬をもらう薬局を1カ所に決めることで、複数の処方に対してまとめて管理してくれるので、飲み合わせの確認や余分な薬を取り除くことができます。また、継続的に

同じ薬局を利用することで、飲み残した薬の整理なども気軽に相談できるようになります。処方箋を持っていないと薬局に入れないと思っている方がいらつしやるかもしれません。そういうことはありません。薬剤師は薬のことはもちろん、健康に関する知識や家庭の環境衛

生（せい）の知識を持ち合わせています。かつての街中の薬局をイメージしていただければ、わかりやすいかもしれません。近所の人（ひと）が気軽に訪れ、健康について相談したり、家庭の害虫問題や子供の理科の宿題にも答えたりと「街の科学者」として役割を担っていました。

かかりつけ薬剤師重要

「薬と健康の週間」20日講演

もし、複数の薬局を利用されているのであれば、普段から利用する薬局を「かかりつけ薬局」として一つ決めておきましょう。そして、薬や健康に関するなんでも相談できる「かかりつけ薬剤師」を探しましょう。すでに「かかりつけ薬局・薬剤師」が決まっているのであれば、あなたの健康サポーターとして今後も活用ください。

毎年、10月17日から21日まで「薬と健康の週間」となっています。20日（金）午後6時から、パレット市民劇場において、薬剤師であり「笑いとしあわせ」をお届けする「笑配人」として活動している中井宏次先生の講演会が開催されます。健康に役立つお話が聞けると思っています。皆さまのご来場お待ちしております。（沖縄市、県薬剤師会理事、34歳）

転載記事

平成29年10月22日(日) 八重山日報



笑いが絶えない講演会会場—20日、パレット劇場

同フェアは、医薬品と薬剤師などの役割を広く国民に知ってもらったため、全国一斉に行われている「薬と健康の週間」の一環。中井さんは「毎日笑うことは健康を保つ上で大切であり、心身を健康にしてくれる」と述べた。その上で「朝起きたら毎日30秒笑って。夜、寝る前に30秒、今日一日を整理してください」と締めくくった。約200人の観客と会場の出口でハイタッチして終了した。主催者を代表して砂川靖保健医療部長は「病氣治療や予防の目的で使われる医薬品が、正しく使わなければ副作用を起すことがある。薬の相談役として薬局・薬剤師の活用が大切」と呼び掛けた。

# 笑って健康長寿に

## 中井さん講演「朝夜30秒づつ」

【那覇】県、那覇市、沖縄県薬剤師協会（亀谷浩昌会長）は、17日から23日までの「薬と健康の週間」に合わせ20日午後、那覇市久茂地にあるパレット市民劇場で「くすりと健康フェア」を開催した。NPO法人健康笑い塾主宰の中井宏次さんが「笑いは健康長寿の常備薬」と題し講演。「寿命は年々伸びているが、100歳以上の人口の約90%が寝たきりでは健康とは言えない。健康長寿で暮らすには笑いが大切」と強調した。

### 健康長寿「笑い」テーマに 20日 那覇で講演会

「笑いは健康長寿の常備薬～人生は楽しく・美しく～」と題した講演会（主催・県、那覇市、県薬剤師会）が20日、那覇市のパレット市民劇場で開催される。講師は日本笑い学会理事で薬剤師の中井宏次さん。時間は午後7～8時半。入場無料。

「医笑同源」をテーマに全国各地で講演活動を続けている中井さんが、笑いと健康長寿の関係について講話する。また、健康と薬の無料相談会も午後4時半か

ら、同劇場ロビーである。

県薬剤師会の前濱朋子副会長らが6日、沖縄タイムス社を訪れ、「講演と相談会を通して、たくさんの方の元気をもらってほしい」と来場を呼び掛けた。

問い合わせは県薬剤師会、電話098(963)8930。



講演会をPRする県薬剤師会の前濱朋子副会長（右）と吉田典子さん

平成29年10月7日(土) 琉球新報

平成29年10月8日(日) 沖縄タイムス

### 「くすりと健康」講演会 20日、パレット市民劇場

毎年10月17日から23日の「くすりと健康の週間」の一環で、県薬剤師会は「県民公開講演会」を20日午後7時から、那覇市久茂地のパレット市民劇場で開く。入場無料。手話通訳もある。

薬剤師でNPO法人健康笑い塾を主宰する中井宏次さんを招き、「笑いは健康長寿の常備薬」と題した講演会を予定。講演前に薬剤師による医薬品やサブリ



メントなどの薬と健康に関する無料相談会も開催する。

6日、那覇市天久の琉球新報社を訪れた県薬剤師会の前濱朋子副会長—写真右—は「多くの人に、薬だけでなく健康相談もできる薬剤師への理解が広まってほしい」と語った。

## 年間目次

## おきなわ薬剤師会報 平成29年もくじ

通巻286号～290号

		No.(号)	発行月号	頁
<b>表紙掲載会員作品</b>				
写真 「Ritter Apotheke」	前濱朋子	286	1・2	表紙
写真 「スペインの薬局（車窓から）」	津波古尚恵	287	3・4	表紙
写真 「フランス・ノルマンディー地方の薬局」		288	5・6・7	表紙
写真 「ニューカレドニア ヌメアの薬局」	吉富弓江	289	8・9・10	表紙
写真 「ドイツとの国境の町 スイス シャフハウゼンの薬局」	前濱朋子	290	11・12	表紙
<b>年頭挨拶</b>				
新年のご挨拶	亀谷浩昌	286	1・2	2
新年ご挨拶	山本信夫	286	1・2	4
新年のあいさつ	砂川 靖	286	1・2	6
年頭にあって	藤井基之	286	1・2	7
新年ご挨拶	松本 純	286	1・2	8
新年の挨拶	とかしきなおみ	286	1・2	9
年頭ご挨拶	國場幸之助	286	1・2	10
祝辞	宮崎政久	286	1・2	11
新年のご挨拶	比嘉奈津美	286	1・2	12
年頭ご挨拶	西銘恒三郎	286	1・2	14
<b>祝賀会</b>				
平成28年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催	大城喜仁	286	1・2	16
・・・受賞者プロフィール		286	1・2	18
・・・祝賀会スナップ写真		286	1・2	23
<b>表彰</b>				
学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰（村田美智代先生）		287	3・4	7
沖縄県学校保健功労者表彰（嘉数和子先生・高橋優子先生・平良綾子先生）		287	3・4	7
沖縄県薬物乱用防止協会感謝状受賞（前濱朋子先生、笠原大吾先生、知名博樹先生）		288	5・6・7	36
秋の叙勲 瑞宝双光章（吉田久子先生）		290	11・12	2
学校保健および学校安全文部科学大臣表彰（神山康喜先生）		290	11・12	2
平成29年度薬事功労者厚生労働大臣表彰（亀谷浩昌先生）		290	11・12	3
平成30年度沖縄県薬事功労者知事表彰（宮良善孝先生、姫野耕一先生、親泊康行先生）		290	11・12	4
第49回沖縄県公衆衛生大会知事表彰（知名繁夫先生）、大会長表彰（美里千賀子先生）		290	11・12	5
<b>巻頭言</b>				
宮古地区薬剤師会の事業と連携	下地 仁	287	3・4	2

**沖縄学術大会**

第31回沖縄県薬剤師会学術大会報告	外間惟夫	290	11・12	6
第31回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム		290	11・12	8
第31回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会	大城喜仁	290	11・12	14
第31回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告	姫野耕一・宮城幸枝	290	11・12	17
第31回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞講演要旨		290	11・12	18

**災害対策**

災害時における薬剤師の医療救護活動に関する協定締結式	山城英人	287	3・4	4
----------------------------	------	-----	-----	---

**寄付**

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式	大城喜仁	287	3・4	5
戸田澄之氏（会員）が本会へ寄付されました		287	3・4	6

**寄贈**

会員の廣川直子氏が日本薬局方公布100周年記念郵便切手記念パンフレットを寄贈		288	5・6・7	5
--	--	-----	-------	---

**薬と健康の週間**

くすりと健康フェア	前濱朋子	290	11・12	20
くすりと健康フェア 会長あいさつ	亀谷浩昌	290	11・12	23
薬祖祭（波之上宮本殿）	大城喜仁	290	11・12	24
街頭キャンペーン		290	11・12	25

**署名活動**

北部基幹病院創設を求める署名協力への御礼	亀谷浩昌	287	3・4	6
----------------------	------	-----	-----	---

**九山薬学大会**

第78回九州山口薬学大会参加報告	川上雄一朗	290	11・12	58
------------------	-------	-----	-------	----

**日薬学術大会**

第50回日本薬剤師会学術大会報告	吉富弓江	290	11・12	62
------------------	------	-----	-------	----

**実務実習**

新たなワークショップ説明会沖縄開催	我喜屋美香	287	3・4	26
平成29年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告	我喜屋美香	289	8・9・10	46
実務実習薬学生 平成29年度第Ⅰ期生からの体験記・感想		289	8・9・10	47
津波古光・小橋川花・國吉大輝・稲福千子・新里征四郎・小槻真子 伊波礼菜・亀川美鈴・岸本卓・小宮雛子・金城奈美乃・知念沙綾 嘉手苺美聡・巨勢紀羽・内山さくら・大城心奏・平良佳穂				
平成29年度第Ⅱ期薬学生実務実習報告	佐藤雅美	290	11・12	46
実務実習薬学生 平成29年度第Ⅱ期生からの体験記・感想		290	11・12	47

**医療安全**

平成28年度医療安全講習会報告	名嘉紀勝	287	3・4	24
-----------------	------	-----	-----	----

**総会**

第75回臨時総会開催	大城喜仁	287	3・4	8
平成29年度事業計画および平成29年度収支予算		287	3・4	10
第75回臨時総会における議案事項の資料		287	3・4	21
第76回通常総会会長挨拶	亀谷浩昌	289	8・9・10	1
新理事・新監事紹介		289	8・9・10	2
第76回通常総会開催	大城喜仁	289	8・9・10	5
第76回通常総会懇親会	大城喜仁	289	8・9・10	9
平成28年度会員・薬局等の業態現況報告		289	8・9・10	10
平成28年度事業経過報告および平成28年度決算		289	8・9・10	11
議題審議及び質疑応答の概要		289	8・9・10	29

**学術研修**

ジェネリック医薬品の適正使用および評価に関する研修会報告	宮城幸枝	286	1・2	26
平成29年度新任・新人薬剤師研修会報告	名嘉紀勝	289	8・9・10	44
第3回臨床薬理学研修会報告	潮平英郎	290	11・12	44

**青年部会**

青年薬剤師部会主催在沖米軍基地内海軍病院視察ツアー報告	長嶺勇作・加藤拓哉	288	5・6・7	22
-----------------------------	-----------	-----	-------	----

**卸部会**

平成29年度日本医薬品卸勤務薬剤師会 創立40周年記念講演会に参加して	吉富弓江	288	5・6・7	24
-------------------------------------	------	-----	-------	----

**代議員選挙**

2017・2018年度代議員の選挙結果の告示	亀谷浩昌	287	3・4	62
------------------------	------	-----	-----	----

**投稿**

すこやか薬局主催 すこやか薬局ベビーフェスタ2017報告	安次富大	289	8・9・10	100
------------------------------	------	-----	--------	-----

**地域保健**

平成28年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会開催	村田美智子	287	3・4	27
平成28年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会に参加して	伊集智英	287	3・4	28
平成28年度薬剤師認知症対応力向上研修について	玉城千春	287	3・4	30
第212回全国禁煙アドバイザー育成講習会に参加して	勝連貴子	288	5・6・7	4
患者のための薬局ビジョン推進事業		288	5・6・7	6
～薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業を終えて～	笠原大吾			
なごみ会主催 第7回県民健康フェア2017報告		289	8・9・10	58
笠原大吾・大城賢治・伊佐要一・高田禎子・金城礼尽				

**啓発・普及活動**

沖縄テレビ放送公開収録シンポジウムに我喜屋常務理事が出演！	大城喜仁	286	1・2	28
第3回グッジョブ☆にしはら わくわくワーク参加報告	金城春樹	286	1・2	30
南風原町立南星中学校における学習支援事業「職業人講話」実施報告	金城尚子	286	1・2	32
むつこ先生 ありがとう！八重瀬町立東風平小学校における学習支援 「職業インタビュー」	嘉数いずみ・喜久里里奈	287	3・4	46
沖縄県老人クラブ連合会 健康づくり支援事業「薬の正しい飲み方」講演会報告	古宮啓子	287	3・4	47
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26ヤング街頭キャンペーン	山城英人	288	5・6・7	12
琉球新報社「こども新聞」こども記者から取材を受ける	大城喜仁	289	8・9・10	72
宜野湾市初任教員研修会・職業人講話	大城喜仁	289	8・9・10	73
「グッジョブ・miniスクール」における薬剤師職能の啓蒙活動について	新垣 梓	289	8・9・10	74
しごとミュージアム2017参加報告	宮城豊英	289	8・9・10	75

**月例相談会**

第138回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）		286	1・2	33
第139回健康とおくすり相談会報告（中部地区薬剤師会）	我那覇ももこ	286	1・2	34
第140回健康とおくすり相談会報告（地域保健開局委員会・那覇地区薬剤師会）	草壁瑞恵	286	1・2	35
第141回健康とおくすり相談会報告（八重山地区薬剤師会：黒島）	番場 勇	288	5・6・7	8
第142回健康とおくすり相談会報告（宮古地区薬剤師会：多良間島）	上川畑剛	288	5・6・7	9
第143回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	増永麻実	288	5・6・7	10
第144回健康とおくすり相談会報告（中部地区薬剤師会：津堅島）	松本薫之	288	5・6・7	11
第145回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	山内優香	289	8・9・10	76
第146回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	糸満竜樹	289	8・9・10	77
第147回健康とおくすり相談会報告（南部地区薬剤師会）		290	11・12	65
第148回健康とおくすり相談会報告（南部地区薬剤師会）		290	11・12	65
第149回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	砂川美佳・一柳香	290	11・12	66
第150回健康とおくすり相談会報告（中部地区薬剤師会）	神元繁守	290	11・12	68

**その他会務報告**

沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊	大城喜仁	288	5・6・7	35
---------------	------	-----	-------	----

**日薬通達**

セルフメディケーション税制に関するQ&A		286	1・2	54
正会員向け保険制度のご案内 （賠償責任保険・個人情報漏えい保険・休業補償保険・長期休業補償保険）		286	1・2	58

**ふれいくたいむ**

宜保匠さん&島袋陽子さん ご結婚おめでとう！	白まゆみ	286	1・2	36
------------------------	------	-----	-----	----

**薬局訪問**

はいたい！漢方みず堂 ヴァインドラッグあがりはま薬局	伊差川サヤカ	287	3・4	68
----------------------------	--------	-----	-----	----

**医薬分業**

平成28年度医薬分業対策委員会主催研修会報告	山道峻也	288	5・6・7	2
平成29年度医薬分業対策会議報告	松本圭五	290	11・12	27
医薬分業推進のためのアンケート回答結果		290	11・12	30
平成29年度第1回医薬分業対策委員会主催研修会報告	松本圭五	290	11・12	38
平成29年度第2回医薬分業対策委員会主催研修会報告	松本圭五	290	11・12	40
平成29年度第3回医薬分業対策委員会主催研修会報告	池間記世	290	11・12	42

**学薬部会**

平成28年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議開催	前濱朋子	287	3・4	32
日本薬剤師会主催 平成28年度学校薬剤師研修会報告	前濱朋子	287	3・4	35
平成29年度学校薬剤師新任研修会参加報告	中塚泰子・鈴鹿玲子	288	5・6・7	26
平成29年度学校環境衛生・安全管理講習会参加報告	大城晴子	288	5・6・7	29
平成29年度宮古地区学校薬剤師会研修会報告	方 智子	288	5・6・7	30
平成29年度学校薬剤師部会総会・講習会報告	田仲周子	289	8・9・10	65
平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会参加報告	大城晴子	290	11・12	69

**地区だより**

第1回インスリン・GLP1注入器および血糖測定体験セミナー報告	徳嶺恵子	287	3・4	42
平成28年度八重山地区薬剤師会総会報告	山城 専	288	5・6・7	31
一般社団法人那覇地区薬剤師会 第4回通常総会	那覇地区薬剤師会事務局	288	5・6・7	32
平成29年度宮古地区薬剤師会総会報告	前里由紀子	288	5・6・7	34
平成28年度中部地区薬剤師会総会報告	佐藤雅美	289	8・9・10	79
第15回北部地区薬剤師会定時総会報告	北部地区薬剤師会事務局	289	8・9・10	80

**新入会員**

平成28年10月1日～平成29年3月末日入会分		287	3・4	63
平成29年度沖縄県薬剤師会新入会員		289	8・9・10	82

**女性薬部会**

平成28年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告		287	3・4	36
村田美智子・玉城仙子・笠原哲・大城なつき・與儀明美				
女性薬剤師部会主催 第1回「妊婦・授乳婦とくすり」研修会開催		288	5・6・7	13
村田美智子・松本洋江・比嘉智子				
女性薬剤師部会通常総会・漢方講座	与儀和子	288	5・6・7	16
女性薬剤師部会主催 第21回漢方講座報告	金城由恵・國場節子	288	5・6・7	18
女性薬剤師部会主催 第20回漢方講座報告	比屋根姿穂	288	5・6・7	20
女性薬剤師部会主催 第22回漢方講座報告	喜納徹太郎	289	8・9・10	66
平成29年度 第2回「妊婦・授乳と薬」研修会報告	玉城仙子・伊佐要一	289	8・9・10	67

DI

薬事情報おきなわ No.243	薬事情報センター	286	1・2	37
薬事情報おきなわ No.244	薬事情報センター	287	3・4	49
薬事情報おきなわ No.245	薬事情報センター	288	5・6・7	39
薬事情報おきなわ No.246	薬事情報センター	289	8・9・10	83
薬事情報おきなわ No.247	薬事情報センター	290	11・12	71

医療保険

調剤報酬請求業務Q&A (第1回)	医療保険委員会	286	1・2	48
・・・調剤報酬請求業務Q&A質問用紙・・・		286	1・2	49
調剤報酬請求業務Q&A (第2回)	医療保険委員会	287	3・4	64
平成29年度調剤報酬請求業務講習会報告	宮城幸枝	289	8・9・10	42

薬草学

身近な薬草を知ろう 第30回 ギンネム：ギンゴウカン：ニブイギ	狩俣イソ	286	1・2	50
身近な薬草を知ろう 第31回 ふだんそう：ンスナバー	狩俣イソ	287	3・4	66
身近な薬草を知ろう 第32回 フーチバー：ニシヨモギ	狩俣イソ	288	5・6・7	54
身近な薬草を知ろう 第33回 ムラサキオモト	狩俣イソ	289	8・9・10	98

熟年の集い

第10回熟年の集い	座覇里奈	289	8・9・10	38
-----------	------	-----	--------	----

リレー随筆

『なんくるないさー』	座覇里奈	286	1・2	52
「球技」がダメなら「弓技」はいかが？ ～弓道との出会い～	石井秀典	287	3・4	70
的当て「ゲーム」から弓「道（どう）」へ	石井秀典	288	5・6・7	56
沖縄の方言	金城智史	289	8・9・10	97

理事会

平成28年度第4回定例理事会議事概要		286	1・2	62
平成28年度第5回定例理事会議事概要		286	1・2	69
平成28年度第6回定例理事会議事概要		286	1・2	78
平成28年度第7回定例理事会議事概要		287	3・4	73
平成28年度第8回定例理事会議事概要		287	3・4	81

訃報

久場とよ先生、大城真淳先生 謹んでご冥福をお祈り申し上げます		287	3・4	93
具志堅博一先生、上原盛和先生、中村優先生、ご冥福をお祈り申し上げます		289	8・9・10	117

追悼

久場とよ先生を悼む	與那嶺朝子	287	3・4	94
-----------	-------	-----	-----	----

**薬連だより**

国会レポート ～平成29年度予算案～	藤井もとゆき	286	1・2	53
次期参議院議員通常選挙 組織内統一候補者を本田あきこ氏に決定！		287	3・4	71
国会レポート ～医療情報データの活用～	藤井もとゆき	287	3・4	72
沖縄県薬剤師連盟拡大会議報告	石川恵市	288	5・6・7	58
国会レポート ～終盤国会を迎えて～	藤井基之	288	5・6・7	59
平成29年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告	山城英人	289	8・9・10	102
本田あきこ オレンジ日記「都道府県訪問の旅」	本田あきこ	289	8・9・10	103
国会レポート ～衆議院解散・総選挙～	藤井もとゆき	289	8・9・10	104
国会レポート ～来年度政府予算編成に向けて～	藤井もとゆき	290	11・12	81
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成28年12月分）		286	1・2	89
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成29年1月～2月分）		287	3・4	93
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成29年3月～5月分）		288	5・6・7	65
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成29年6月～9月分）		289	8・9・10	117
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成29年10月～11月末日分）		290	11・12	98

**国保・社保通達**

平成29年度レセプト受付日と診療報酬等支払日 沖縄県国民健康保険団体連合会	286	1・2	60
平成29年度診療（調剤）報酬請求書等受付並びに返戻レセプト等発送予定日 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部	286	1・2	61

**一包一話**

朗らかに笑って福を呼ぶ	橋 の 下	286	1・2	90
ユイレール散歩	橋 の 下	287	3・4	98
変わりゆく農連市場	橋 の 下	288	5・6・7	78

**告知ポスター**

アウトリーチ型健康づくり推進事業 健康とおくすり相談会ポスター	288	5・6・7	66
くすりと健康フェア告知ポスター	290	11・12	26

**会務報告**

平成28年12月分	286	1・2	88
平成29年1月～2月分	287	3・4	89
平成29年3月～5月分	288	5・6・7	60
平成29年6月～9月分	289	8・9・10	108
平成29年10月～11月末日分	290	11・12	94

**薬草園だより**

パパイヤの収穫	与儀和子	287	3・4	100
ウコンの花・くちなしの花	与儀和子	288	5・6・7	80

転載記事

市販薬購入で減税 レシート捨てないで 1万2千円超で減税	286	1・2	84	
沖縄タイムス「ぼくも 私も」コーナーに笠原大吾先生が紹介されました	286	1・2	84	
沖縄タイムス社 週刊ほ〜むぷらざ「彩職賢美」に前濱朋子副会長が紹介されました	286	1・2	85	
慕われた久場とよ先生 晩年まで美しく優しい人柄	桑江紀子	287	3・4	95
久場とよさん死去 沖縄女性画家の草分け	287	3・4	96	
協会けんぽ公表 後発薬使用、沖縄8割に	287	3・4	97	
会員紹介関連記事	287	3・4	97	
大勢住民が健康チェック 宮古地区薬剤師会「お薬相談会」多良間で初開催	288	5・6・7	68	
八重山地区薬剤師会・県薬剤師会が黒島で初開催	288	5・6・7	70	
おくすり相談 健康チェック 津堅で薬剤師会開催	288	5・6・7	70	
Let's健康おきなわ21 薬局をもっと身近に	荒谷敏巳	288	5・6・7	71
沖縄県薬剤師会と沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの関わり	亀谷浩昌	288	5・6・7	72
沖縄の在宅医療のパイオニア 荒井千春理事が紹介される	288	5・6・7	74	
「2坪半の夢で終わらない」宮城初枝先生が紹介される	288	5・6・7	76	
日本薬剤師会啓発「かかりつけ薬剤師・決めよう！いつもの薬局」連載記事	288	5・6・7	77	
琉球新報社「こども新聞」こども記者から取材を受ける	289	8・9・10	105	
なごみ会主催 第7回県民健康フェア2017告知・開催記事	289	8・9・10	106	
内間小の平和学習	狩俣イソ	289	8・9・10	107
県現代俳句協会「沖縄歳時記」発刊～宮里暁子先生が紹介される	289	8・9・10	107	
かかりつけ薬剤師 副作用、薬害防ぐのに重要	渡具知一枝	290	11・12	82
かかりつけ薬剤師重要 「薬と健康の週間」20日講演	上原卓朗	290	11・12	83
笑って健康長寿に 中井さん講演「朝夜30秒づつ」	290	11・12	84	
くすりと健康フェア告知	290	11・12	84	

会員作品(誌上ギャラリー)

平成28年度誌上ギャラリー大賞・優秀作品

写真「黄葉眩しい並木道」(大賞)	成川玲子	285	12	裏表紙
写真「縁起物」(優秀作品)	伊集智英	285	12	裏表紙
写真「シエナ大聖堂」(優秀作品)	廣川直子	281	3・4	裏表紙
水彩画「陽花(はるか)」	小那覇幸子	287	3・4	裏表紙
写真「チンクエ・テッレ」	廣川直子	287	3・4	裏表紙
写真「千鳥ヶ淵の春」	笠原大吾	287	3・4	裏表紙
写真「パパイヤ」	薬草園だより	287	3・4	裏表紙
写真「青と白の島 サントリーニ島」	山里美恵子	288	5・6・7	裏表紙
写真「真剣勝負」	吉富弓江	288	5・6・7	裏表紙
写真「ウコンの花」「くちなしの花」	薬草園だより	288	5・6・7	裏表紙
水彩画「山旅スケッチ(上高地)」	小那覇幸子	289	8・9・10	裏表紙
写真「ダイバー泣かせの貿易風」	吉富弓江	289	8・9・10	裏表紙
写真「アダン」	伊集智英	289	8・9・10	裏表紙
写真「光明寺の紅葉」	山里美恵子	290	11・12	裏表紙
写真「知念港から西原湾岸を望む」	伊集智英	290	11・12	裏表紙
写真「やっと会えた!ブラックマンタ」	吉富弓江	290	11・12	裏表紙

○以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。

編集後記

県民の皆様へ

あまくま薬立つ情報

お知らせ

会報原稿募集のご案内

県薬が会員に販売している印刷物等

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

開催日が決定した平成29年度の主な行事

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!

沖縄県薬剤師会 Facebook をご覧ください!

日本薬剤師美術同好会 第5回作品展開催のご案内

第31回沖縄県薬剤師会学術大会の演題の募集について

平成29年度沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

平成29年10月

- 1日○平成29年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議伝達講習会 県薬ホール
- 南部地区薬剤師会支部会 県薬研修室
  - 南部地区薬剤師会研修会 県薬研修室
- 3火○琉球大学医学部石田肇医学部長訪問 琉球大学医学部附属病院 亀谷会長、山城次長
- 琉球大学医学部附属病院 藤田次郎病院長、熊谷事務部長、中村克徳薬剤部長 訪問 琉球大学附属病院 亀谷会長、山城次長
  - 地域ケア会議研修会（講師派遣） 沖縄県男女共同参画センター 講師：石田浩氏
  - 沖縄県医師会安里哲好会長訪問 沖縄県医師会館 亀谷会長、山城次長
  - 糖尿病治療Forum ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
  - 平成29年度第8回幹事会 県薬会議室
- 4水○社会保険診療報酬支払基金幹事会事前説明 県薬会長室 亀谷会長
- 平成29年度第3回学術研修委員会 県薬会議室
  - 会営薬局移転検討特別委員会 県薬ホール
- 5木○くすりと健康フェア打ち合わせ パレット市民劇場 山城次長
- 平成29年度第2回薬と健康の週間打ち合わせ 県庁 山城次長
  - 個別指導・新規個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏、宮城幸枝氏
  - 抗凝固療法Network Meeting ロワジールホテル那覇 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
  - 平成29年度第5回医薬分業対策委員会 県薬会議室 亀谷会長
  - 平成29年度第3回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
  - 学校薬剤師部会主催「平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会」 薬局えびーわーな～講師：平良恭子
- 6金○くすりと健康フェアPR活動 沖縄タイムス社・琉球新報社 前濱副会長、吉田典子(DI)氏、大城課長
- 沖縄県保健医療部長訪問 県庁 亀谷会長、山城次長
- 7土○日本薬剤師会都道府県会長協議会 東京国際フォーラム 亀谷会長
- 8日○第50回日本薬剤師会学術大会（9日迄） 東京国際フォーラム・JPタワーホール&カンファレンス
- 9月○宜野湾健康支援センター創立20周年記念祝賀会 ラグナガーデンホテル 亀谷会長
- 10火○平成29年度第1回沖縄県薬業連合会代表者会議 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 亀谷会長、山城次長
- 中部地区研修会「中部地区脂質異常症治療フォーラム～地域連携について考える～」 中頭病院
- 11水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
- 豊見城中央病院神山事務局長訪問 豊見城中央病院 山城次長
- 12木○平成29年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（13日迄） ホテルメトロポリタン盛岡（岩手県） 新垣紀子氏
- 平成29年度調剤報酬請求業務講習会（宮古地区） シモジ薬局 講師：仲真良重氏

- 13金○ 社会保険診療報酬支払基金との情報交換会 那覇市内 亀谷会長、江夏副会長、山城次長  
 ○ 沖縄の静脈治療を考える会 P's SQUARE 共催：バイエル薬品(株)  
 ○ 平成29年度調剤報酬請求業務講習会（八重山地区） 大浜信泉記念館 講師：仲真良重氏
- 14土○ 平成29年度第8回理事会 県薬研修室
- 15日○ 平成29年度第1回薬剤師認知症対応力向上研修 県薬ホール 講師：中尾滋久（医薬分業対策委員会）  
 ○ 平成29年度第10回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 17火○ 月次会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原
- 18水○ 薬祖祭 波之上本殿 亀谷会長、大城・神村両相談役、吉田理事、山城次長、大城課長  
 ○ 中部地区研修会「平成29年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会」 中部地区医師会
- 19木○ 月次会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局上原  
 ○ 職業人講話 沖縄市立泡瀬小学校 講師：松尾はつよ氏  
 ○ 個別指導・新規個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・川満常務理事  
 ○ 第81回那覇地区薬剤師会臨床講座 県薬研修室  
 ○ 糖尿病療養支援実践セミナー第16回コメディカル勉強会 中頭病院
- 20金○ くすりと健康フェア「第147回健康とくすり相談会」 パレット市民劇場ロビー 担当：南部地区薬剤師会  
 ○ くすりと健康フェア「県民公開講演会」 パレット市民劇場
- 22日○ 平成29年度女性薬剤師部会第23回漢方講座 県薬研修室
- 23月○ 平成29年度薬事功労者知事表彰式 県庁 被表彰者：宮良善孝氏・姫野耕一氏、亀谷会長、大城課長
- 24火○ 株式会社ファミリーマートより来訪 県薬会長室 亀谷会長、山城次長
- 26木○ 個別指導・新規個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・川満常務理事  
 ○ 健康おきなわ21第2次中間評価 第2回「タバコ(COPD)」分野委員会 県庁 勝連貴子（地域保健委員会）  
 ○ 第九回沖縄CKD-MBD研究会 ザ・ナハテラス 共催：バイエル薬品(株)  
 ○ 第3回薬剤師スキルアップセミナー おきなわクリニカルシミュレーションセンター 共催：第一三共(株)  
 ○ 平成29年度第3回臨床薬理学研修会 県薬ホール 講師：阪本崇彰（学術研修委員会）
- 27金○ 第8回沖縄代謝病と血管病診療フォーラム ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 共催：バイエル薬品(株)  
 ○ 第2回臨床薬理学研修会（DVD研修） 大浜信泉記念館
- 30月○ 「世界のウチナーンチュの日」制定記念祭 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 亀谷会長  
 ○ 平成29年度高度管理医療機器等継続研修事前打合せ会議 県薬会議室 吉田理事、中尾滋久氏
- 31火○ 管理者会議 県薬研修室

- 31火○ 沖縄県医療保健連合（なごみ会）幹事会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー  
亀谷会長、江夏・外間・前濱・各副会長、山城次長
- 沖縄県医療保健連合（なごみ会）懇談会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー  
亀谷会長、江夏・外間・前濱各副会長、村田・笠原・川満・西川各常務理事、山城次長

## 平成29年11月

- 1水○ 第3回沖縄県医療費適正化計画検討委員会 県庁 亀谷会長
- 浦添市医師会第1回糖尿病に関わる医師と医療スタッフのための研修会 浦添市保健相談センター
- 第3回在宅医療ワーキンググループ(沖縄県医療計画分野別ワーキンググループ) 沖縄県医師会館 荒井理事
- 2木○ 平成29年度第3回沖縄県国民健康保険運営協議会準備会合 県庁 川満常務理事
- 慢性肝疾患患者のQOLを考える 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 共催：大日本住友製薬(株)
- 薬事情報センター委員会小委員会（スポーツファーマシスト） 県薬会議室 笠原常務理事、小島進氏、西平克子氏、薬事情報センター吉田典氏・平良恭子
- 3金○ 第27回日本医療薬学年会（5日迄） 幕張メッセ（千葉県）
- 4土○ (公財)日本体育協会公認「指導員」養成講習会 沖縄セルラースタジアム那覇 講師：  
笠原常務理事、薬事情報センター吉田典子
- 5日○ デンタルフェア「おしごとアドベンチャー」 浦添市保健相談センター 那覇地区薬剤師会
- 健康サポート薬局担当者全国会議 TKP田町カンファレンスセンター 笠原・西川常務理事、上原理事
- 6月○ 社会保険診療報酬支払基金幹事会事前説明 県薬会長室 亀谷会長
- 「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同会議 TKP田町カンファレンスセンター 笠原・西川常務理事、上原理事、盛本直也氏、大城課長
- 薬学生実務実習（夜間救急） 会営薬局医療センター前 城間薬局長、柴田忠佳氏
- 7火○ 沖縄県医薬品卸業協会より来訪 県薬会長室 亀谷会長
- (株)ダイコー沖縄より来訪 県薬会長室 亀谷会長
- 宮古地区研修会 Respiratory Conference in 宮古島 ホテルアトールエメラルド宮古島
- 平成29年度第9回幹事会 県薬会議室
- 8水○ 学校薬剤師部会主催「平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会」 沖縄市社会福祉センター・男女共同参画センター 講師：知名博樹（学校薬剤師部会副部会長）
- 9木○ 個別指導・新規個別指導 沖縄県宮古合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏、下地睦夫宮古地区会長
- 組織強化委員会 県薬研修室 亀谷会長
- 10金○ 個別指導・新規個別指導・集団的個別指導 沖縄県八重山合同庁舎 社会保険医療担当：  
仲真良重氏・照屋林一郎氏、幸地理事
- 平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学医学部 亀谷会長
- 第3回小児医療ワーキンググループ(沖縄県医療計画分野別ワーキンググループ) 沖縄県医師会館 荒井理事
- 第3回トファシチニブ適正使用講演会 沖縄県医師会館 共催：ファイザー(株)

- 10金○ 第19回沖縄COPD研究会 ザ・ナハテラス 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)  
 ○ 第8回糖尿病週間学術講演会 ロワジールホテル那覇 共催：ノボノルディスクファーマ(株)
- 11土○ 会営薬局とよみ薬剤師会議 会営薬局とよみ 川満常務理事、我喜屋理事、山城次長  
 ○ 第10回沖縄抗HIV薬勉強会 おきなわクリニカルシミュレーションセンター  
 ○ 平成29年度第9回理事会 県薬研修室
- 12日○ 第31回沖縄県薬剤師会学術大会・懇親会 沖縄県看護協会館・県薬  
 ○ 第148回健康とおくすり相談会 糸満市西崎総合体育館 担当：南部地区薬剤師会  
 ○ 第149回健康とおくすり相談会 沖縄セルラースタジアム 担当：那覇地区薬剤師会
- 13月○ 薬学生実務実習（夜間救急） 会営薬局医療センター前 城間薬局長
- 14火○ 高尿酸血症のリスクを考える会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：(株)三和化学研究所
- 15水○ 和歌山県立医科大学薬学部設置に伴う和歌山県内関係機関訪問(16日迄) 和歌山県庁・和歌山県薬・和歌山県立医科大学 山城次長、沖縄県保健医療部衛生薬務課  
 ○ 第9回沖縄Airway Conference ザ・ナハテラス 共催：杏林製薬(株)  
 ○ インスリン抵抗性改善剤を再考する会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：武田薬品工業(株)
- 16木○ 平成29年度全国学校保健・安全研究大会（17日迄） 三重県総合文化センター 亀谷会長、前濱副会長、村田成夫学校薬剤師部会長  
 ○ 集团的個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 仲真良重氏、川満常務理事  
 ○ 第67回全国学校薬剤師大会・懇親会（三重県） ホテルグリーンパーク津 亀谷会長、前濱副会長、村田成夫学薬部会長  
 ○ 第2回吸入支援OkinaWa 県薬ホール 共催：アステラス製薬(株)  
 ○ 平成29年度第3回琉球大学漢方医学研究会 琉球大学医学部 共催：(株)ツムラ  
 ○ 健康おきなわ21第2次中間評価 第3回「タバコ(COPD)」分野委員会 県庁 勝連貴子（地域保健委員会）  
 ○ 中北部循環器懇話会 ヒルトン沖縄北谷リゾート 共催：MSD(株)  
 ○ 中部地区研修会「臨床薬剤師育成研修会」 (株)琉薬
- 17金○ 第8回琉球精神薬理研究会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：大塚製薬(株)
- 18土○ 第49回沖縄県公衆衛生大会 沖縄県看護協会 被表彰者：知名繁夫氏、美里千賀子氏
- 19日○ 第150回健康とおくすり相談会 うるま市健康福祉センターうるみん 担当：中部地区薬剤師会  
 ○ 平成29年度第2回医薬分業対策委員会主催研修会 県薬ホール 講師：佐仲雅樹氏
- 20月○ 薬事情報センター委員会 県薬会議室
- 21火○ 年末調整説明会 沖縄コンベンションセンター 事務局前原・上原  
 ○ 第一三共エスファ株式会社より来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城課長  
 ○ 平成29年度沖縄県学校保健功労者・学校保健優良団体表彰審査会 県庁 亀谷会長
- 22水○ 健康サポート薬局研修会に関する打合せ 県薬会議室 西川・笠原常務理事、平良恭子（医薬分業対策委員会）
- 23木○ 平成29年度第3回医薬分業対策委員会主催研修会 県薬ホール 講師：宇野 文博氏
- 24金○ 月次監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原  
 ○ 沖縄県科学技術振興課より来訪 県薬会長室 亀谷会長

- 24金○第17回OCEAN研究会 ザ・ナハテラス 共催：吉富薬品(株)
- 26日○第1回沖縄口腔ケアセミナー合同開催 第10回九州・山口口腔ケアシンポジウム 琉球大学医学部
- 第151回健康とおくすり相談会 JTAドーム宮古島 担当：宮古地区薬剤師会
  - 糖尿病と歯周病に関する研修会・意見交換会 沖縄県口腔保健医療センター 沖山尚美氏
  - 学校薬剤師部会主催「平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会」 県薬研修室 講師：柴田忠佳（学校薬剤師部会）
- 27月○琉大医学部事務部長訪問 琉球大学医学部 山城次長
- 須田康幸九州厚生局長来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城課長
- 28火○平成29年度薬事功労者厚生労働大臣表彰伝達式 県庁 被表彰者：亀谷会長、大城課長
- 沖縄県医師会（宮里善次副会長）訪問 沖縄県医師会館 亀谷会長、山城次長
  - 財務委員会 県薬会議室
- 29水○月次監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局上原
- 第10回あじまあの会 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 共催：サノフィ(株)
  - 沖縄県脳卒中血管内治療研究会 メルキュールホテル沖縄那覇 共催：バイエル薬品(株)
  - 平成29年度第3回在宅医療委員会 県薬会議室
- 30木○個別指導・新規個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏、川満常務理事
- 都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者研修会 日薬 薬事情報センター吉田典子・平良恭子
  - オリブ山病院院長来訪 県薬会長室 亀谷会長

## 沖縄県薬剤師連盟会務報告

### 平成29年10月

- 2月○コクバ幸之助推薦状交付 コクバ幸之助選対本部事務所 亀谷会長、神村顧問、山城次長、事務局宮城
- ミヤザキ政久推薦状交付 ミヤザキ政久選対本部事務所 亀谷会長、神村顧問、山城次長、事務局宮城
  - 比嘉なつみ選対本部事務所開き 比嘉なつみ選対本部事務所 神村顧問、吉田幹事長、江夏・石川各幹事長、大城課長、事務局宮城
  - ニシメ恒三郎事務所開き ニシメ恒三郎選対本部 亀谷会長、姫野副幹事長、前濱総務、山城次長
- 4水○ニシメ恒三郎推薦状交付 ニシメ恒三郎選対本部 亀谷会長、山城次長、事務局宮城
- 比嘉なつみ推薦状交付 比嘉なつみ選対本部事務所 亀谷会長、山城次長、事務局宮城
  - コクバ幸之助女性部大会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 吉田幹事長・前濱総務・太田節子氏、山城次長、事務局安次富
- 6金○比嘉なつみ氏を支援する医療団体会議 比嘉なつみ選対本部事務所 亀谷会長、江夏副幹事長、上原総務、山城次長、事務局宮城
- 7土○ニシメ恒三郎後援会主催加藤厚生労働大臣との昼食懇談会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 神村顧問、吉田幹事長、前濱総務、山城次長

- 7土○ニシメ恒三郎経済産業副大臣就任祝賀会 ロワジールホテル那覇 神村顧問、吉田幹事長、前濱総務、山城次長
- 10火○コクバ幸之助出陣式 コクバ幸之助事務所 亀谷会長、神村顧問
- ミヤザキ政久出陣式 大平交差点 事務局宮城
  - 比嘉なつみ出陣式 ゴヤ十字路 江夏副幹事長
  - ニシメ恒三郎出陣式 ニシメ恒三郎選対本部 山城次長
- 12木○岸田文雄自民党政調会長を囲む会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 亀谷会長、山城次長
- 13金○薬局訪問 沖縄市・うるま市等 亀谷会長、上原総務、山城次長、事務局宮城
- 16月○薬局訪問 那覇市 亀谷会長、山城次長、事務局花城
- 企業・団体合同実務者会議 ミヤザキ政久選対本部事務所 山城次長
  - ミヤザキ政久総決起大会 宜野湾市民会館 亀谷会長、新城総務、山城次長、大城課長、事務局前原・上原・宮城・花城
  - 第2回比嘉なつみ氏を支援する医療団体会議 比嘉なつみ選対本部事務所 亀谷会長、江夏・石川各副幹事長、山城次長
- 17火○薬局訪問 浦添市・宜野湾市 新城総務、山城次長、事務局宮城
- 平成29年度第2回全国会長・幹事長拡大会議 スクワール麴町（東京都） 亀谷会長、前濱総務
  - 本田あきこ中央後援会第1回役員会 スクワール麴町（東京都） 亀谷会長、前濱総務
  - ニシメ恒三郎総決起大会 豊見城市公民館 神村顧問、名嘉紀勝氏、大城課長、事務局松堂・宮城・花城
  - 藤井もとゆき君と語る会 ホテルニューオータニ 亀谷会長、前濱総務
- 18水○薬局訪問 豊見城市・糸満市等 亀谷会長、名嘉紀勝氏、山城次長、大城課長、事務局宮城・花城
- コクバ幸之助総決起大会 パシフィックホテル沖縄 神村顧問、吉田幹事長、大城課長、事務局前原・上原・花城
  - 比嘉なつみ総決起大会 うるま市民劇場 亀谷会長、石川副幹事長、上原総務、山城次長
- 19木○薬局訪問 那覇市 亀谷会長、石川副幹事長、山城次長、大城課長、事務局宮城・花城
- 21土○コクバ・こうめい必勝打上げ式 県民広場前（パレット久茂地前） 神村顧問、吉田幹事長、姫野副幹事長、小泉主任検査技師、事務局前原・上原
- 必勝！比嘉なつみ・こうめい打上げ式 比嘉なつみ選対本部事務所 大城課長、事務局宮城
  - ニシメ恒三郎Vロード&打上げ式 ニシメ恒三郎選対本部 亀谷会長、名嘉紀勝氏、事務局松堂・長嶺
  - ミヤザキ政久打上げ式 浦添市安波茶交差点 山城次長、事務局花城
- 22日○コクバ幸之助選対事務所訪問 コクバ幸之助選対本部事務所 神村顧問、吉田幹事長
- ニシメ恒三郎選対事務所訪問 ニシメ恒三郎選対本部 亀谷会長、山城次長

#### 平成29年11月

- 14火○糸満市議選に伴う南部地区薬剤師会 新垣会長訪問 新垣薬局 亀谷会長、西銘政子氏、山城次長
- 21火○沖縄県知事就任3周年オナガ雄志激励会 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 亀谷会長



## 誌上ギャラリー（裏表紙）について

左上：「光明寺の紅葉」 photo by 山里 美恵子 撮影地：京都府

中央：「知念港から西原湾岸を望む」 photo by 伊集 智英（くはら薬局）

下：「やっと会えた！ブラックマンタ」 photo by 吉富 弓江（(株)琉薬）

ずっと憧れていたブラックマンタ。1本目で会えて大興奮でした。 撮影地：ニューカレドニア

### 編 集 後 記

年の瀬の喧騒の中、今年最後の会報誌は年内に届きましたでしょうか？ 今号では、イベントがたくさん開催されましたので、その報告記事が満載でした。投稿いただきました会員のみなさま、ご協力ありがとうございます。さて、来年は（ご無沙汰していた）取材記事に力を入れたいと思っています。個人的には、麻薬探知犬について食指が動いているのですが・・・また、飛行機に搭載されている医薬品や医療器具も気になります。「薬」というワードを通して、警察や税関、そして航空会社などエリアを拓げた興味深い取材ができるよう頑張ります。来年もよろしく願います。（クララ）

薬局の周りでもクリスマスイルミネーションの家が増えた。華やかで、楽しい気分になる。今年は、薬局のクリスマスイルミネーションを取材して…の予定が、気が付けば、現行締め切り日。来年はきっと取材して、季節の薬局のデコレーションの参考になるようにご紹介します。ちなみに、わが薬局では、100均のツリーが3種類飾ってある。時々、「これ可愛いね。売っているの？」と聞いてくる患者さんもいたりして。買いたくなるくらいって、季節のデコレーション成功かしら!!

(TOMO)

12月の声を聞くと「いよいよ今年も終わるだなあ～、1年はあつというまだったな～」と思ってしまう。子供の頃に比べて年齢を重ねるにつれ時間がたつのが早く感じられるようになるのは私だけではないようだ。「ジャーネーの法則」によると生涯のある時期における時間の心理的長さは、年齢に反比例するらしい。年齢を重ねていくと、生きてきた年齢によって、1年の長さの比率が小さくなり、どんどん時間が早く感じる、つまり計算上、0歳から20歳までの体感時間と20歳から80歳ぐらいまでの体感時間が同じということらしい。しかしこれでは余りに寂しい。時間を意識するかしないか、新しい体験が多くあるかないか、などが時間を長く感じさせる効果があるという。「待ち遠しい！」気持ちの時には時間がゆっくり流れる。初体験の事柄には知力・体力総動員して時間が長く感じられる。いろいろなことをやった時間は「長かった」ように感じられるし、たいしたことをしなかった時間は「短かった」と感じられる。歳を重ねるごとに時間は加速していくのだから、時を無駄にはしてはいけない。「時間泥棒」に時間を盗ませてはいけない。日々の単調さと多忙さで時間の経過を忘れてしまって過ごすのではなく、楽しみを多く見つけ、好奇心で心ときめかして充実した日々を過ごせれば最高だと思うが・・・（ピアナ）

師走を迎え、冷たい風が身体の芯まで響くようになったとある日曜日、小学3年生になった娘の学習発表会に参加した時の出来事。演舞終了後、まず小学生のあの一体感には凄く感動した。そして記憶力が凄い！低学年の1～2年生ですら、長いセリフを噛まずに話せていたのには驚かされた。たかが小学生だとナメていた自分が恥ずかしい、、職場でも一体感を作ることは重要である。これは子供も大人も一緒なんだ。改めて子供達に教えられた。嗚呼、初心忘るべからずだな。果たして自分にはあの長いセリフを噛まずに言えるのだろうか・・・いや、言えるどころが暗記することすら無理だろうな(笑) (ごり)

大掃除に精が出るそんな季節になった。ついでに家族が隠している薬をもう一度集めてみたら、出るわ出るわ残薬の山。残薬全国ワースト一位を体感した。仏壇が大きいのが原因の一端にあるのでは…。来年は在宅ならぬ自宅医療活動も抜き行きたい。(いさ吉)

平成29年度は、多くの事にチャレンジできた年になった。その中でも薬剤師会で勉強会の司会をさせて頂いたり、こうして広報委員会に参加して編集後記を書かせて頂いたり、今までよりも‘言葉’について考える機会が増えた事が、一番のチャレンジでもあり嬉しかった事だ。来年は自分の使う言葉にも、もっと気を配って話さねばと思っているが、今年も目標も確か言葉を正すだった様な気が…。取り敢えず「まじか」という口癖をやめる様に気をつけるので、気づいた方はご指摘を!! (りな)



## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報 第290号 平成29年12月25日発行

◇次号は、平成30年2月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／前濱朋子・池間記世・鈴木一徳・石川恵市・伊敷松太郎  
伊差川サヤカ・座覇里奈 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子  
八重山地区通信員／金城智史 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 Skill



誌上ギャラリー  
(会員作品)  
お気軽にご投稿下さい。

